

北本市公共施設マネジメント実施計画

＜北本市公共施設適正配置計画編＞

資料編

令和 2 年 3 月

北本市

目次

市民アンケート	1
施設利用者アンケート	20
市民ワークショップ	35
公共施設利用状況調査	64
公共施設等総合管理計画推進審議会答申書	97

市民アンケート

調査の概要

(1) 目的

市民の皆様の貴重なご意見を伺い、今後の公共施設のあり方を検討するための基礎資料の1つとして活用するために実施した。

(2) 調査対象

平成30年8月1日現在の住民基本台帳より、無作為に抽出した満16歳以上の市民2,000人を対象に実施した。

(3) 調査方法

アンケートは郵便による配布・回収とし、無記名回答とした。

(4) 調査期間

平成30年9月20日（木）から10月15日（月）まで。

(5) 回収結果

標本数2,000票のうち、有効回収数は593票、白票が1票、有効回収率は29.7%であった。

調査地域	北本市内全域
調査対象	16歳以上の市民 2,000人
標本数	2,000票
有効回収数	593票（※白票1票を除く）
有効回収率	29.7%

1. あなたご自身について

【問 1 ～ 8】 回答者属性 1

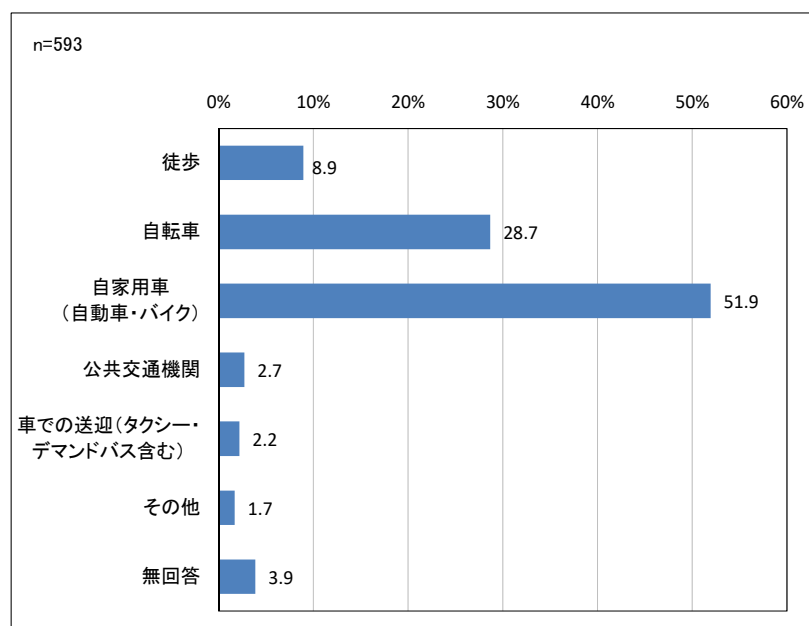
性別						
男性				女性		
44. 4%				54. 5%		
年齢						
10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
8. 3%	11. 3%	13. 8%	15. 2%	14. 0%	18. 2%	19. 2%
家族構成						
乳幼児（0～3 歳）		幼児（4～6 歳）		小学生		中学生
6. 4%		5. 4%		10. 5%		7. 8%
高校生		65 歳以上の方		同居者は上記以外の方		同居家族はいない
8. 8%		38. 3%		58. 9%		7. 6%
職業						
会社員 （公務員を含む）	自営業	パートタイマー・ アルバイト		家事専業	学生	無職 その他
31. 9%	3. 9%	16. 7%		15. 0%	11. 3%	18. 4% 2. 4%

【問 1～8】 回答者属性 2

通勤・通学先					
市内の会社・学校へ、 通勤・通学している		市外の会社・学校へ、 通勤・通学している		通勤・通学していない (自営業、家事専業、無職など)	
12.0%		48.6%		38.6%	
居住地域					
中丸地域	中央地域		東地域	東間深井地域	南部地域
11.6%	8.9%		14.3%	15.0%	11.0%
本町西高尾地域		西部地域	公団地域		わからない
13.8%		10.1%	10.1%		3.2%
交通手段					
徒歩	自転車	自家用車 (自動車・バイク)	公共交通 機関	車での送迎 (タクシー・ デマンドバス含む)	その他
8.9%	28.7%	51.9%	2.7%	2.2%	1.7%
居住年数					
1 年未満	1 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上
1.9%	8.8%	7.1%	8.8%	12.5%	60.4%

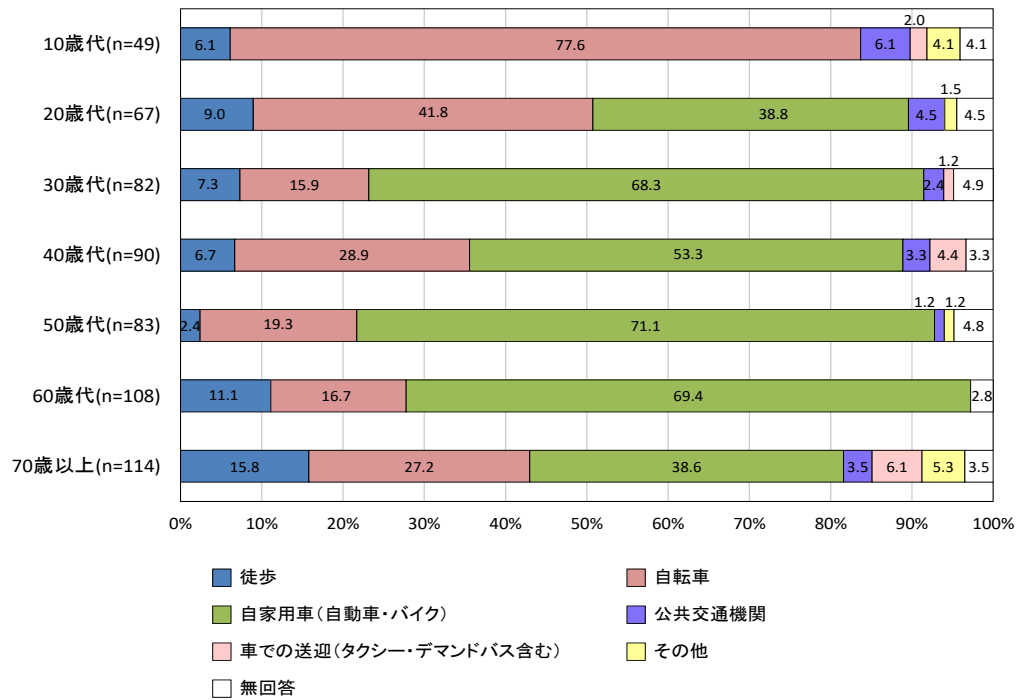
【問 7】 交通手段

あなたが市内の公共施設を利用するときの主な交通手段はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)



「自家用車(自動車・バイク)」が最も多く、「自転車」、「徒歩」と続く。公共交通機関の利用者は低い水準。

【問 7】 交通手段

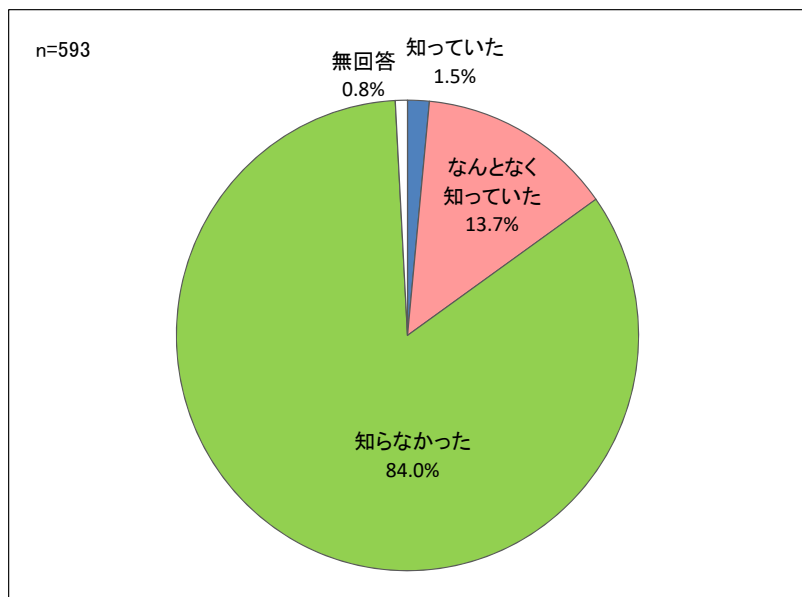


10歳代は「自転車」が大半を占め、20歳代は「自転車」と「自家用車」がほぼ同じくらいとなっています。30～60歳代は「自家用車」が大半を占め、70歳以上は「自家用車」が最も多いですが、「徒歩」や「自転車」も多くいる。

2. 北本市公共施設等総合管理計画について

【問 9 - 1】 公共施設等総合管理計画の認知度

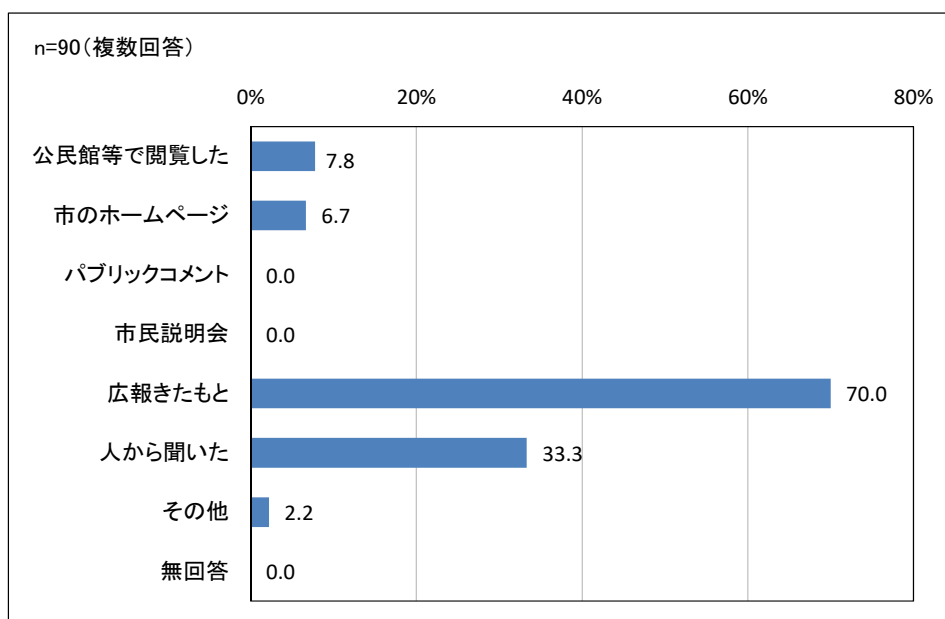
北本市では、今後も継続的に公共施設の運営を続けていくために、平成29年3月に北本市公共施設等総合管理計画を策定しました。これまでこの計画をご存じでしたか。
(○は1つ)



「知らなかった」が84.0%で最も多く、「なんとなく知っていた」が13.7%、「知っていた」が1.5%で続く。

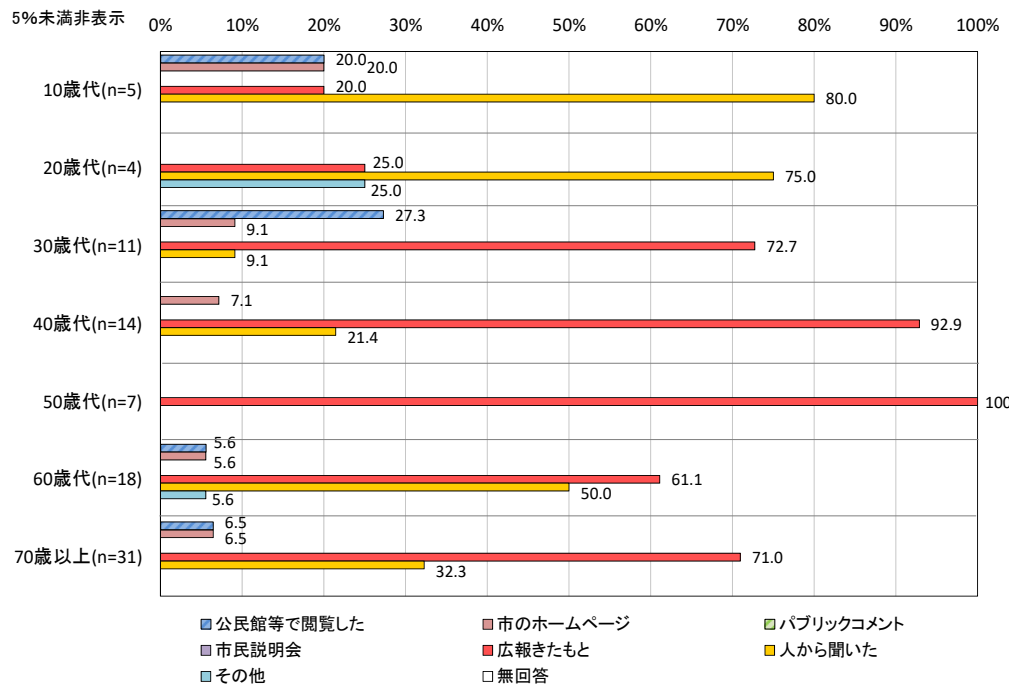
【問 9 - 2】 計画を認知した手段

「問9-1」で「1, 2」を選んだ方にお聞きします。どのような手段で知りましたか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)



「広報きたもと」が70.0%で最も多く、「人から聞いた」が33.3%、「公民館等で閲覧した」が7.8%で続く。

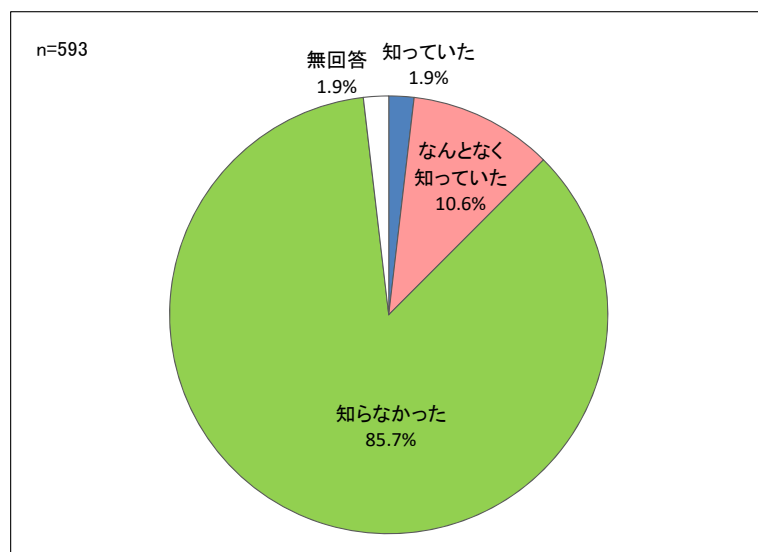
【問 9 - 2】 計画を認知した手段



10歳代、20歳代では「人から聞いた」割合が高く、30歳代以上では「広報きたもと」の割合が最も高くなっており、情報共有手段として有効と言える。

【問 9 - 3】 削減目標の設定背景（財政面）の認知度

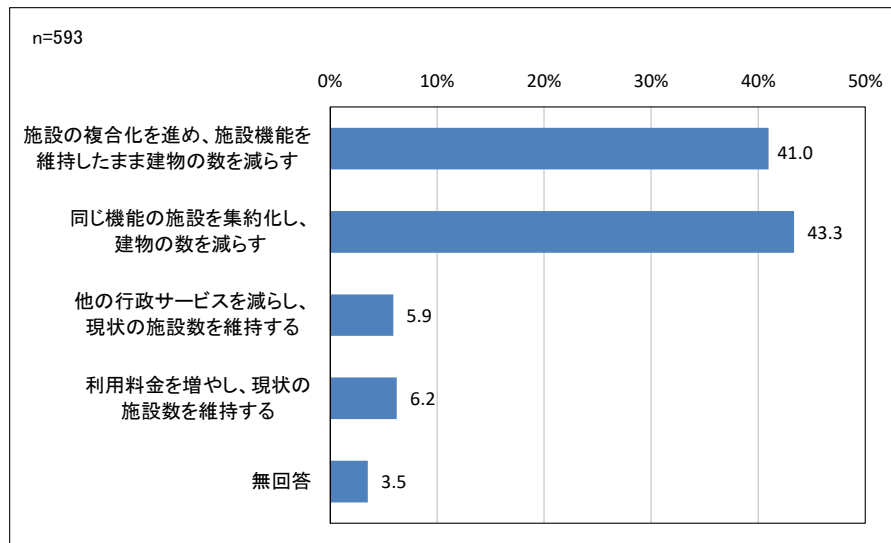
北本市公共施設等総合管理計画（平成29年度3月策定）では、既存施設の建替え等の経費のみで年間7.6億円（市民1人あたりの負担：約1.1万円/年）の予算が足りないため、今後40年間で公共施設（建物）を50%削減する目標を掲げています。これまでこの状況についてご存知でしたか。（○は1つ）



削減目標の設定背景（財政面）の認知度は、「知らなかった」が85.7%で最も多く、「なんとなく知っていた」が10.6%、「知っていた」が1.9%で続く。

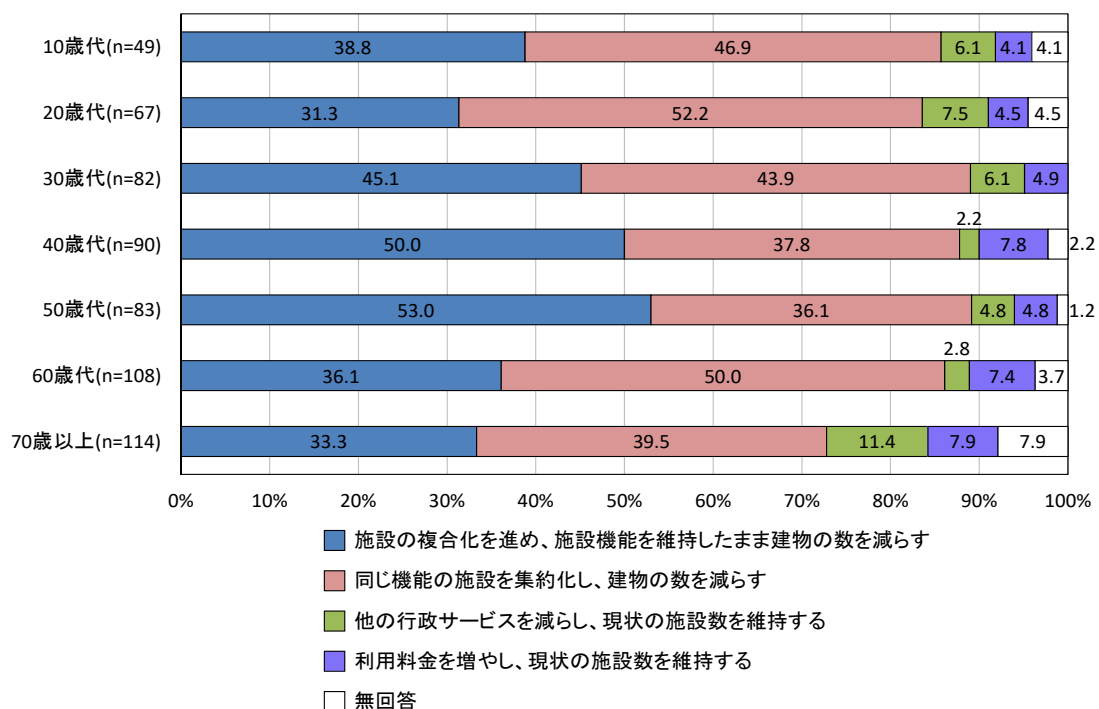
【問 1 0】 削減目標のための対応案

このような市の財政状況において、市が管理する全ての公共施設を更新し、維持・管理を続けることは困難といえます。削減目標50%を実現するために考えられる対応案について、どれが適切だと思いますか。（○は1つ）



削減目標のための対応案は、「同じ機能の施設を集約化し、建物の数を減らす」が43.3%で最も多く、続いて「施設の複合化を進め、施設機能を維持したまま建物の数を減らす」が41.0%で、複合化や集約化で建物の数を減らすことを通じて、削減目標50%を実現するという考えが多くなっている。

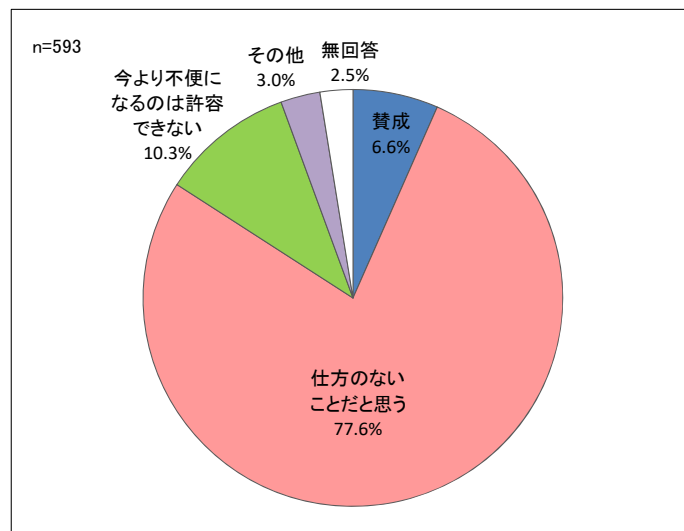
【問 1 0】 削減目標のための対応案



10歳代～60歳代までは8割以上の方が複合化や集約化で建物の数を減らすことを選択しています。一方、70歳以上の方は、建物の数を減らす以外の選択肢を選択している方が、他の世代よりも多く見られる。

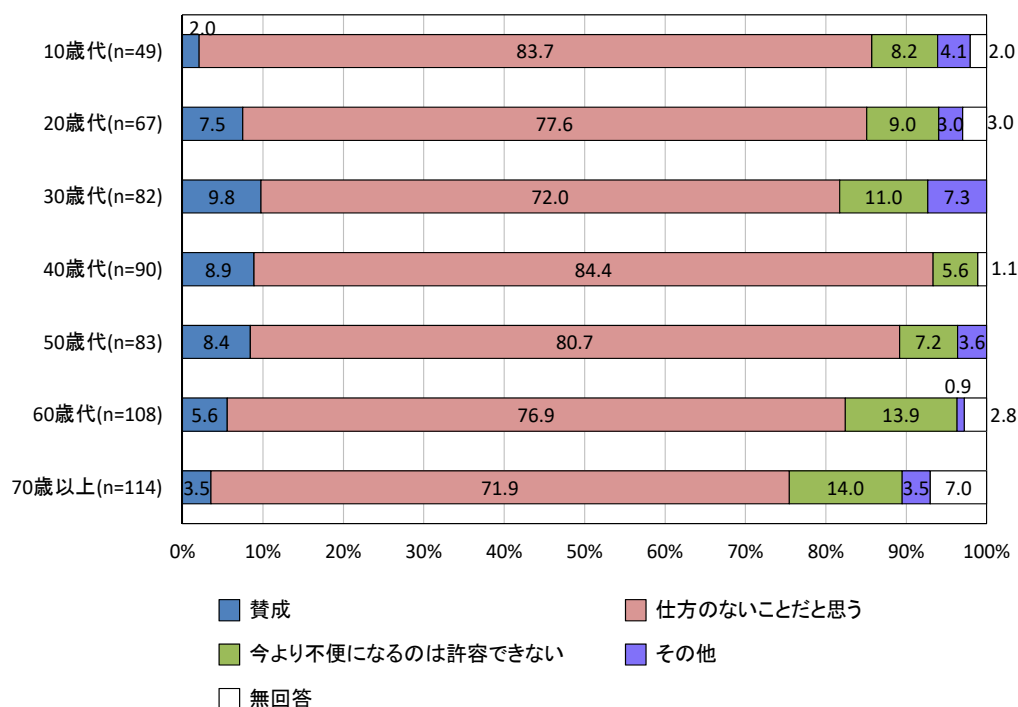
【問 1 1】 集約・複合化に伴う弊害の考え方

市の財政状況を考慮すると、公共施設の集約、複合化などを進めることが考えられます。集約、複合化によって、今まで利用してきた施設が遠くなったり、利用の仕方が変わったりすることが考えられますが、このことについてどう思いますか。（○は1つ）



集約・複合化に伴う弊害の考え方は、「仕方のないことだと思う」が77.6%で最も多く、「今より不便になるのは許容できない」が10.3%、「賛成」が6.6%で続く。

【問 1 1】 集約・複合化に伴う弊害の考え方

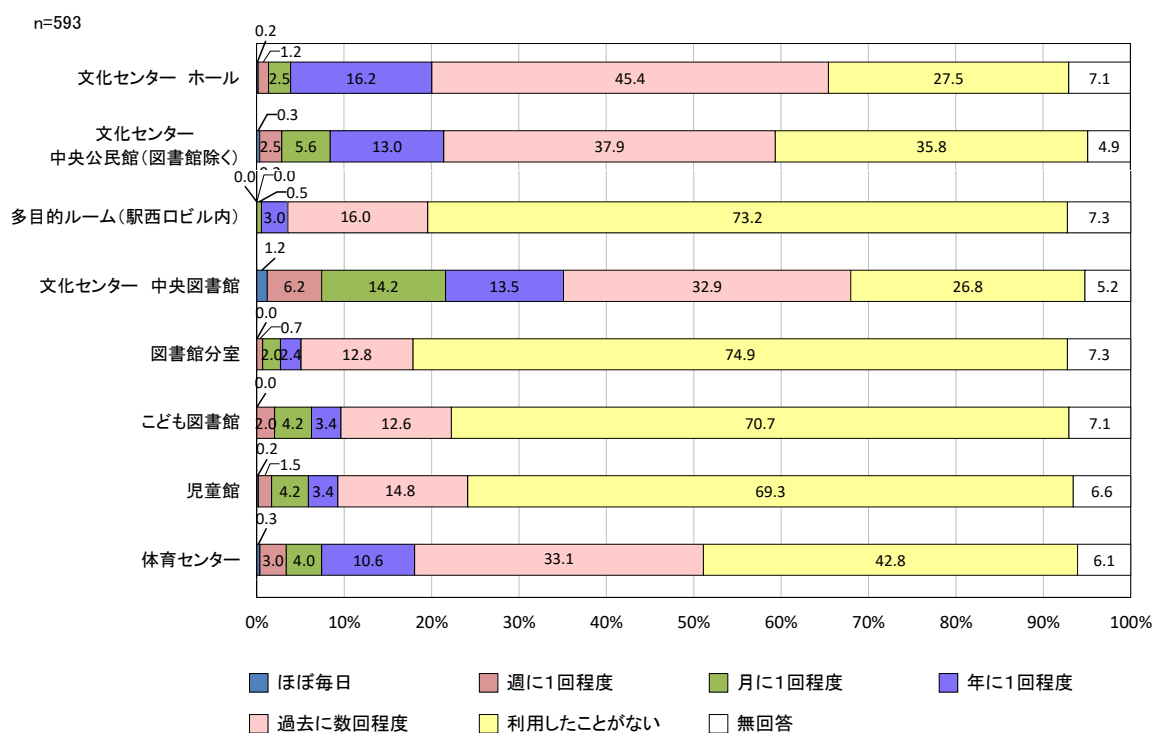


0歳代～60歳代までは8割以上の方が「賛成」や「仕方のないことだと思う」を選択している。一方、60歳代以上で、「今より不便になるのは許容できない」を選択している方が、他の世代よりも多く見られる。

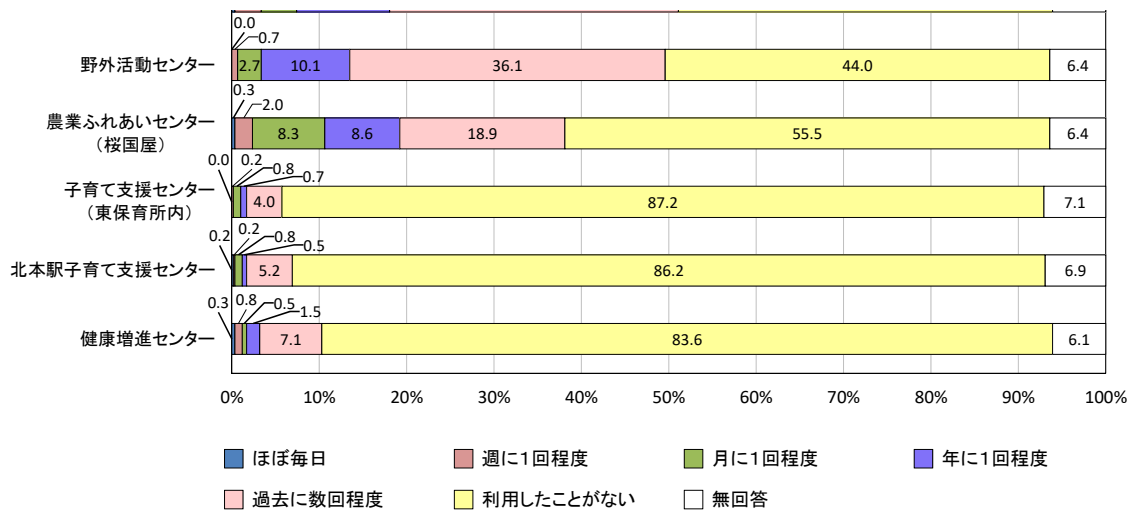
3. 公共施設の利用状況等について

【問 1 2 - 1】 施設ごとの利用状況

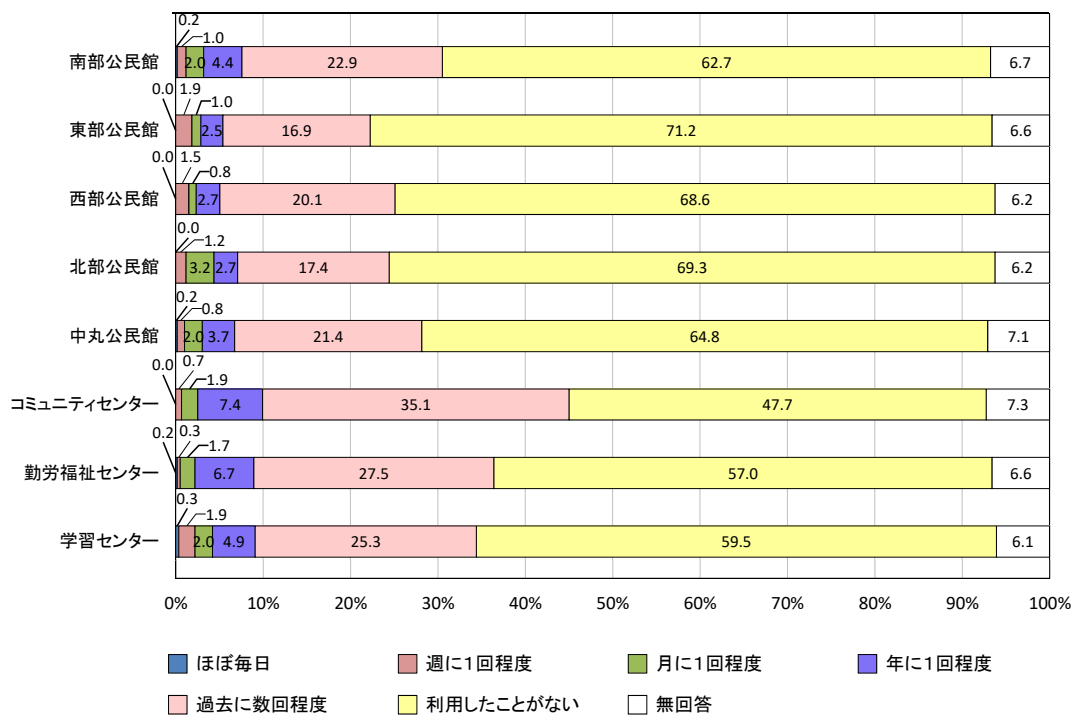
あなたは、以下に示す公共施設(市民が自発的に利用する施設のみ)をどのくらい利用しますか。施設名別に、「利用頻度」から1つ選んで、番号に○をつけてください。



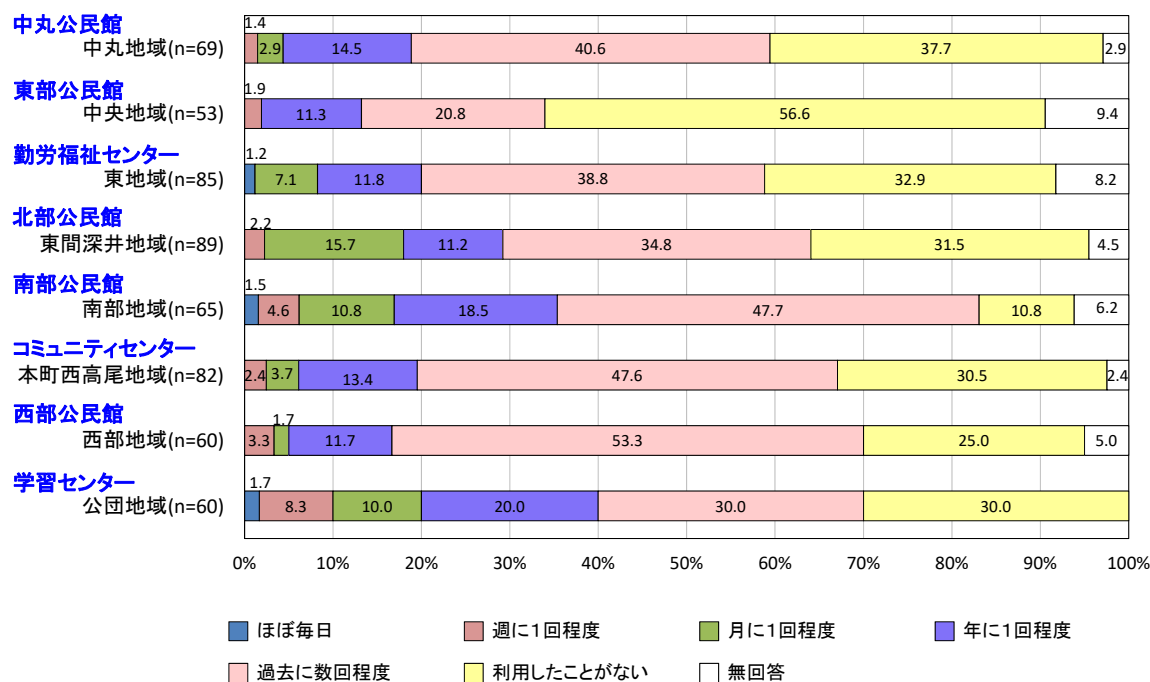
【問 1 2 - 1】 施設ごとの利用状況



【問 1 2 - 1】 施設ごとの利用状況



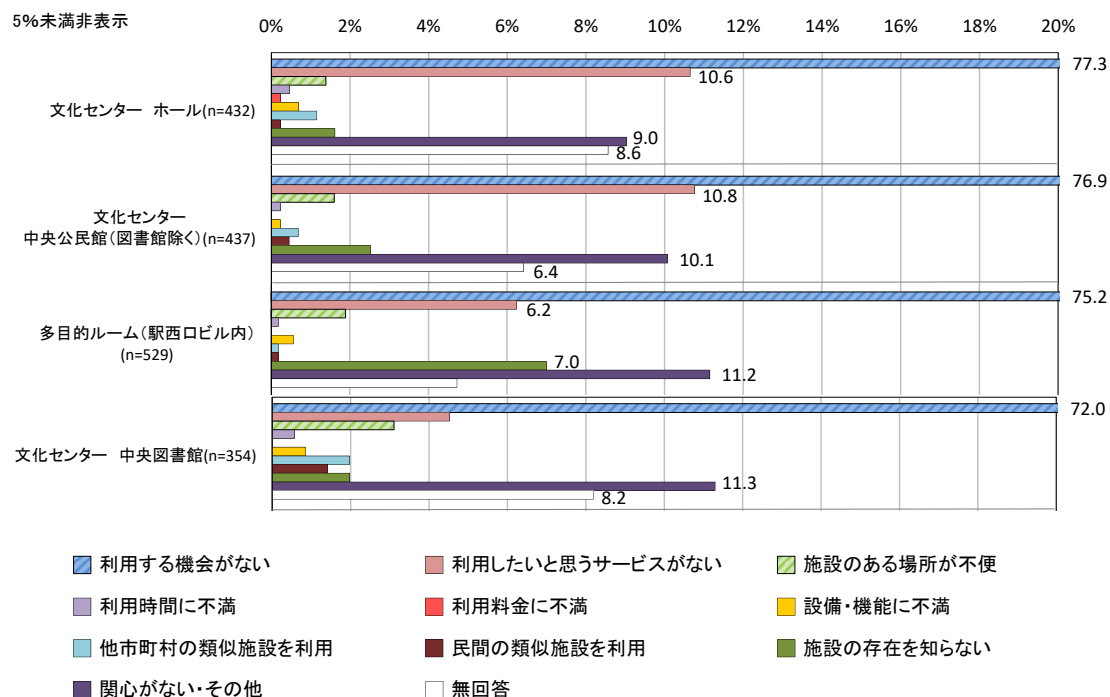
【問 1 2 - 1】 施設ごとの利用状況（地域住民のみに限定）



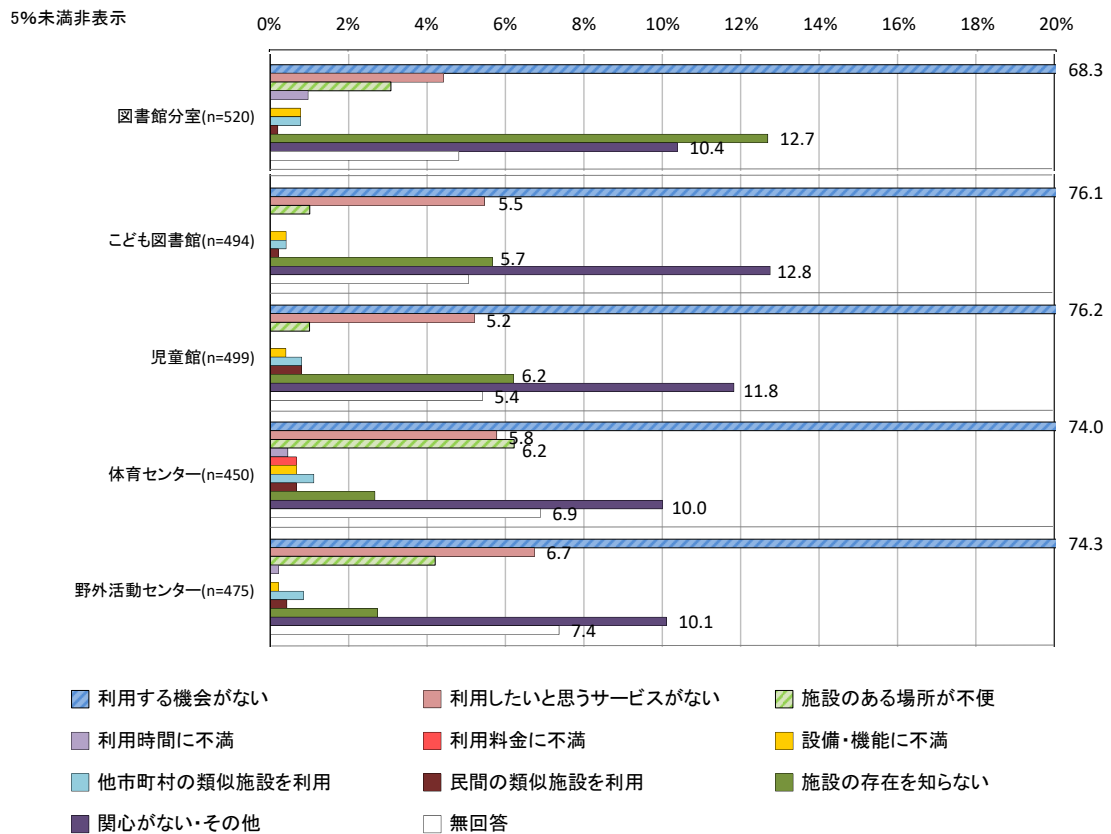
利用しているとの回答（ほぼ毎日、週に1回程度、月に1回程度、年に1回程度の合計）が最も多かった施設は「文化センター 中央図書館」で、35.1%を占めており、次いで「文化センター 中央公民館（図書館除く）」の21.4%、「文化センター ホール」の20.1%となっている。それ以外（公民館除く）は20%を下回っている。

【問 1 2 - 2】 施設を利用していない理由

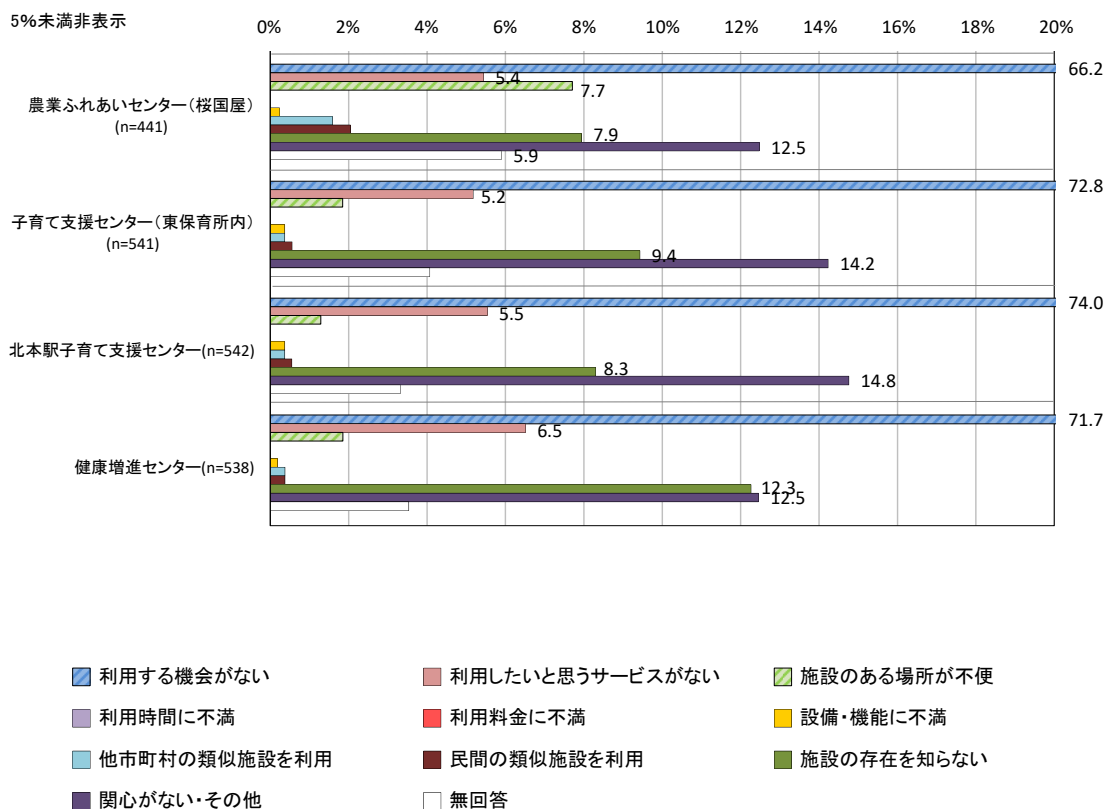
あなたは、以下に示す公共施設（市民が自発的に利用する施設のみ）をどのくらい利用しますか。施設名別に、「利用頻度」から1つ選んで、番号に○をつけてください。



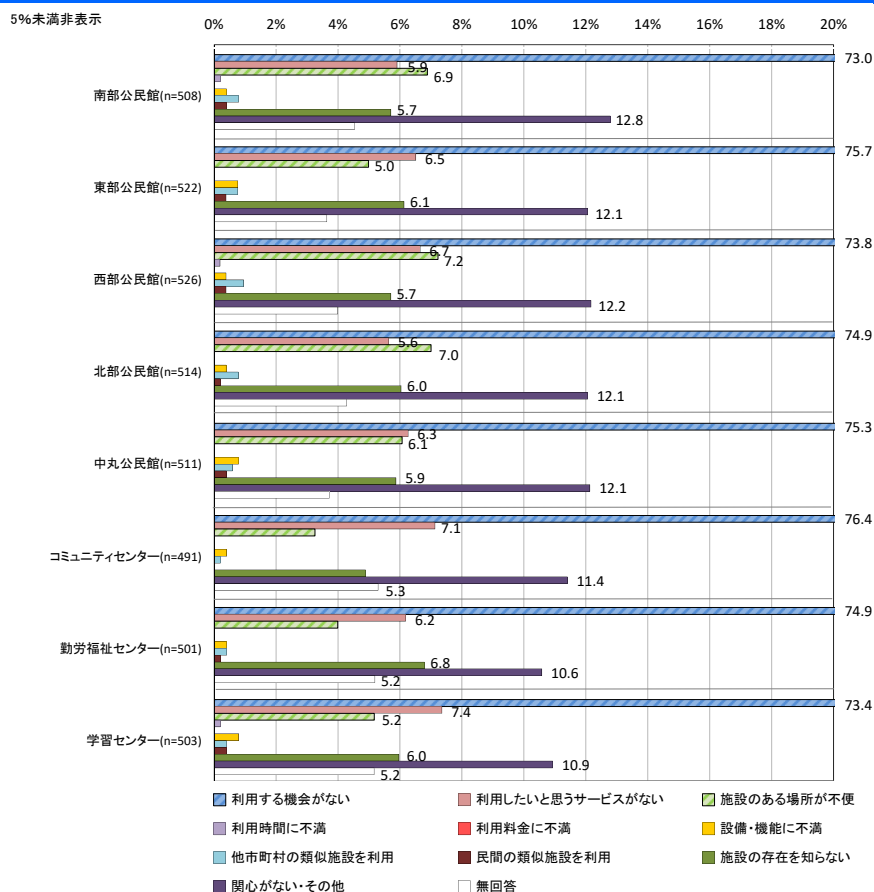
【問 1 2 - 2】 施設を利用していない理由



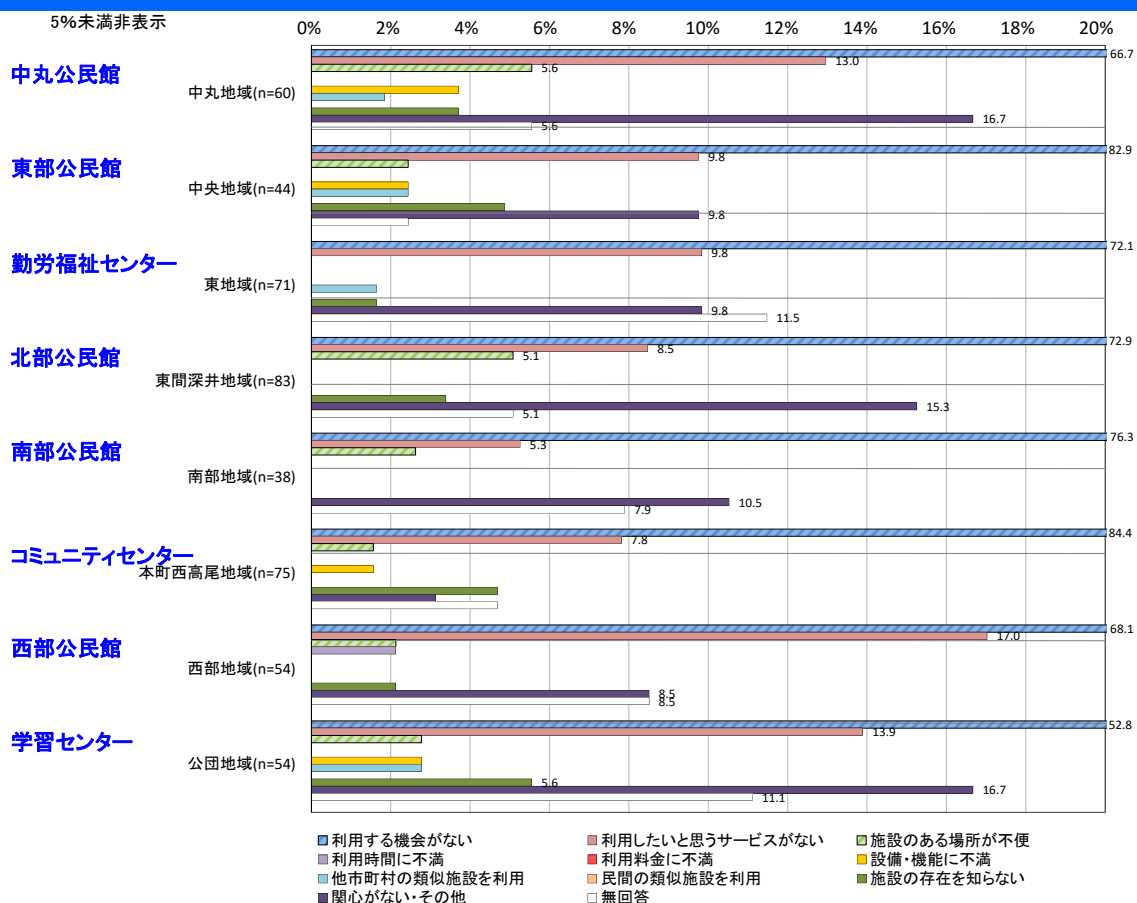
【問 1 2 - 2】 施設を利用していない理由



【問 1 2 - 2】 施設を利用していない理由



【問 1 2 - 2】 施設を利用していない理由（地域住民のみに限定）



【問 1 2 - 2】 施設を利用していない理由

「利用する機会がない」「関心がない・その他」が多くなっている。それ以外については以下のような傾向が見られる。

利用したいと思うサービスがない：「文化センター ホール」と「文化センター 中央公民館」で、年代に依らずやや多い回答が見られる。

施設のある場所が不便：「各公民館」と「体育センター」「農業ふれあいセンター」でやや多くなっている。「各公民館」については、当該地域内の施設については概ね少ない傾向にあるため、地域外の施設に対する回答を反映したものと思われる。

利用時間に不満：回答は少ないものの、一部「文化センター ホール」「文化センター 中央図書館」「図書館分室」「体育センター」において見られる。

利用料金に不満：回答は少ないものの、一部「文化センター ホール」「体育センター」において見られる。

他市町村の類似施設を利用：回答は少ないものの、「文化センター 中央図書館」「農業ふれあいセンター」などにおいて見られる。

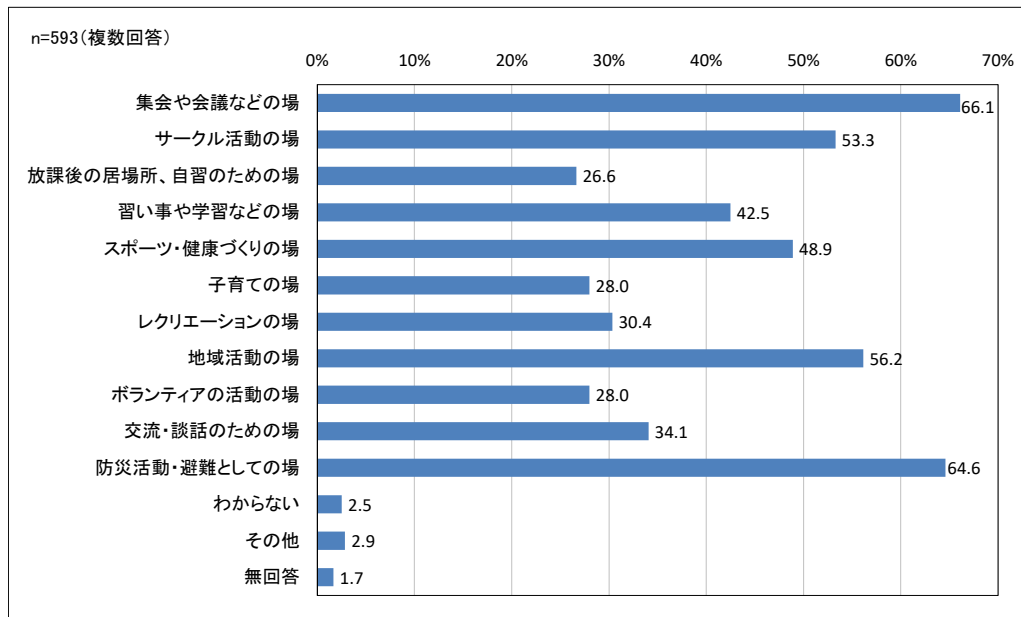
民間の類似施設を利用：回答は少ないものの、「文化センター 中央図書館」「農業ふれあいセンター」などにおいて見られる。

施設の存在を知らない：「図書館分室」「健康増進センター」「多目的ルーム（駅西口ビル内）」などにおいて、特に若い世代を中心に多く回答が見られる。

4. 公共施設のあり方について

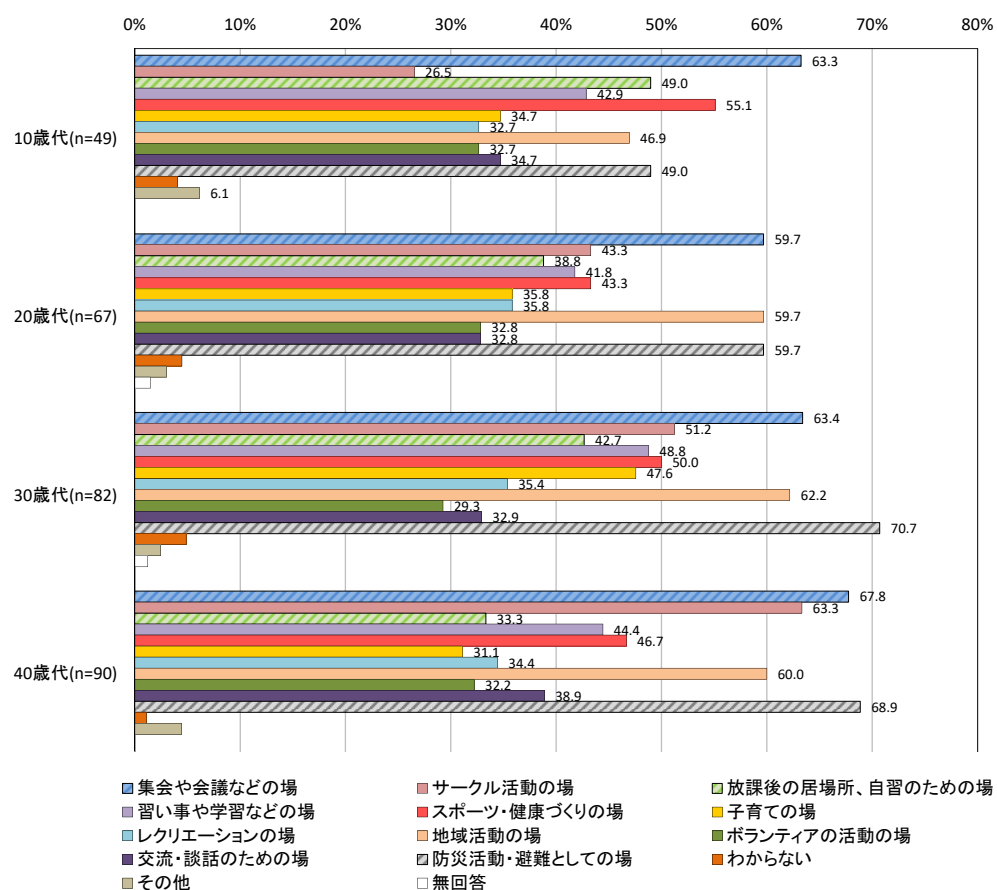
【問 1 3】 公民館のあるべき姿

あなたにとって、各地域にある公民館はどのように利用されるべき施設であると思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。(○はいくつでも)

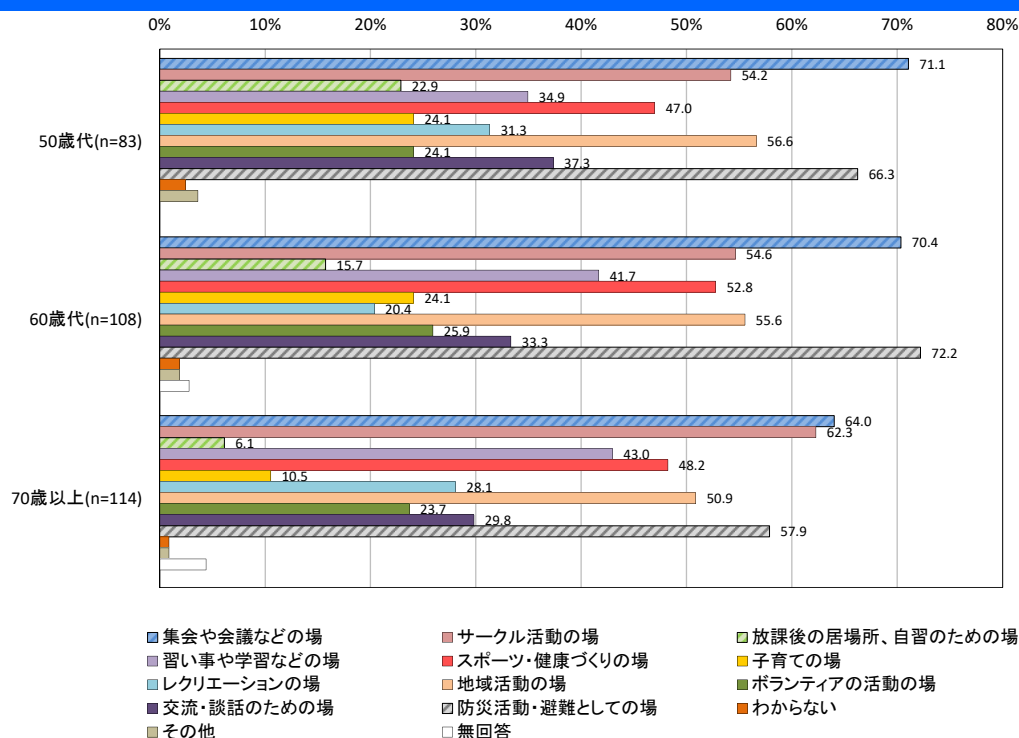


公民館のあるべき姿は、「集会や会議などの場」で最も多く、「防災活動・避難としての場」、「地域活動の場」、「サークル活動の場」が続く。

【問 1 3】 公民館のあるべき姿



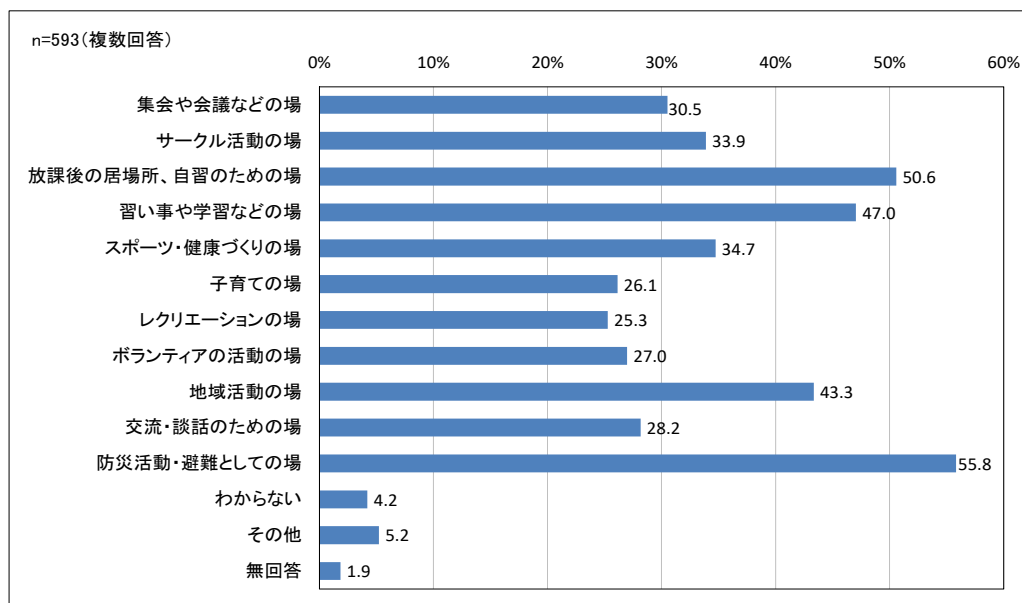
【問 1 3】 公民館のあるべき姿



若い世代に「放課後の居場所、自習のための場」や「子育ての場」を求める考えが、年齢が高い世代に比べて多い傾向にある。また、30歳代において、「子育ての場」を求める考えが多くあります。一方、年齢が高い世代に「サークル活動の場」を求める考えが、若い世代に比べて多い傾向にある。

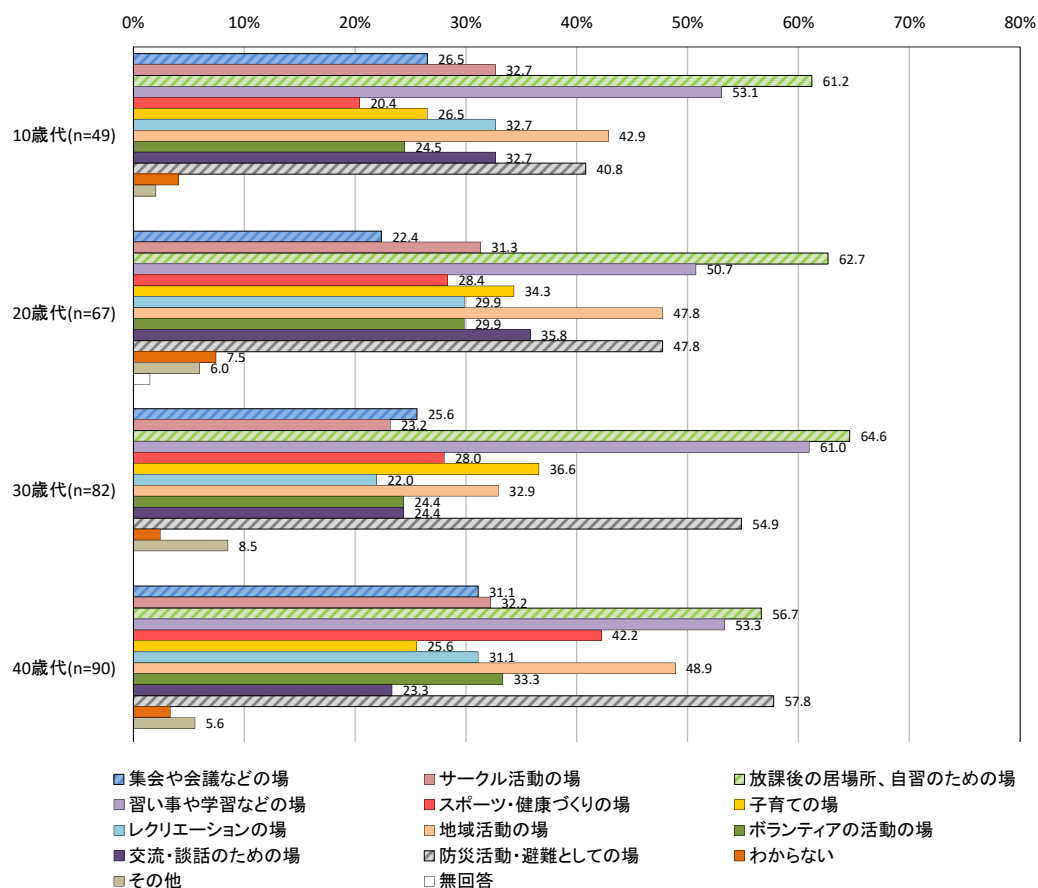
【問 1 4】 学校施設の余裕施設の活用方法

学校施設は、将来的に児童・生徒数の減少が見込まれ、今後、余裕教室が出てくることが考えられます。余裕教室の活用方法としてあなたの考えに近いものに○を付けてください。(○はいくつでも)

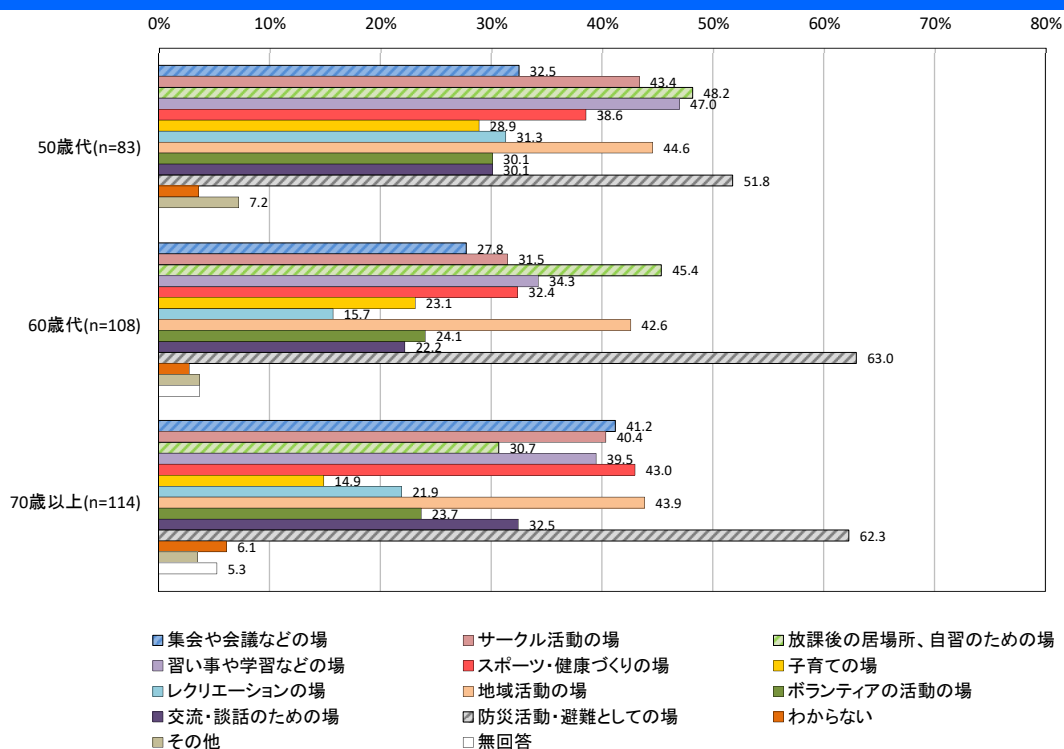


「防災活動・避難としての場」が最も多く、「放課後の居場所、自習のための場」、「習い事や学習などの場」、「地域活動の場」が続く。

【問 1 4】 学校施設の余裕施設の活用方法



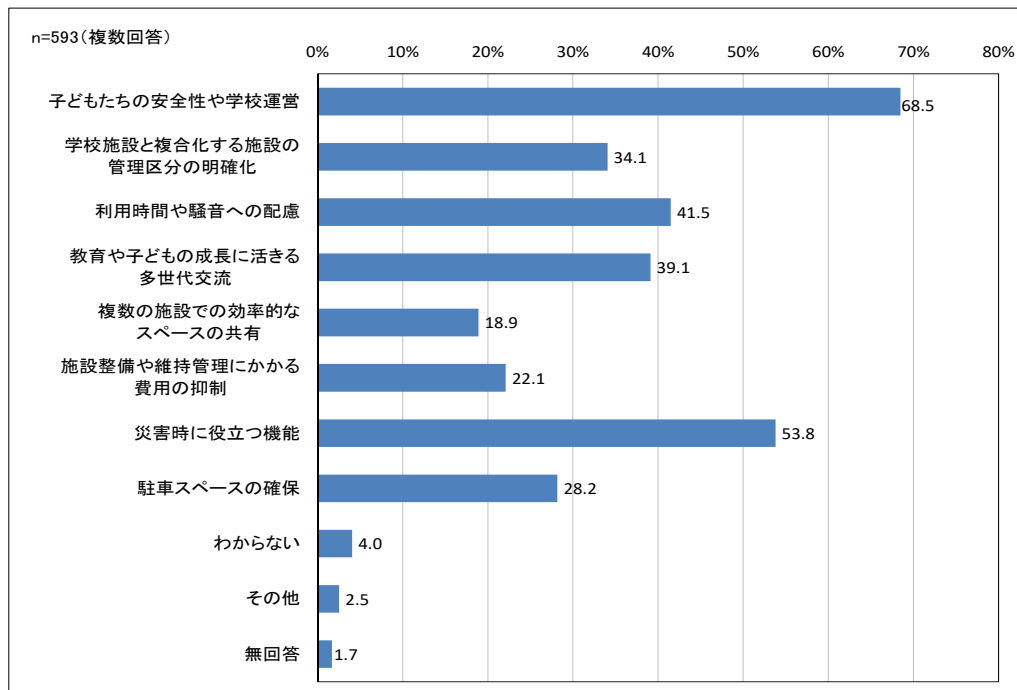
【問 1 4】 学校施設の余裕施設の活用方法



若い世代に「放課後の居場所、自習のための場」や「習い事や学習などの場」を求める考えが相対的に多いのに対し、年齢が高い世代に「スポーツ・健康づくりの場」や「防災活動・避難としての場」が相対的に多い傾向にある。

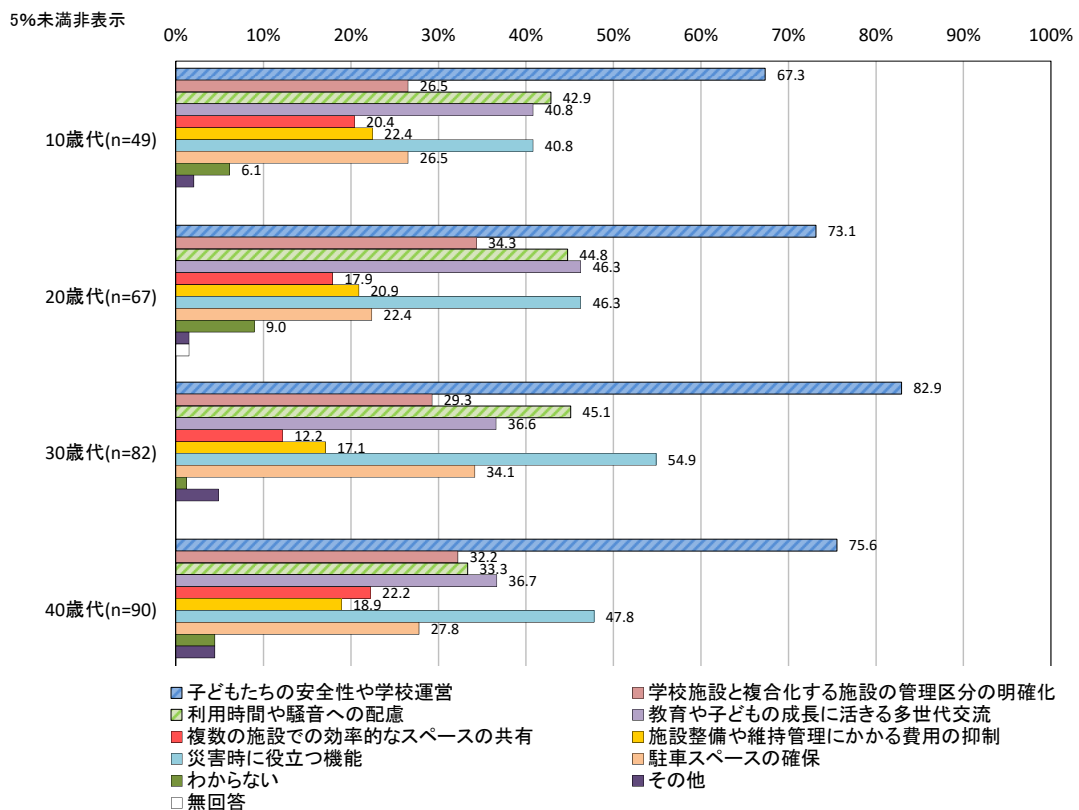
【問 1 5】 学校の複合化の際に注意すべき点

学校の余裕教室を活用する上で配慮すべきことについて、あなたの考えに近いものに○をつけてください。(○はいくつでも)

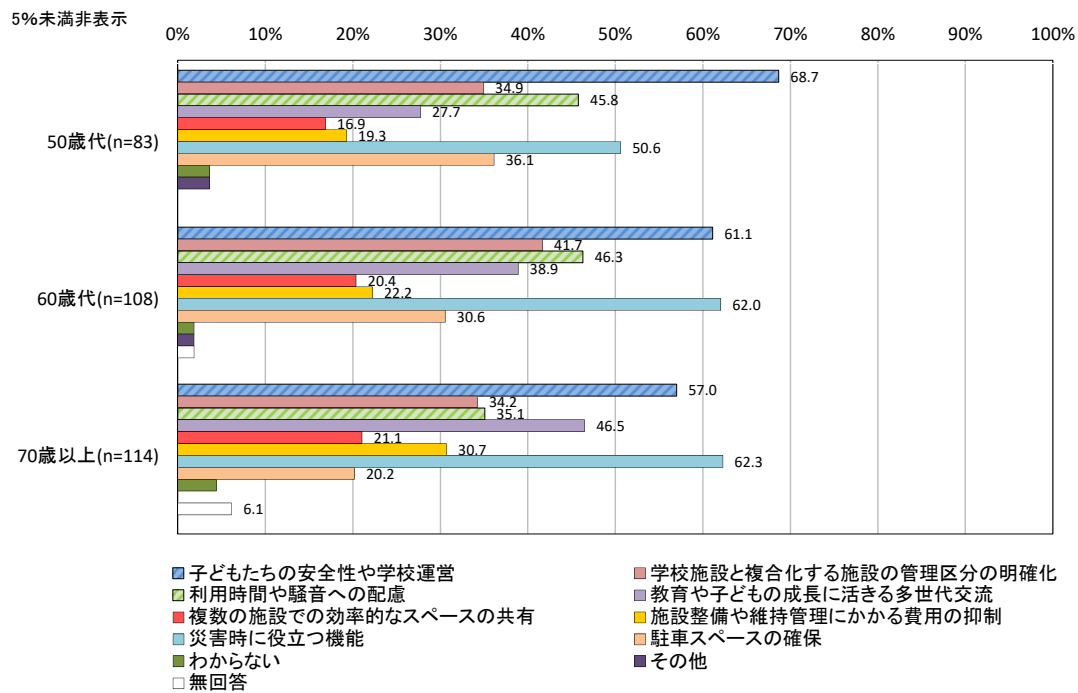


「子どもの安全性や学校運営」が最も多く、「災害時に役立つ機能」、「利用時間や騒音への配慮」、「教育や子どもの成長に活きる多世代交流」が続く。

【問 1 5】 学校の複合化の際に注意すべき点



【問 1 5】 学校の複合化の際に注意すべき点



若い世代に「子どもたちの安全性や学校運営」を求める考えが相対的に多いのに対し、年齢が高い世代に「災害時に役立つ機能」を求める考えが相対的に多い傾向にある。「教育や子どもの成長に生きる多世代交流」については、年代に依らず一定数の求める声がある。

施設利用者アンケート

調査の概要

(1) 目的

各公民館等の利用者に対し利用状況を伺い、利用実態を把握することにより、今後の公共施設のあり方を検討するための基礎資料の1つとして活用するために実施した。

(2) 調査対象

各公民館等の利用者（予約を入れて利用するものに限定し、イベント参加者等の予約を入れずに利用するものは対象外とした）。

(3) 調査方法

一つの施設につき、一度のみ回答、備え付けの「施設利用者アンケート回答箱」に入れ、無記名回答とした。

(4) 調査期間

平成30年9月20日（木）から11月20日（火）まで。

(5) 回収結果

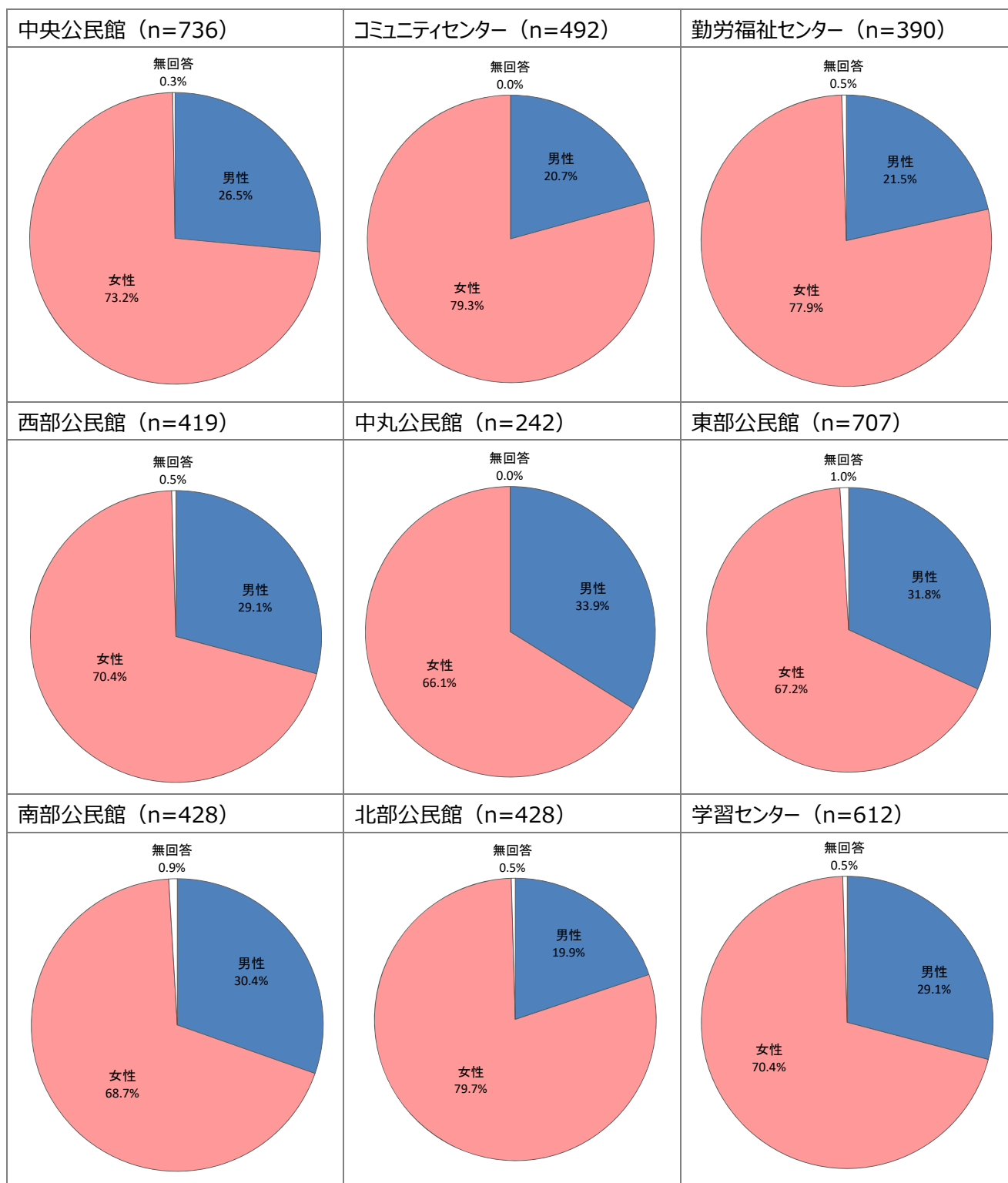
有効回収数は4,454票、白票が70票。

NO	施設名	有効回収数	白票	計
1	中央公民館	736	7	743
2	コミュニティセンター	492	2	494
3	勤労福祉センター	390	9	399
4	西部公民館	419	3	422
5	中丸公民館	242	1	243
6	東部公民館	707	24	731
7	南部公民館	428	7	435
8	北部公民館	428	9	437
9	学習センター	612	8	620
	合計	4,454	70	4,524

1. あなたご自身について

【問 1】 性別

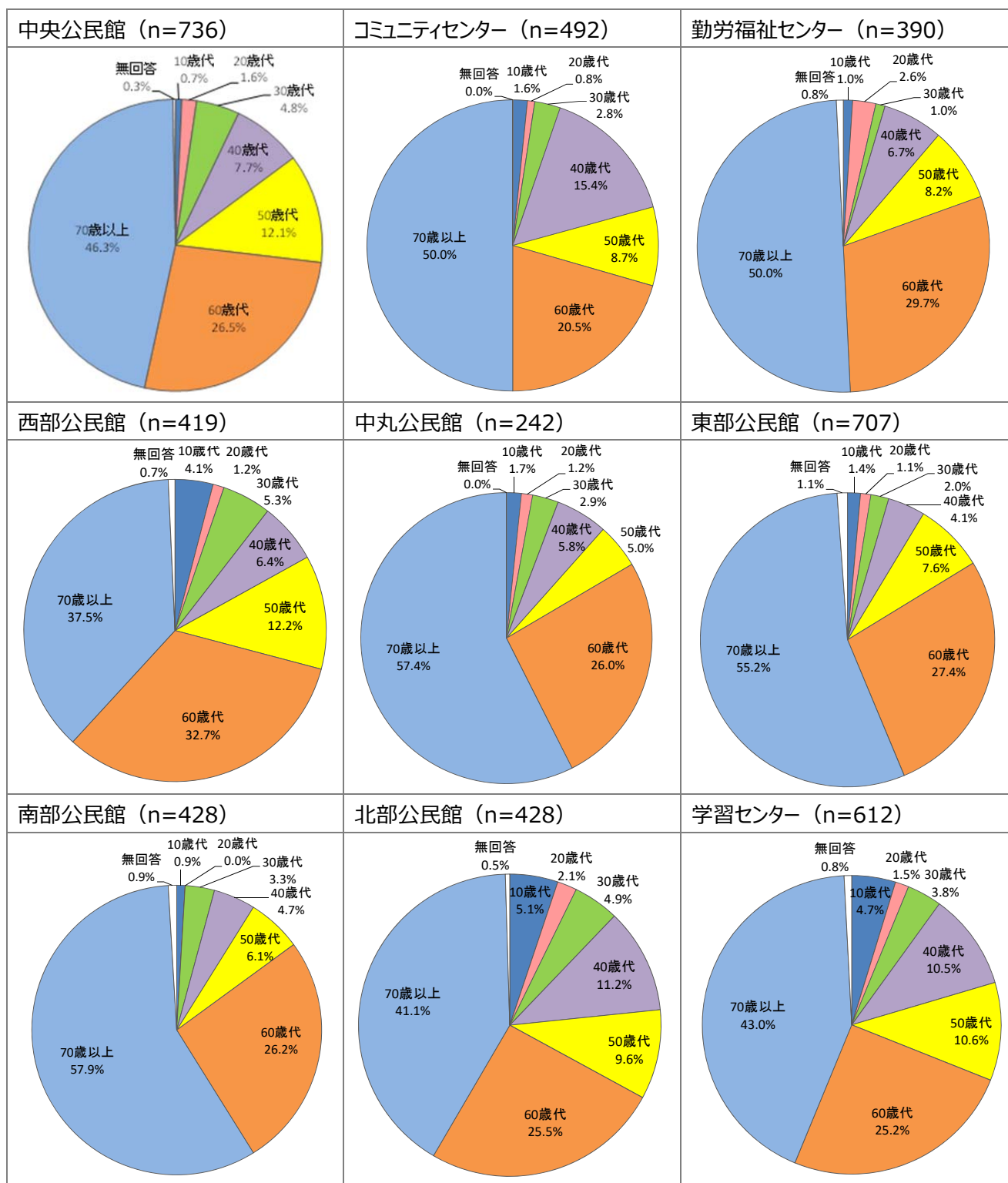
あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)



いずれの施設も女性の利用が7割近くを占める。

【問 2】 年齢

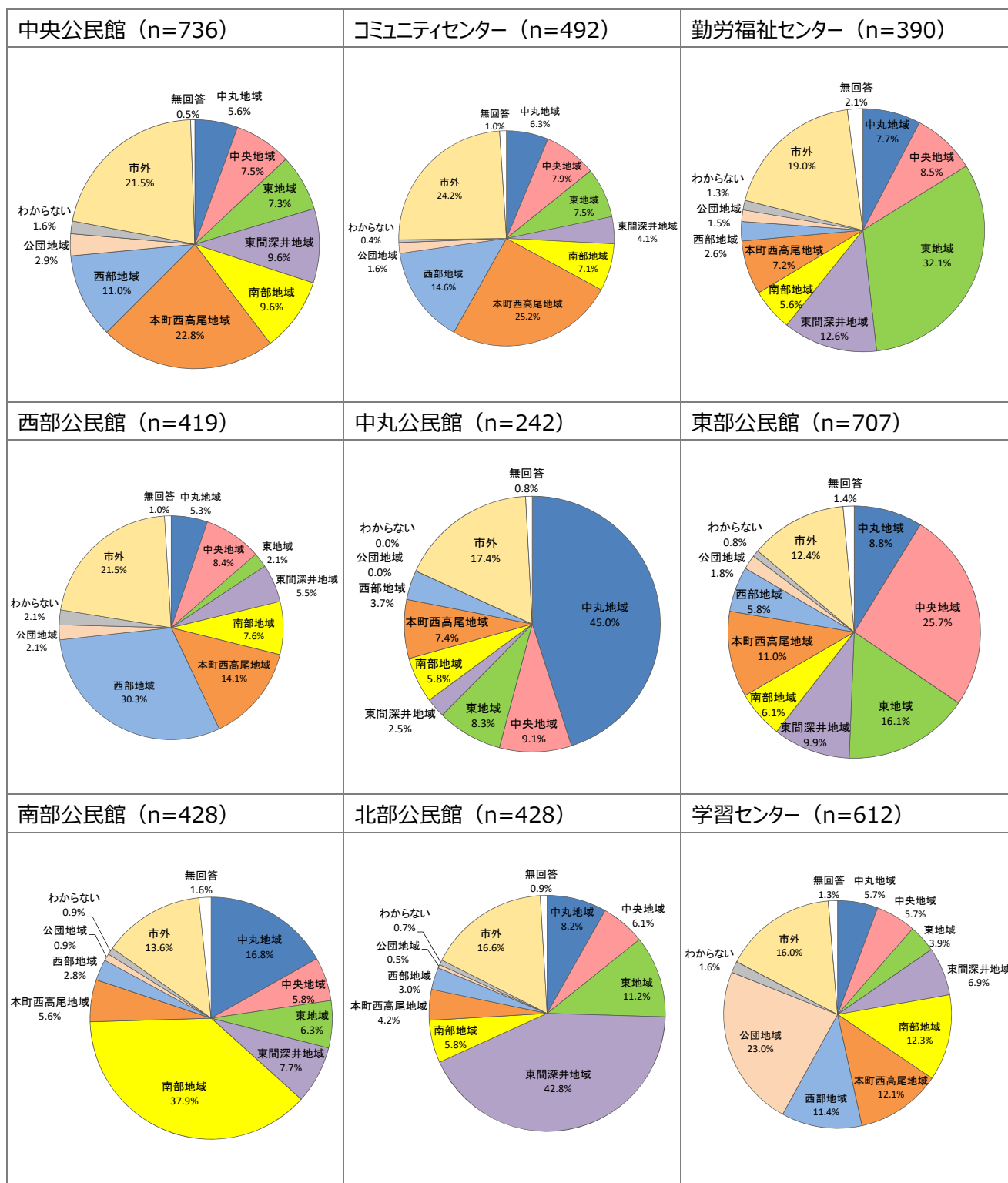
あなたの年齢はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)



いずれの施設も 60 歳以上の利用が半分以上を占め、特に「勤労福祉センター」「中丸公民館」「東部公民館」「南部公民館」については、60 歳以上の利用が 4 分の 3 を超えている。

【問3】 居住地区

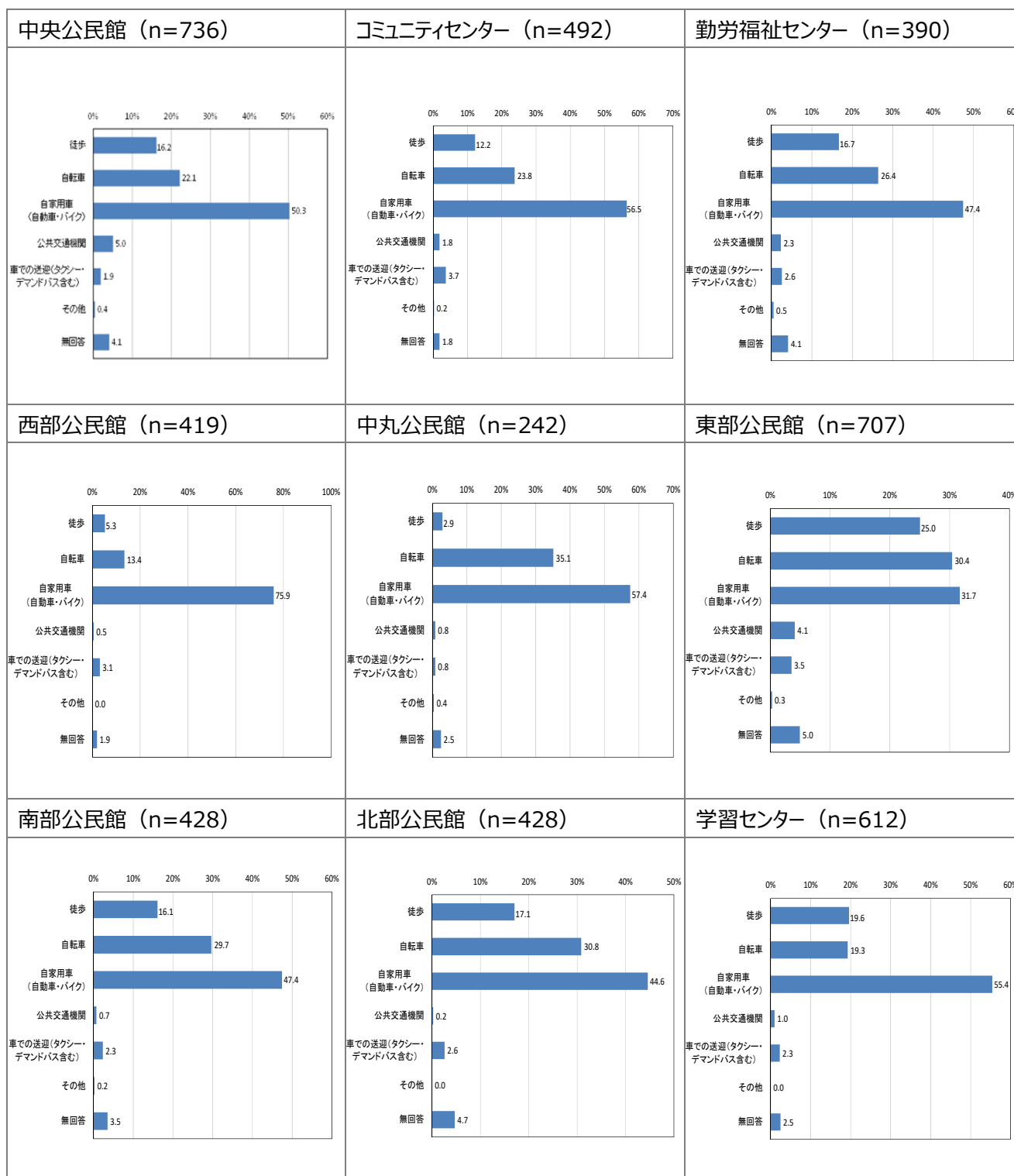
あなたのお住まいの地域はどこですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)



いずれの施設も当該地域からの利用者が最も多い。特に「中丸公民館」「北部公民館」は当該地域からの利用者が4割以上を占める。

【問 4】 交通手段

あなたの自宅からここまでの主な交通手段はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。
(○は1つ)

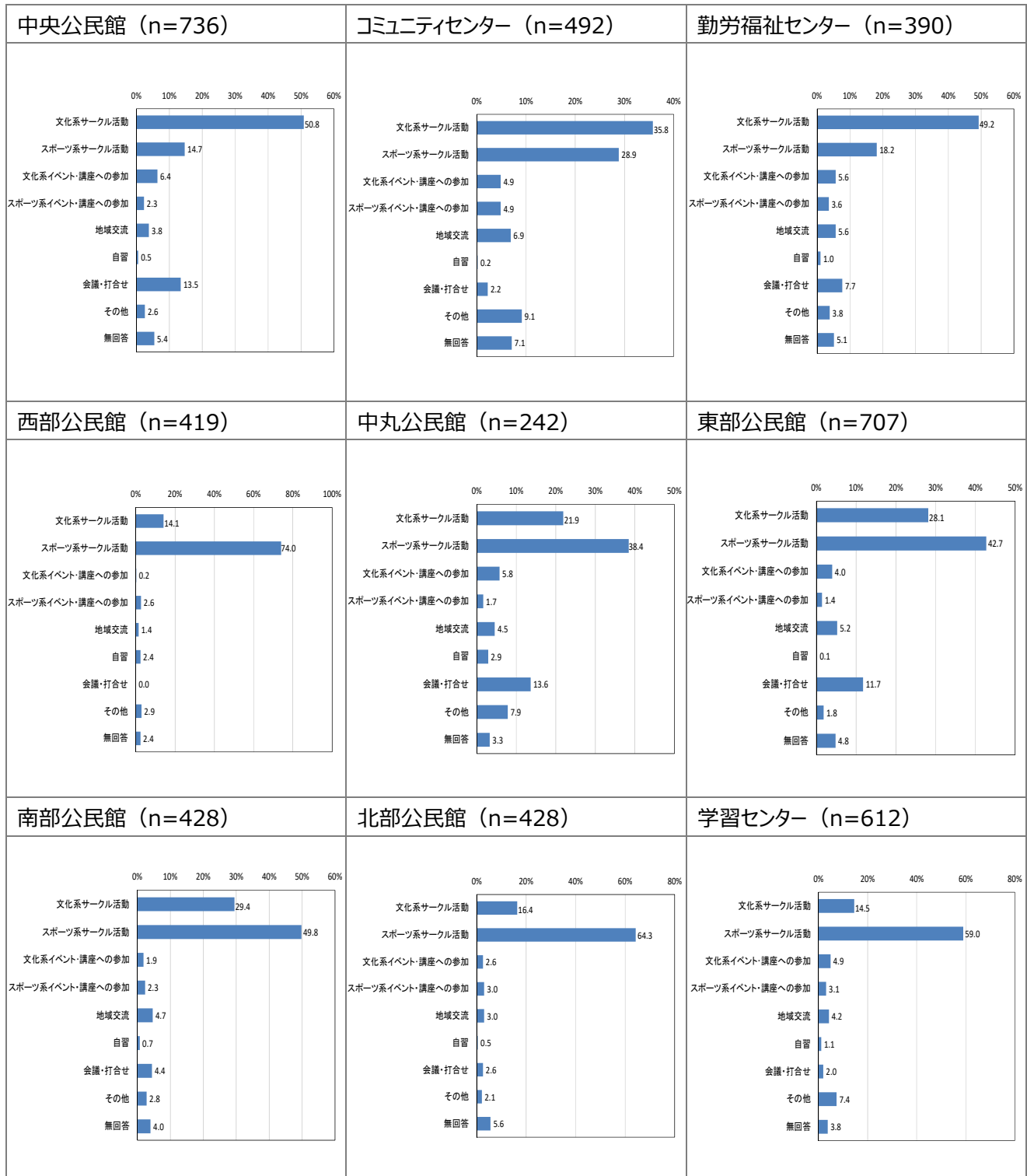


概ね、自家用車、自転車、徒歩の順になっており、公共交通機関の利用は少ない。特に「西部公民館」、「中丸公民館」「コミュニティセンター」「学習センター」「中央公民館」は自家用車の利用者が 5 割以上を占める。

2. 本日の利用状況について

【問５－１】 施設の利用目的

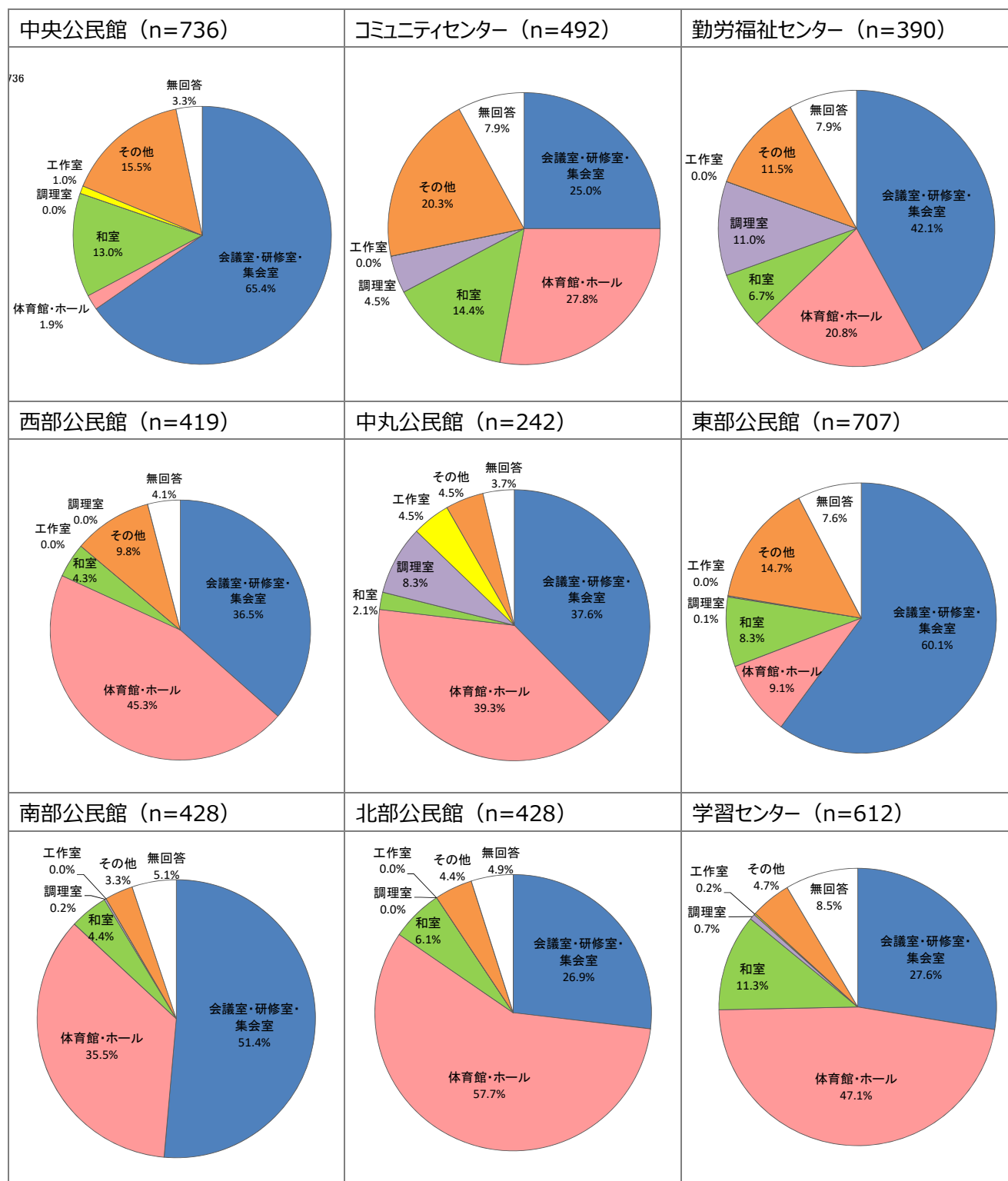
この施設の利用目的は次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は１つ）



文化系サークル活動、スポーツ系サークル活動の利用が多く、前者は「中央公民館」「勤労福祉センター」「コミュニティセンター」において多く、後者はそれ以外に多い。また、「中丸公民館」「中央公民館」「東部公民館」においては、会議・打合せの利用も見られる。

【問５－３】 利用部屋

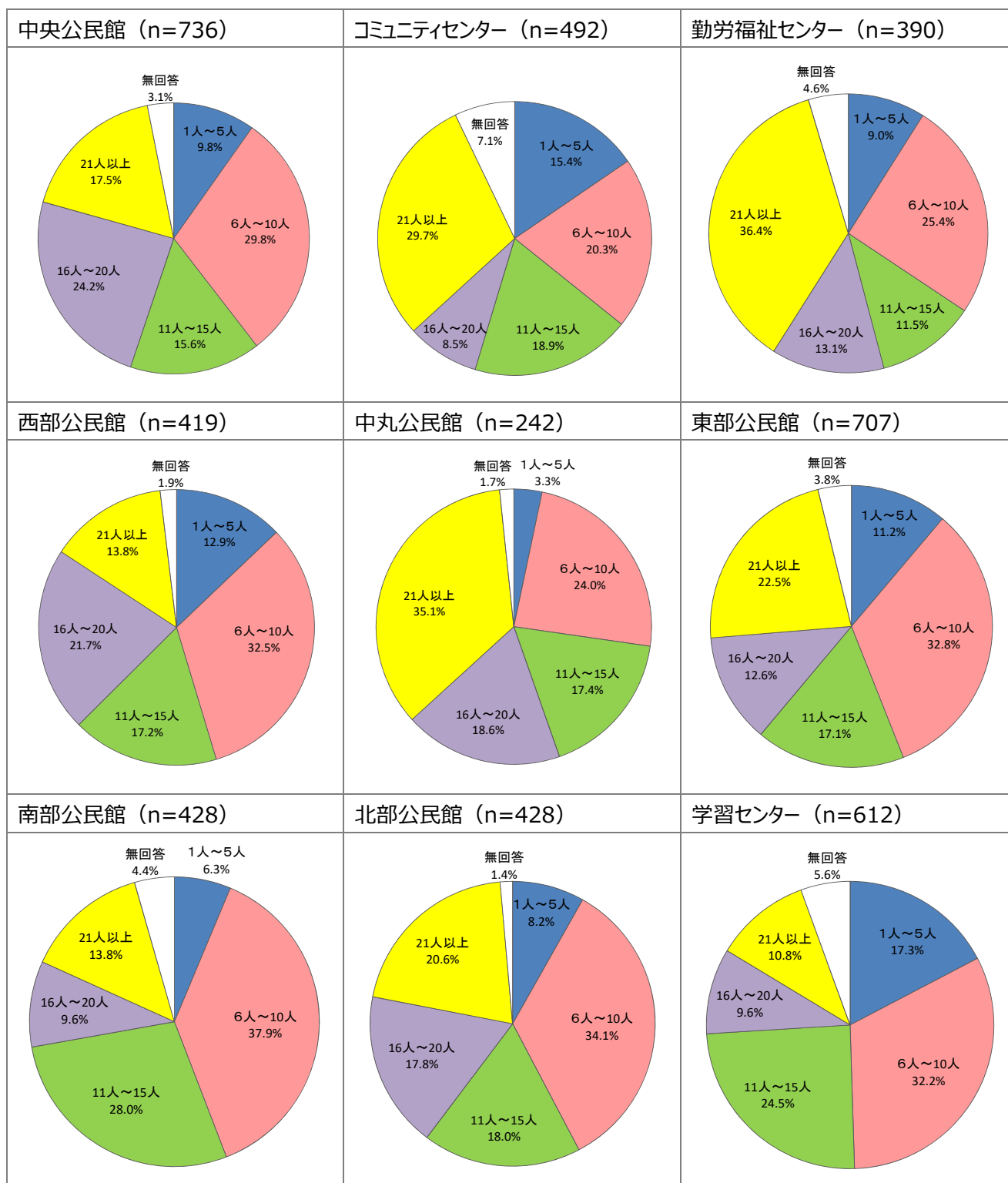
どの部屋を利用しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は１つ)



会議室・研修室・集会室、体育館・ホールの利用が多く、前者は「中央公民館」「東部公民館」「南部公民館」「勤労福祉センター」において多く、後者はそれ以外に多い。

【問 5－4】 利用人数

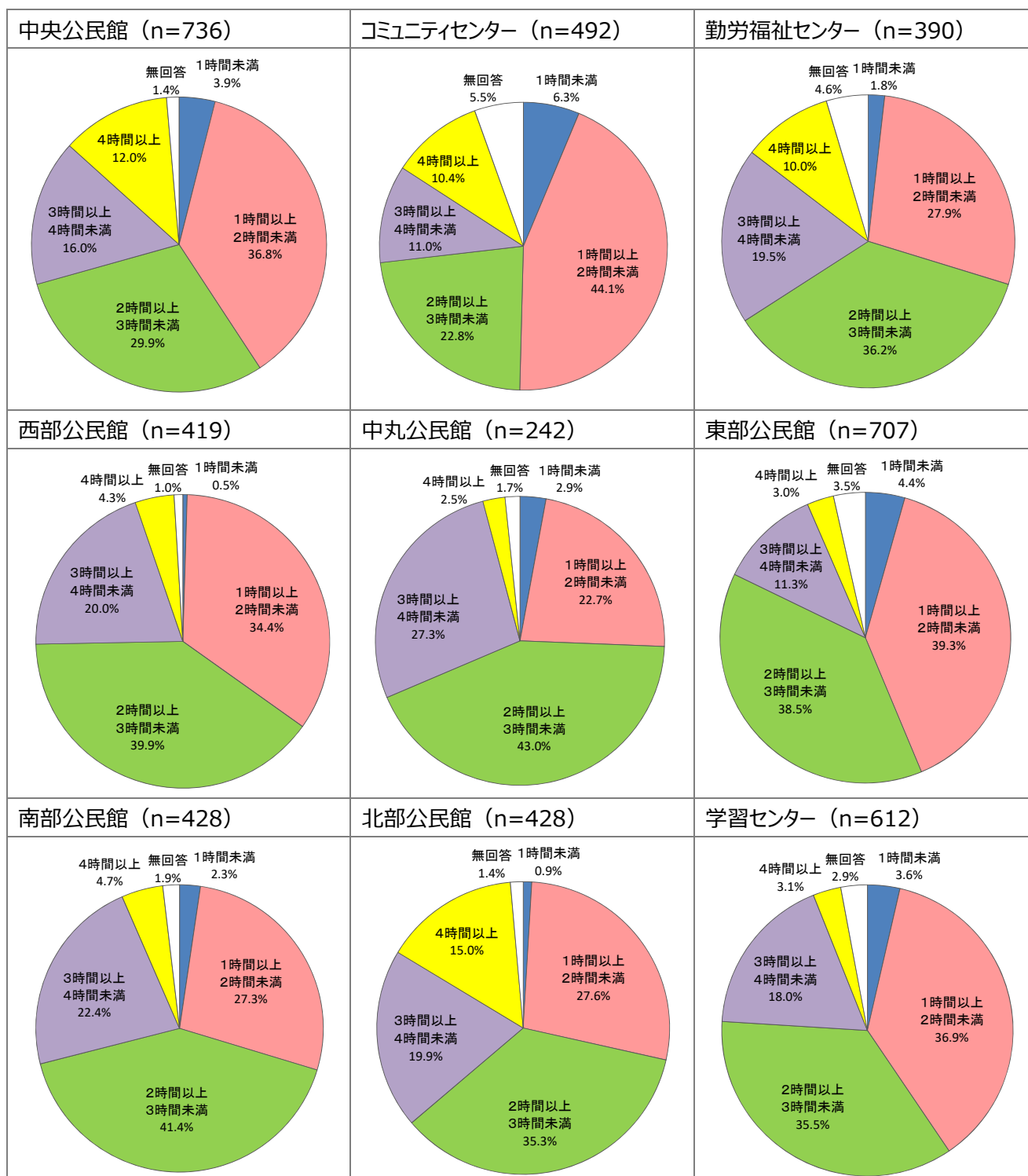
何人で利用しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)



21人以上、6人~10人の利用が多く、前者は「勤労福祉センター」「中丸公民館」「コミュニティセンター」において多く、後者はそれ以外に多い。

【問 5－5】 利用時間

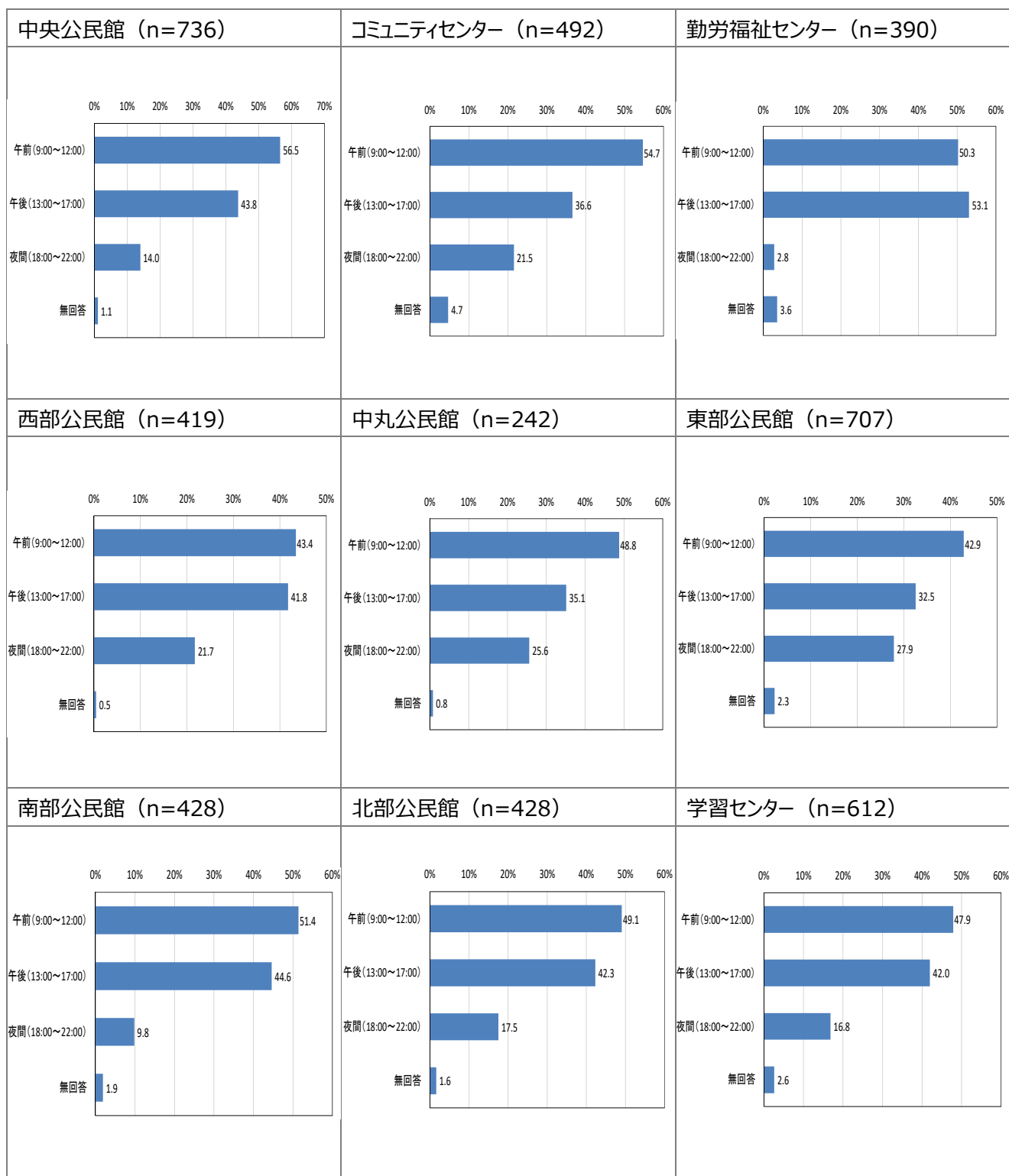
利用時間はどのくらいですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)



1時間以上2時間未満、2時間以上3時間未満の利用が多く、前者は「コミュニティセンター」「東部公民館」「学習センター」「中央公民館」において多く、後者はそれ以外に多い。また、「北部公民館」「中央公民館」「コミュニティセンター」「勤労福祉センター」では4時間以上の利用も見られる。

【問 5－6】 利用時間帯

利用時間帯はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

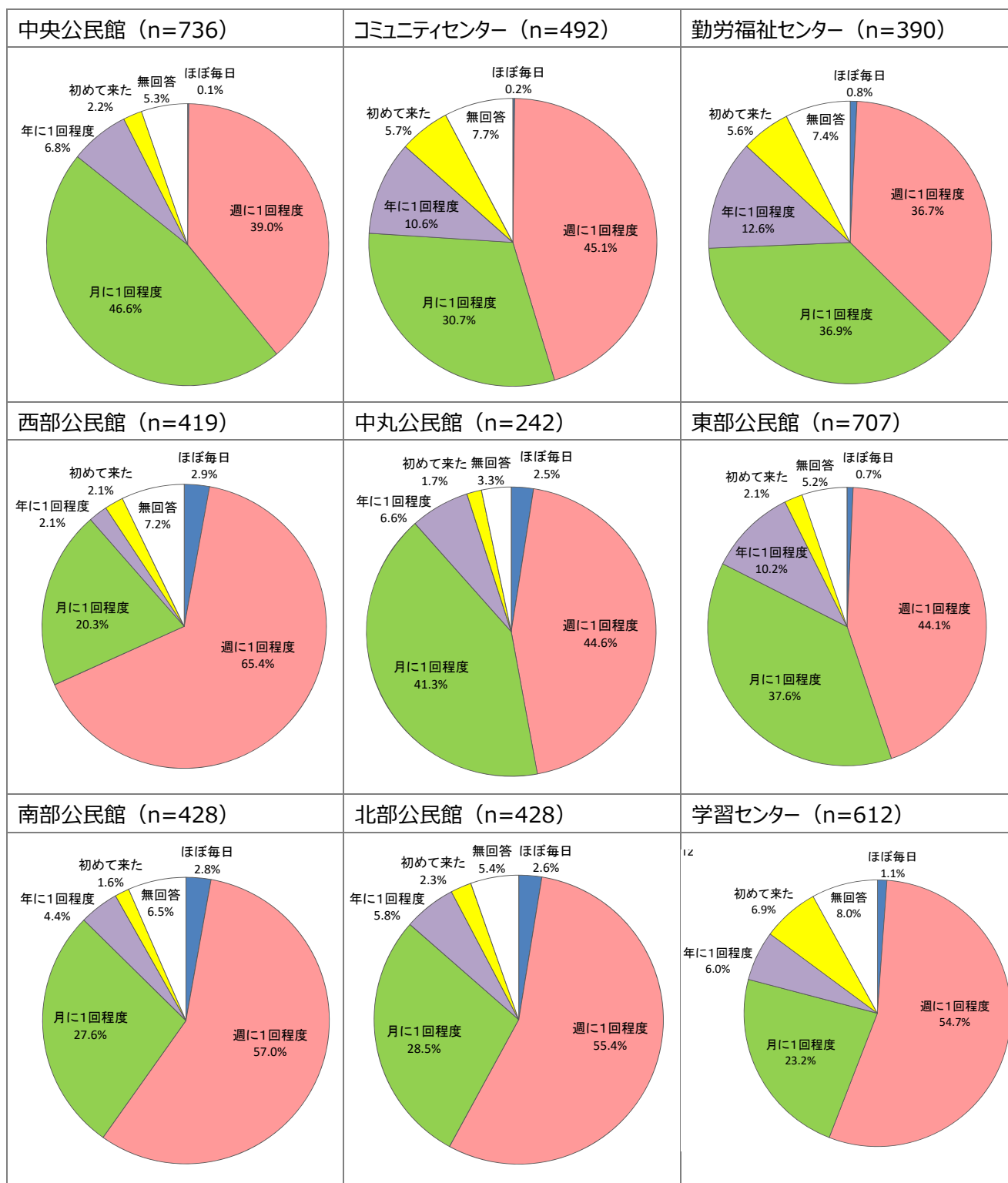


概ね、午前、午後、夜間の順に利用者数が多いが、「勤労福祉センター」では午後の利用者が最も多く、また、夜間の利用がほとんどない。

3. 普段の利用状況について

【問 6】 過去 1 年間の利用頻度

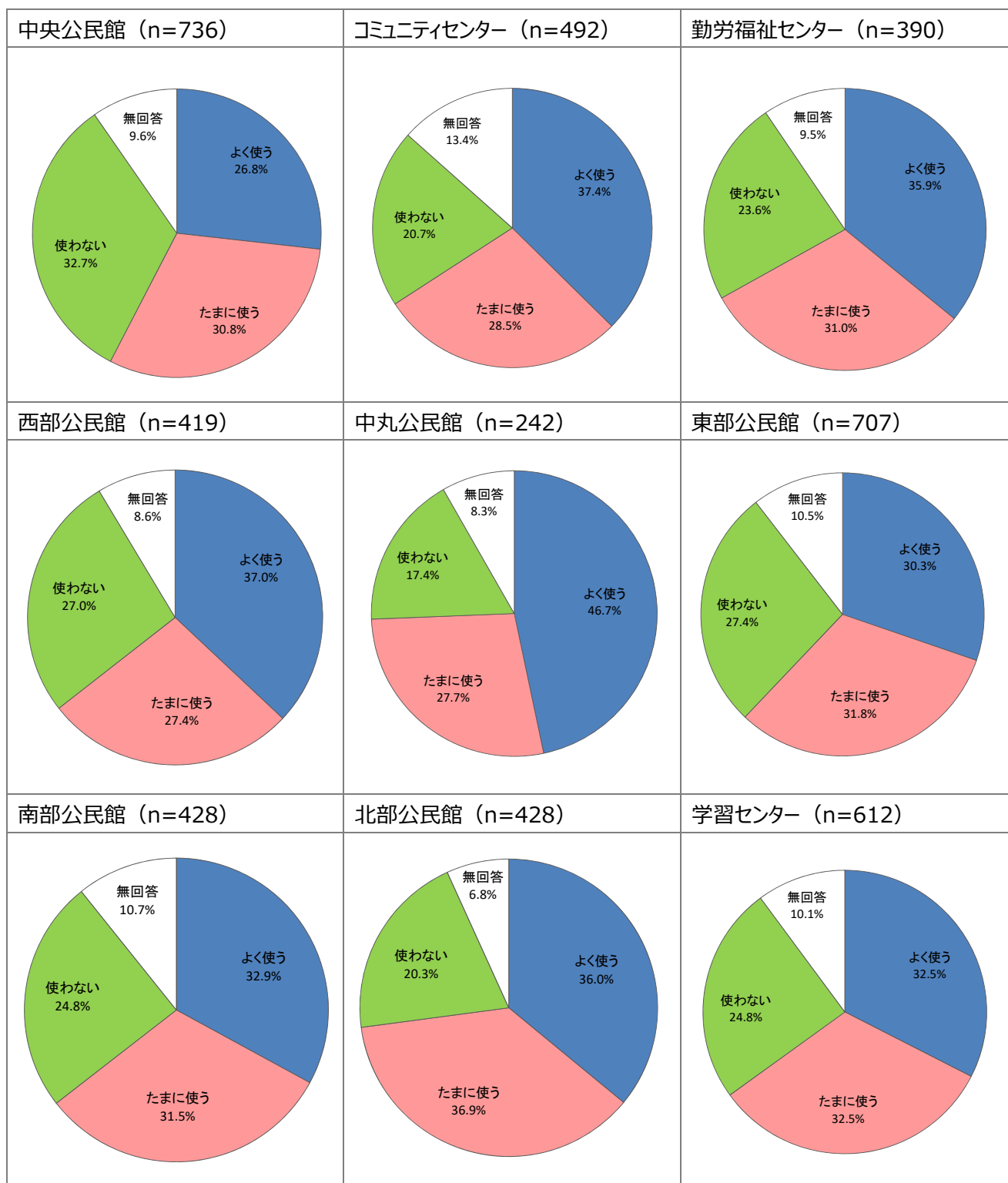
あなたは、過去 1 年間に、この施設をどのくらい利用しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)



週に1回程度と月に1回程度の利用が多く、「中央公民館」「勤労福祉センター」において後者が最も多く、前者はそれ以外に多い。

【問 7】 類似施設の利用有無

あなたは、この施設に類似する他施設をよく利用しますか。あてはまる番号に○をつけてください。
(○は1つ)



いずれの選択肢も一定数の回答が見られるが、「中丸公民館」「コミュニティセンター」においてよく使うという回答が、「中央公民館」において使わないという回答がやや多く見られる。

市民ワークショップ

1 全6回市民ワークショップの概要

1-1 市民ワークショップの概要

目的： これからの公共施設のあり方について、幅広い世代の視点で議論
 応募状況： 10代3人、20代3人、30代3人、40代2人、50代1人、60代11人、

70代4人、80代3人 ※特別参加の北本高校生3人含む

各回テーマと参加人数：

回数	日時	テーマ	参加人数
第1回	12/1（土） 10:00～12:00	意見交換の方法やルールについて	18
第2回	12/15（土） 10:00～12:00	公共施設の現状と課題、今後のあり方について	20
第3回	1/19（土） 10:00～12:00	学校施設のあり方について	18
第4回	2/9（土） 10:00～12:00	公民館のあり方について	23
第5回	3/2（土） 10:00～12:00	全市的な公共施設のあり方について	16
第6回	4/13（土） 10:00～12:00	第1回～第5回のWS結果のまとめ	16

1-2 主な意見

適正配置方針に関わる事項について：

- ・若い世代、将来世代のニーズを念頭に入れた再編を行う。
- ・数値的根拠をもって判断、専門家の意見を聞く、優先順位を決めて行う。
- ・再編検討は、まずはモデルケースを定めて検討を進める。
- ・施設見直しの体制作りが必要。

学校について：

- ・再編を行うべき。
- ・廃校の利活用としては、地域交流拠点、保育・福祉施設、防災施設、民間への貸出を行う。
- ・余裕スペースの利活用としては、上記廃校の利活用方策とともに、放課後の学習施設、音楽室、パソコン室、体育館等の空き時間を利用した市民サービスを提供する。
- ・余裕教室の利活用では、子どもと一般利用者との動線を分けるといった安全面に配慮する。

公民館について：

- ・若い人や働いている人は公民館を使わない、使い方もわからない。
- ・地域コミュニティ活動の場として使われている。
- ・集約化して数を減らす。学校施設との複合化。
- ・社会教育法の枠組ではなく、貸館機能に加え高齢者や子どもの居場所、子育て交流の場、地域交流の場等の機能を検討する。

文化センターについて：

- ・市のシンボリック的存在であるため残す。
- ・図書館は残す。
- ・イベントの魅力化、駐車場の確保、交通の便の改善、利用料金の見直し、民間活力の導入で利便性を高め、利用の向上を図る。
- ・会議室・研修室は地域公民館で代替し縮小、プラネタリウムも見直す。

体育センターについて：

- ・継続維持、西側にも必要。
- ・公民館と類似する機能であるため整理・統合する。
- ・郊外にあり、交通手段の確保を検討する。

野外活動センターについて：

- ・現状維持。
- ・カラオケや経費のかかる風呂は廃止し、野外活動を充実させる。
- ・予約方法や市内の人の優先予約、市内外での利用料金差等を検討し、市民サービスの向上を図る。

健康増進センターについて：

- ・施設全体、特に風呂の機能は維持費が高いため、見直しを検討し、健康増進の取組みは公民館で検討する。
- ・PR不足で、利用者も限られている。

その他：

- ・施設利用料金の適正化、市外利用者の利用料金を上げる。
- ・保育所の集約化を検討。
- ・公共交通手段の確保、駐車場の確保。
- ・どこにどのような施設があるのか、どのような機能でどう使えるのか、といった施設の情報発信が不足。

2 第1回市民ワークショップ

2-1 第1回市民ワークショップの実施状況

実施日、時間	12月1日（土）10：00～12：00
テーマ	意見の交換方法やルールについて
場所	市役所 3階 会議室 3-E、F
参加人数	18人（男性15人、女性3人） 5テーブル構成

<説明>

- ・「北本市の公共施設マネジメントの取組み」として、市の財政状況及び公共施設等総合管理計画について説明
- ・「ワークショップにおける論点」について有識者による説明

<概要>

意見の交換方法やルール等について説明し、自己紹介等を行いました。

2-2 第1回市民ワークショップの結果

第1回市民ワークショップは、予定されていた意見交換の時間が確保できず、グループワークは実施しなかった。しかし、初回のワークショップでもあることから、ワークショップの基本である、「自己紹介」「グループワークの方法、成果発表の方法」について実施した。第2回で第1回分を合わせ実施することとした。



3 第2回市民ワークショップ

3-1 第2回市民ワークショップの実施状況

実施日、時間	12月15日（土）10：00～12：00
テーマ	公共施設の現状と課題、今後のあり方について
場所	市役所 3階 会議室 3-A、B
参加人数	20人（男性16人、女性4人）高校生3人 5テーブル構成

<説明>

- ・「市民アンケート調査結果（抄）」について事務局より説明

<概要>

公共施設と民間施設の違いなどから、重要だと思う「公共施設の役割」について考えて頂き、その上で、ふだん公共施設を利用する機会や、市の公共施設に関して「見直した方が良い」ということ、「今後どうしたらよいか」について意見交換を行いました。



3-2 第2回市民ワークショップのまとめ

全体の意見交換結果—公共施設の役割、問題点・課題

大項目		施設名(機能課題)	意見	班
公共施設の役割 (機能の確認)	災害	全体	避難場所	A
			避難場所	E
			災害時の避難所、倉庫・自治会の拠点	D
	子ども	全体	子どもの遊び場	A
			雨天時の遊び場	A
	学習	全体	文化・教育・学習	A
		公民館	生涯教育の拠点	D
			学習の場(講習会等)	E
		学校	学習、地域の防災、子育て	E
		図書館	学習、読書、調べもの	E
		公民館・図書館	公民館・図書館は市民の教育の場	C
	コミュニティ	全体	地域のコミュニケーション	A
			市民をつなぐ	A
			サークルや勉強会などに参加し、高める場	A
			憩いの場	A
			地域の人々が気持ちよく使う場所	A
			その地域に住んでいる人が多少は便利になる場所	A
		公民館	地域コミュニティの拠点場所	D
			地域自治会の会議等の利用場所	D
			地域住民の集まり場所、話の出来る場所	D
			地域に密着し、役立つ場(学習、つながり、防災、スポーツなど多機能なもの)	E
			集いの場	E
			地域に役立つこと	E
			防災機能の集中	E

大項目		施設名(機能課題)	意見	班
公共施設の役割 (機能の確認)	サークル活動	公民館	サロン活動の充実	D
			家族が「うた声」サークルで利用	D
			好きなサークル活動ができる場所	D
			市民の趣味や健康のための使用場所	D
	健康づくり	体育センター	健康増進活動の拠点	D
			体操も競技もできるスポーツの場	E
	福祉	保育所	子育て支援	E
		福祉・健康センター	福祉・健康(機能を統合する)	E
	生活の手続きをする	市役所	市政全般	A
			市政全般	E
見直し (問題点や課題)	小中学校の見直し	小中学校	きれいな環境にすべき	B
			減少に伴う生徒数	B
			小中学校の児童数の変化によって、学校の複合化を考えるべき	C
			児童・生徒数のバランスが悪い	C
			少子化対策	E
	子ども利用が不安	全般(子どもの利用)	子どもが使っているのかわからない	A
			暗くて怖い	A
			古くて使いたいと思わない	A
			誰もいない	A
			駐車スペースが少ない	A
	災害時に不安	公民館(災害)	災害時における避難所として適切か?	B
	交通の利便性に問題	公民館	駐車場が少ない	C
			移動手段が充実していれば来館しやすい	C
		交通施設	交通施設の整備(バス運行、駐車場所スペース)	D
	知らない、使い方がわからない	全体	存在自体知らない	B
			使い方がわからない	B

大項目		施設名(機能課題)	意見	班
見直し (問題点 や課題)	設備が古い、改善	全般(学習)	老朽化(トイレ等)	A
			wi-fiがない	A
		公民館	設備改修	A
			公民館のトイレがほとんど和式で使いづらい	D
			公民館の老朽化、空調の修理	D
			施設内の用具の充実	D
		体育センター	体育館がエアコンがなくて寒い	C
	図書館の利用改善	図書館(学習、その他)	老若男女に関係なく利用している	D
			分室のあるべき姿	E
	利用効率を上げる、 利用の見直し	図書館(学習、その他)	運営時間の延長	B
			稼働していない施設の見直し	B
			読書、PC、勉強など目的別利用(長時間利用がしていると着席できない)	D
		体育センター	料金が安い	B
		公民館	空いている教室・部屋・スペースがある?	A
			いつ使っているかわからない	A
			公民館の利用者カード発行、印刷などその都度手書きで記入。使いづらい。	D
		保健センター等	利用率が低い機能がある	B
		体育センター	体育館等予約が大変である	C
		多目的ホール	子育てセンターの見直し(利用者が少ない)	D
		議場室	市庁舎の議場室の利用率が低いので工夫が必要ではないか。	D
	利用料金が適正か	公民館	利用時における料金は適切か?	B
		包括センター	家賃が1か所300万円支払っている(80万円くらいなのに) 公共施設に入れば0円になる	C
	施設見直し組織が必要	市役所	タテ割り行政見直し	E
		—	市民レベルでの市税の無駄がないか→北本全体を考える組織機関が必要	C

全体の意見交換結果—公共施設の改善方策、あり方など

大項目		施設名(機能課題)	意見	班
今後の方向 (方策、あり方など)	統廃合	公民館	老朽化施設を改修し長持ちさせる→ゆくゆくは統廃合	D
		小中学校	学区の見直し、統廃合	A
			学区の見直し、統廃合	B
			栄小は、南小に統合できると思う	C
			児童・生徒数のバランスを考えた再編	C
		図書館	維持できないならば廃止	B
	集約化	—	行政系の施設の集約が必要	E
		保育所	栄保育所中央保育所などを入れることができる	C
			小中一貫教育を実施するための再編	C
	複合化	図書館	学校施設との併合	B
		公民館	学校施設との併合	B
			エリア内に公民館 機能別に複合化する	D
			公民館内にコンビニを入れられないか？	D
		保育所	児童だけでなく、幼児の教育の場	C
	民間資金・ノウハウ活用	全体(学習機能)	民間による新設	A
		図書館	民間への委託	B
		公民館	利用率の低い機能は民間へ	B
			物品販売ができるようにする	C
	地域管理へ変換	—	子ども応援団、地域応援団など、ボランティアの力を借りる(歩道橋などが修理できる)	C
	利用料金見直し、財源増	公民館	設備の貸し出し料金の見直し(例:卓球台 AM 100円/台、PM 200円/台、夕方 300円/台)	B
			受益者負担をベースに利用料金を見直して収入アップにつなげる	C
		体育センター	料金を安くする	B
			他地域の利用料金を上げる	C
	利用効率を上げる、利用の見直し	—	今後の高齢化により、孤独老人、超高齢者が増大する→これらの対応策と施設の今後	D
			施設でできることを広げる	A
			空いているスペースを有効に	A
			利用数を上げる	A

大項目		施設名(機能課題)	意見	班
今後の方向 (方策、あり方など)	利用効率を上げる、利用の見直し	公民館	地域の拠り所(集会・会議等で集まれる場所)	C
			地域のコミュニティとして、人々が交わり交流できる場	C
			学校以外で子供たちが安心に集まれる居場所	C
			市民のレクリエーションの場(友達作り、スポーツ)	C
			地元から市内・市外までサークル活動の場所	C
			老人医療費を減らすためにも、公民館活動をやることで元気な老人でいられる	C
			市民全体の健康維持・増進のための役割	C
		学校	時間・曜日指定で、登録制にして空きスペース活用	D
		農業ふれあいセンター	農業ふれあいセンターの機能が不明。施設は教育委員会に関するものと、市に関するものの両方があるが、事業の整理ができてない	E
	周知する	—	機能の周知(LINE等)	B
			HPなどに使っていい日時などを詳しく書いてもらう(ネット予約?)	A
			多くの人に施設を発信する	A
			プリントにして学校と協力し配布してもらい利用を呼び掛ける	A
			何をやるどころか明確にする	A
		公民館他	全市民に訪問させるorできる企画があるといい。知らないことから知ってることへ変化させる	C
		体育センター	体育館をスクール・サークル・広報などでもっと告知する。参加者を募集する	C
	災害に備えた設備などの改善	避難場所	避難場所再考が必要!	E
			ブルーシート・水タンク、テント、フード備蓄などの設備充実	D
	その他、新しい北本の魅力づくり	—	新駅、道の駅、特産品・産業、工業用地の誘致(人口減への対応)	D
		文化遺産	デーノタメ遺跡の早期整備	D
	その他、利用条件の変更	—	利用に対する制約を外す(活用範囲を広げる)	E
			条例の改正等で使いやすくする	E
	その他、施設見直し体制づくり	—	国・県のコミュニティに対する考え方で進められた事業	E
			事務局機能(自治会、社協支部他)	E
			方針を明確に(今後の市全体の進め方・政策の中でどう使っていくかで決まるのでないか)	E
			北本市の公共施設はどのようないきさつで設置されてきたか	E
			その考え方はどうだったのか見直す必要がある	E
			公共施設の配置はどうしてそうなっているのか	E
			市制施行以来、小学校区を単位にコミュニティづくりを進めてきた→この大きな流れの転換と今回のワークショップとの整合性	D

4 第3回市民ワークショップ

4-1 第3回市民ワークショップの実施状況

実施日、時間	1月19日（土）10：00～12：00
テーマ	学校施設のあり方について
場所	文化センター 第3会議室
参加人数	18人（男性14人、女性4人）高校生2人 4テーブル構成

<説明>

- ・「北本市立学校の適正規模等に関する基本方針（案）」について担当課より説明
- ・「児童・生徒数、学級数の推移と将来推計」、「施設利用者アンケート調査結果（抄）」等について事務局より説明

<概要>

学校施設は今後の少子化に伴い、余裕スペースが発生する可能性があるため、余裕スペース（廃校利用、余裕スペース利用）を活かし、地域の公共施設として考えたときの「学校施設の有効な活用方法について」考えて頂き、また、「実施する場合にはどのようなことに留意すべきか」について意見交換を行いました。



4-2 第3回市民ワークショップのまとめ

有効な活用方法①

大分類	小分類	提案	詳細	班名
学校施設を利用(廃校利用)	地域交流拠点	複数機能の集約	機能の具体例は余裕教室利用と同じ?	A
		地域活動センターにする	栄小は人数が少ないので南小に統合して、栄小をセンターに	C・E
		一か所家賃300万円の包括センターを入れる	—	C・E
		公民館にする	—	C・E
	福祉施設	福祉施設の維持	介護施設	B
		福祉施設の維持	健康増進センター	B
		老人施設と幼児施設の複合施設	年配者と幼児の交流	D
		老人施設と幼児施設の複合施設	子どもと高齢者の教育の場	D
	保育施設	中央保育所、栄保育を入れる	—	C・E
	防災施設	防災拠点としてグラウンドを利用	—	C・E
		食料備蓄場所	—	D
	民間利用	スポーツクラブ(会社運営)	—	D
		完全に開放し、個人的に借用したい人に有料で貸し出し	—	C・E
学校の余裕スペースを利用	地域交流拠点	公民館	地域の拠点、多世代の交流拠点	A
		くつろぎスペース	—	A
		地域コミュニティの活性化	公民館との統合	B
		地域コミュニティの活性化	地域文化を継承する場所	B
		学校と一体的な公民館にする	一部を会議・教育・講話ができるような専用の部屋として、賃料を払って利用してもらう	C・E
		学校と一体的な公民館にする	公民館は老朽化が進んでいるため廃止にする	C・E
		公民館の機能	地域住民のサークル・会議の場	D
		公民館の機能	生涯学習の場	D
	福祉施設	老人福祉施設	運営は業者? 民間? 行政?	A
		お年寄りでも使える運動マシーンを置く	高齢者が運動できる施設が必要だから	C・E
		一人暮らし老人に対応した使い方	—	D
		老人クラブに一部開放	子どもと老人の親睦を図る	C・E
	保育施設	保育所	小学校の連携により「小1ショック」の防止	A
		地域コミュニティの活性化	保育所	B

有効な活用方法②

大分類	小分類	提案	詳細	班名
学校の余裕スペースを利用	防災施設	消防団分団小屋(会議スペース)	—	A
		地域コミュニティの活性化	一時的な避難場所	B
		学校と一体的な公民館にする	防災拠点としての役割は残す	C・E
	娯楽施設	演奏スペース?	市内の小中学校全体の軽音・ブラスバンドを作って定期的に演奏	A
		大小ホール	他地域の小中学生との交流や講演会、卒業生の交流	A
		映画館		A
		高齢者の知恵を生かした教室	囲碁、漢字、古典、そろばん、詩吟、空手	A
		音楽個人練習室(スタジオ)	—	A
		コンピューター室	—	A
	スポーツ施設	体育館の夜間利用	—	A
		体育館を地域の運動施設として開放	卓球やバドミントンの団体に貸す(有料)	C・E
	勉強施設	学習室	受験対策用	A
		子どもたちが個別に放課後勉強できる施設	来たい人がいつでも来られ、指導者が数人いてほしい	C・E
		図書室を市民利用型に変更		C・E
	防犯施設	地域コミュニティの活性化	交番(セキュリティ施設)	B
		地域コミュニティの活性化	交通安全、見守り施設	B
		日常的な学校生活での見守り	子どもたちとの触れ合いの場	D
	行政施設	更生サポートセンター	法務省より指針が出されている	C・E
		不登校・ひきこもりサポートセンター	—	C・E
	民間利用	学習塾(民間)	—	A
		企業の事務所として貸し出す	—	C・E
		お金を生む有効利用	地域の特性を生かして、トマトの水場栽培	D
	その他	地域コミュニティの活性化	気象観測所	B
		給食棟を一般市民も利用できる食事支給施設に	—	C・E
施設跡地に新設	娯楽施設	運動場・公園の整備	小学校のスペースを減らして新設	A

どのようなことに留意すべきか

小分類	対策	班名
機能面	小中一貫校にして6～8校に集約	C・E
	市組織の見直しも(市役所機能の分散など)	C・E
アクセス面	利用者が来やすいか	B
	学校の統廃合と一緒にスクールバスを考える	C・E
	駅、公共バスの利便性	A
	シャトルバスの運行	D
管理面	誰が管理を行うか？(委託or地域)	D
	市に依存しない管理方法を	D
	費用・運営費がいる 民間に委託？適した民間があるかどうか	A
	スペースは有料で、地域の人々が当番で管理する	C・E
安全面	通学時の安全性	B
	安全・セキュリティー →セキュリティーカード導入	A
	児童の安全(セキュリティー)	B
	防犯対策	B
	避難所	B
	公共施設を入れる場合は、棟ごとに分けたほうがいい(小学校を高層階にもっていかない)	C・E
	子どもの安全確保のため、子供エリアと他のエリアは完全分離	C・E
	セキュリティーの問題上、学校と他の施設は同じ建物ではなく別棟がいいのでは	D
	許可証、入退出ノート、プレート	D
設備面	バリアフリー	A
	wi-fi	A
情報面	空きスペースが利用可能かどうかの情報提供	D
その他	スカイプを使った全校一斉授業	A
	ルールを整備する	B

5 第4回市民ワークショップ

5-1 第4回市民ワークショップの実施状況

実施日、時間	2月9日（土）10：00～12：00
テーマ	公民館について
場所	文化センター 第3会議室
参加人数	18人（男性14人、女性4人）高校生2人 4テーブル構成

<説明>

- ・「コミュニティの活動の現状について」担当課より説明
- ・「公民館等で実施している事業及び公民館等の稼働状況」について担当課より説明

<概要>

学校とともに、地域の拠点施設の1つである公民館について、役割や実態を踏まえて、「今後の公民館にどのようなものを求めるか」、「今後の公民館をどのようにしていったらよいか」について意見交換を行いました。



5-2 第4回市民ワークショップのまとめ

公民館にどのようなことを求めるか

機能・役割などへ要望	意見など	斑名
アクセス条件	アクセスが悪い	A
	現状は自転車移動 公民館と交通手段の位置関係がわからない	C・D
運営や管理の方法	維持費が高い	A
	市の運営に不満や文句が出ている	A
	周知が足りない	C・D
	部屋の借用料が高すぎる(鴻巣は100円/hです)	C・D
	コミュニティの行事と社協での行事がダブるときあり	C・D
	放課後の子どもの居場所がない、担当は何課？こども課か生涯学習課か 地域住民の理解を得るには？	C・D
	消防団地区割問題(6団体)	E
	ゴミ機能	E
コミュニティ機能の向上	自治会連合会やコミュニティ協議会 自治会役員が固定されているのはなぜ！？	E
施設や設備の改善	趣味やサークルで使用しているが、駐車場が狭い	C・D
	体育館の照明をLED等に変更したらどうか	C・D
市民交流の場所	年寄り・子供は使うが中間層が使わない 中間層が何も求めない	B
	コミュニティ活動	B
地域別課題の改善	課題が地域によってばらばらで差があったり、同じ問題でもやり方に差がある	E

機能・役割などへ要望	意見など	班名
使い方の改善	使い方のイメージがつかない	A
	飲食も音もダメ	A
	利用率が低い	A
	生涯学習	B
	登下校の見守りの人の待機場所	C・D
	キタガク—参加者が多く、高齢者が若々しくいるための役に立っている	C・D
	軽食をとれる場所がない	C・D
	部屋の稼働率向上	E
	生涯学習機能—基本はできているが、以下に参加率をアップするか(キタガク)	E
	(講座)事業内容	E
	社協機能	E
	高齢化問題に対応した使い方	E
	防犯パトロール	E

今後どのようにしていったらよいか

対策・提案	意見など	実施時期 や手法	班名
施設の集約	自治会館の集約	短期	A
	数を減らして適正化		A
	建物	長期	A
	管理、コミュニティ		A
	行政が公民館コミュニティ全体を統一化する方向で方針を立てたほうがいい		C・D
施設の複合化	学校との連携	長期	B
施設の用途変更	倉庫・駐車場としての利用		B
新機能を付加し サービス向上	持ち込みOKのなんでも可能なスペース	長期	A
	図書館を建ててみんなで集える		A
	喫茶店		A
	市内の外国人との交流会		A
	地域のものを販売する。安く買えるし利益も生む		A
	出張美容室でお年寄りに近場でサービスを提供する		A
	野良ペット(猫)の出張去勢手術の場所		A
	法人単位でも利用OK!		A
	高齢者・子育てに今より重点を置くべきである。そのための対策を公民館に求める		C・D
新しい整備の方向	子どもが利用できる場(キッズコーナー)があれば良い		C・D
	子育て中の人の過ごせる場、常時行ける部屋を設置		C・D
	放課後の子どもの居場所として小中高 (例)バスケットコートを設置		C・D
	えつらんができるように図書館設置。無理なら図書コーナーから始める		C・D
	高齢者が歩いたり運動できる施設・公園を各地域に整備する		C・D
イベントの充実	自然豊かな北本を知るため、それぞれの地域見学会を持つ(南部デーノタメを知らない人がいる)		C・D

対策・提案	意見など	実施時期 や手法	班名
機能の統合	養護老人ホームや保育園と併設・統合する	ハード	E
交通手段の改善	公民館とバス停の位置関係を把握する		C・D
	コミュニティで公民館等にバスが止まるようにできるか？(バス停を作れるか)		C・D
コミュニティの意識を変えていく	様々な人がかかわりを持つべき	ソフト	E
新機能を付加しサービス向上	地域全体の活動センターとしての役目を持つようにする		C・D
	新しい講義(ロボット・プログラミング)ー若い人たちが参加するだろう	ソフト	E
利用方法の改善	いろいろな教室をもっと多くする		C・D
	幼児が学べる場があれば良い		C・D
	母親が学べる場があれば良い		C・D
	少子化対策、人口減対策として地域塾(勉強を教える)を持つ。空き教室・公民館を使い、地域塾を作り地域の人材を活用していく		C・D
	教室で仲間になり、後ほどサークルに入れるような仕組みをつくる		C・D
	学校の調理室を利用して準備することから始める		C・D
	小さな修理は公民館支援ボランティアを募り、実費だけでできるようにする		C・D
	児童指導員による遊び・学習指導を行う		C・D
	市の窓口機能		B
	夜間利用の廃止	短期	B
	現地に行かず、役所等またはネットにて予約をとれるようにし、利用状況もネットからわかるとよい		C・D
	空き部屋の利用時間がもっと自由になると良い		C・D
	社協がもっと多くの役割を担ってもらいたい		C・D
	地域学習のセンターとしての役割を続ける		C・D

対策・提案	意見など	実施時期 や手法	班名
利用方法の改善	緩和方向へ	短期	A
	休日や夜など子どもや通勤者でも利用できる時間を優先する		A
防災機能改善	物資の管理		B
	各自主防災組織との連携		B
利用者意見の吸収 する仕組みづくり	利用団体単位ではなく、様々なひとたちが混合する場を作る	短期	A
	市民の求めることを吸い上げるスペース		A
	意見交換会を開く		A
利用料金の値上げ	利用料金の値上げ		B

6 第5回市民ワークショップ

6-1 第5回市民ワークショップの実施状況

実施日、時間	3月2日（土）10：00～12：00
テーマ	全市的施設のあり方について
場所	文化センター3階 第3会議室
参加人数	16人（男性13人、女性3人） 3テーブル構成

<概要>

文化センター、体育センター、野外活動センター、健康増進センターについて、「建物」「機能」「運営」の側面から、各施設について今後どのようにしていくかについて、意見交換を行いました。



6-2 第5回市民ワークショップのまとめ

各施設について今後どのようにしていくか

【文化センター】

	項目	意見	班
建物	改修・建替	席を増やす	A・B
		音響設備を充実させる(有名アーティストを呼ぶ)	A・B
	多様なニーズに応える	築相当経年しているので、全体的に老朽化進行	D
		近年の1Fトイレ改装は好評	D

	項目	意見	班
機能	ホール	市内外からも来てもらえるコンサート等	A・B
		ホールは市のシンボルとして残す	A・B
		利用率を上げて改修費をペイできるようにする	A・B
		専門的な講演会(市民が興味のある内容)を増やす	A・B
		体験型イベントを開く	A・B
	会議室	会議室・研修室の見直し(縮小傾向)	A・B
		公民館とかで代替	A・B
	図書館	大人用図書館、児童用図書館との分離	D
		図書館は残す	A・B
	駐車場	駐車スペース少ない	D
		イベント使用者は駐車スペースを提供する	D
		交通の便の改善	D
	その他施設	費用削減のため広域連携で廃止(プラネタリウム)	A・B
		1Fロビーをもう少し居心地のいい空間となるように考える	D
	ネーミング	市民に分かりやすいネーミングに変更	D
		一施設に文化センター、公民館、図書館でどれがどれだかわからない	D
		中央公民館と文化センターの一本化(予算削減)	D
	機能改善	パネル設置が大変。壁面利用できないか	D
		荷物搬入に荷物用エレベーターがあると良い	D
		3階第1・2のスクリーンを固定式からスライド式へ	D
		朝市に使用できないか	D

運 営	項目	意見	班
	ホール	利用率上げる	A・B
		ホールが空いているのになぜロビーでやって満員、入場できないのか	A・B
		料金を下げる(収入に影響少)	A・B
		市内外も含め料金を見直し、上げる	A・B
		市内のほかの施設の利用率を上げるような事業	A・B
		鳥の講演会	A・B
		イベント時に北本市内のお店の利用	A・B
	会議室	小分けにして(パーティション等)使いやすく、効率化	A・B
		会議室等利用の少ない時間帯の値下げ	D
	その他施設	民間活力の導入	A・B
		利用範囲を広げる	A・B
	利用の向上	興業の魅力化(他市県施設の状況を参考にする)	D
	運営の見直し	開館時間 準備の時間がない	D
		会議の利用時間早められないか(8時45分→8時)	D
		利用料金を市内と市外で変える	D
		少年少女合唱団(週に1回利用)が会場利用料に行き詰っている→練習利用は無償にできないか	D

【野外活動センター】

	項目	意見	班
建物	残す・改善する	ホールを改善する	A・B
		現状維持	C・E
		存続してほしい。アウトドアの経験ができる	C・E
		多目的広場をキャンプ場(炊事場)に拡張する	A・B
		駐車場を増やす	A・B
		駐車場を広くする	C・E

	施設名	意見	班
機能	ホール	野活で本物の星を見る(プラネタリウムで見るより良い)	A・B
	BBQ広場	利用状況は現状でも良い(予約できないほど)	A・B
		ドームができて雨の日でも使用できる	A・B
		複数グループ対応可能	C・E
	多目的広場	グランドゴルフができる	A・B
		用途がよくわからない	C・E
	カラオケ	廃止	A・B
		一部の人に限られている	A・B
		楽しい	C・E
	宿泊	学生たちの語学交流の場とする	A・B
		ラグビーワールドカップにおける外国人宿泊所	A・B
		雨天でも利用できる	C・E
		新設してもよい	C・E
	お風呂	ボイラーを廃止し、薪で湯を沸かす	A・B
	防災	河川の水を活用して炊事できる	A・B
	円形大屋根	使いやすい	C・E
	その他	市外からの利用が多くないか	C・E
		夜に星を見ることができる	C・E
		多様なレクリエーションができる	C・E
		野外活動業務に統一(キャンプ場、ゲートボール、グランドゴルフ等)	C・E

運 営	項目	意見	班
	周知活動	若い人が運営しており、facebookを毎日更新するなど情報発信は非常に良い！	A・B
		利用できる内容がわからない	C・E
		PRが足りていない	C・E
	利用方法	予約方法の改善（並ばなくてもよいように）	A・B
		市内→3か月、市外→2か月など、市内の予約を優先する	A・B
		市外の料金を割高にする	A・B
		500円/区画や、7000円/バンガローなど、安すぎるので料金を値上げしても良い	A・B
		ホールの料金を低くするべき	A・B
		市内・市外の利用者を把握しているか？市外は高くても良いのでは	C・E
	新しい使い方・イベント	芝生広場でコンサートなどの企画	A・B
		前の広場でイベントを開催する	C・E
		グラウンド等を整備し、他地域の人たちのスポーツ利用を図る	C・E
		季節別アウトドアのイベントを開く	C・E
		ウォーキングの休憩所	C・E
		ターザンロープ	C・E
		高尾の史跡コーナーを作る	C・E
	施設の機能	河川公園との連携拡大	A・B
		風呂、カラオケの設備を健康増進センターに統一し、野外活動を充実させる	C・E
		若者、家族連れの利用のものと宴会者の利用のものを分ける必要はないか	C・E
		アウトドア初心者への指導・教育が欲しい	C・E
		職員の対応がいまひとつ	C・E
		シルバーの仕事の中に、バーベキューの後片付けなどを入れられないか	C・E
		バーベキューの料金を後片付け代込みにする	C・E
	交通	バスがないので、交通の便を確保	A・B
		交通手段を作る	C・E
		バスの頻度アップ	C・E

【体育センター】

	項目	意見	班
建物	残す・活用する・増やす	更新必要(現状以外のスポーツができる、使用を考えて更新する)	C・E
		駅の東側だけでなく、西側にも必要(特に高齢者向け、栄小ほか)	C・E
		継続使用できるようにしたい	C・E
		トイレを改修しているが、体育靴で利用できるように	C・E
		修理して長寿命化する	C・E
		前庭の有効活用を考える	C・E
		場所が市の中心地でなく使いづらい	C・E
		現状のままでいい	C・E
		プールを作ってほしい	C・E
機能	体育館	公式競技の場	C・E
		競技者の体力アップ	C・E
		サークル活動で各種スポーツに利用	C・E
		スポーツサークルの練習の機会が保障されている。小学校体育館も利用したい	C・E
		多くの市民が運動していて、よく利用されている	C・E
		小学生向けのサッカー教室、バスケ教室をもっと多く	C・E
		小フロアはバレーボール、バトミントン	C・E
		住民の体育の振興を図るが、各競技に必要なスペースと道具がそろっていない	C・E
		卓球の道具が老朽化している	C・E
		市内最大フロアなので大会対応可能	C・E
		各種イベントに使用(スポーツ以外の催し物)	C・E
		アリーナは大きな団体でないと使えない。ファンクラブなどは高くていいと思う	C・E
		ニュースポーツ講習会実施	C・E
		広範な種目の競技ができる	C・E
		市として、このスポーツを育成し有名な選手を生み出す方策が見えない	C・E
		各競技、本当の初心者ができる環境でない	C・E
	トレーニング室	体力増進	C・E
	高齢者	自動の機械はつえをつく老人には危ない	C・E
		老人用のジムが必要だと思う	C・E
	指導者	各競技にトレーナーが十分でない	C・E
		優秀な指導者から直接指導を受けられるようにする	C・E
		卓球教室では4回/月で2080円と指導料が高い	C・E

運営	項目	意見	班
	周知活動	ホームページで確認できるようにする(利用度、申し込み、イベント)	C・E
		体育センターで利用可能なスポーツイベントの情報発信	C・E
		公民館などの公共施設の受付	C・E
		ホームページ、広報	C・E
		回覧板を利用	C・E
		経験者をPRに活用する(安価にできそう)	C・E
	新しい使い方・イベント	スポーツ以外でも広い施設をほかの開催ができるようにしてもらいたい	C・E
		B級グルメ大会、ゆるキャラ大会、おやじバンド大会	C・E
		スポーツの指導教室を開く	C・E
		各年代ごとのスポーツ大会を開く	C・E
		ママさんの活動に子どもの遊び場を併設する	C・E
	利用方法	利用時間の区分を細かくする(1回2～3時間程度)	C・E
		朝9時から始まるが、ジムはもっと早く7時くらいから利用できないか	C・E
		有料利用が定着している	C・E
		予約システム(市内・市外の区分登録)	C・E
		市外の人も同じ料金は、変えたほうがいい	C・E
	施設の機能	各種施設と類似する公民館事業を整理・統合	C・E
		指定管理になっているが、ジムなどはよくみしてくれる。事務室の4～5人は必要か	C・E
		職員がとっつきにくい	C・E
		駐車場が満杯の時がある。隣のテニスの人たちが使っている。指示する人が必要	C・E
		中学校の部活で使っている。学校内でやるべきでないか	C・E
		定期的に見直し、入れ替えを行う	C・E
	その他	何かの競技に決め、方向性を明確にし指導する	C・E
		初心者教育をできる人材を活用する	C・E
		足の確保、公共交通システムの乗り入れ頻度アップ	C・E

【健康増進センター】

	項目	意見	班
建物	全体的に不要	利用者が一部に限定されている	D
		ゲートボール場の利用が少ない	D
		お風呂は高い修繕費を出して直す必要がない	D

	施設名		班
機能	多目的広場	有効利用	D
		静かな空間づくり(広場の一部改修)	D
	カラオケ	固定客のみ	D
	ゲートボール場	使われていない。ゲートボール→グランドゴルフへの転用	D
	その他	高齢化、孤独老人の増加の手助けになるような改善	D
		健康増進を目的とするなら東、西にある公民館を活用してはどうか	D
		イートインコーナーがない	D

	項目		班
運営	利用向上	市民のニーズをリサーチする	D
		利用時間の見直し(7～20時)	D
		利用時間が短い(お風呂は15時までとなっている)	D
		60歳以上と以下で料金が違うが、同一料金でいいのでは？	D
		健ちゃんバスとの連携・利用層拡大を図る(対高齢化)	D
	利用料金見直し	シルバー人材利用料金はいくらか？増額検討	D
		風呂料金アップ(65歳～:100円、一般市内:200円、一般市外:500円)	D
		受益者負担率を上げる(公平とは？)	D
	PR	健康増進の取組をやって広く周知する	D
		施設の内容やどのようなことをやっているか知らせる	D
	民間ノウハウ	施設内部の多様化	D
		温泉(源泉)を掘って天然温泉施設で再出発	D
		源泉販売も一案、車リースも有料化	D
		夢庵ノウハウを導入して運営改善	D
	利用上の改善	スリッパになるのが不便	D
		風呂や広間カラオケは利用客が固定されていて新規は難しい	D
		利用者へのルールとマナーの徹底化	D
		カラオケ廃止	D

7 第6回市民ワークショップ

7-1 第6回市民ワークショップの実施状況

実施日、時間	4月20日（土）10：00～12：00
テーマ	第1回～第5回のWS結果のまとめ
場所	文化センター3階 第3会議室
参加人数	16人（男性13人、女性3人） 3テーブル構成

<概要>

第1回から第5回までの内容を振り返り、市の公共施設のこれからのあり方について、意見交換を行いました。





公共施設利用状況調査

調査の概要

(1) 目的

公民館等を対象とし、利用状況や稼働状況を把握し、基礎資料の一つとするために実施した。

(2) 調査対象

中央公民館、南部公民館、東部公民館、西部公民館、北部公民館、学習センター、勤労福祉センター、コミュニティセンターを対象として実施した。

(3) 調査方法

平成29年度の公共施設予約システムのデータから、利用状況と稼働状況を抽出した。

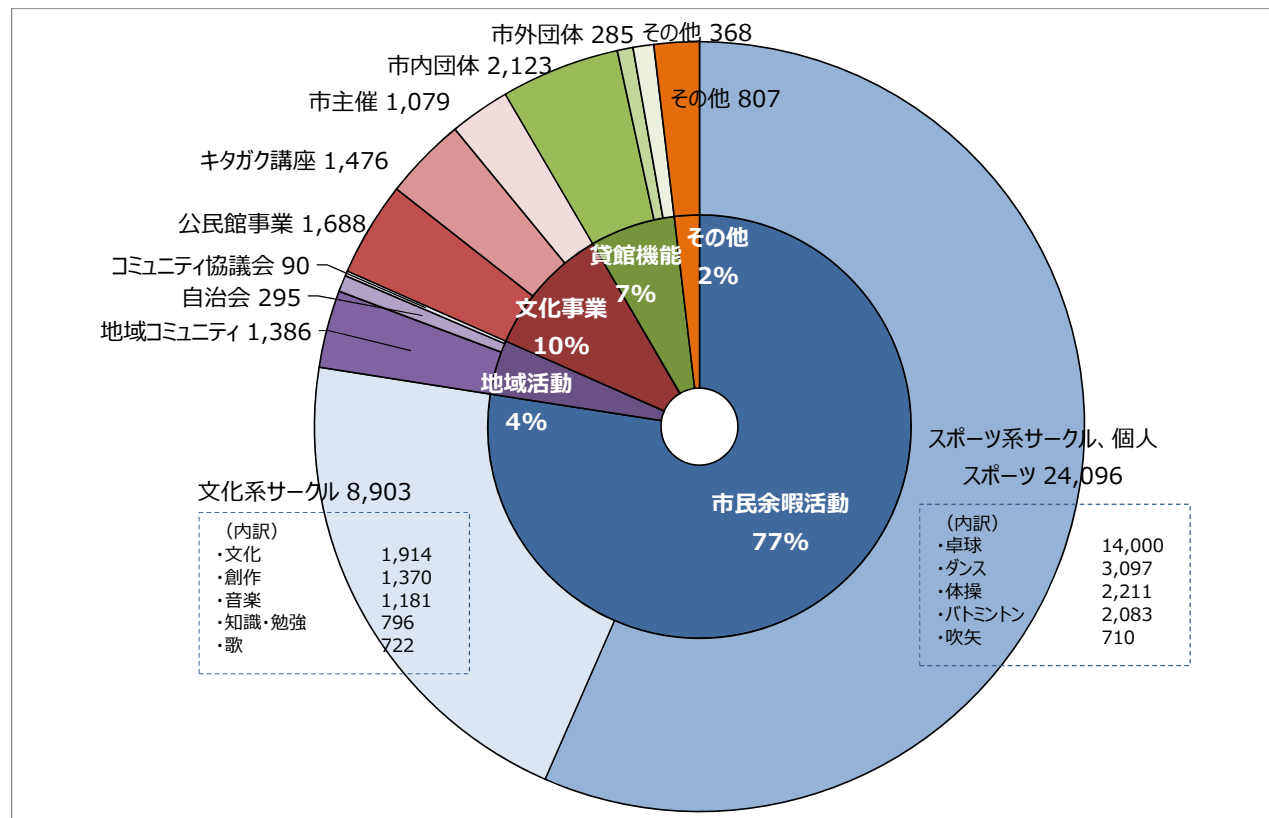
1. 平成29年度の利用団体数

市民余暇活動		994
スポーツ系サークル		514
文化系サークル		480
地域活動		64
地域コミュニティ		8
自治会		55
コミュニティ協議会		1
文化事業		28
公民館事業		10
キタガク講座		1
市主催		17
貸館機能		397
市内団体		271
市外団体		51
学校		8
企業		46
市外学校		13
保育園・幼稚園		8
その他		38
市利用		26
公民館利用		6
その他		6
合計		1521

2. 公民館等（9館）の全体の団体別利用状況

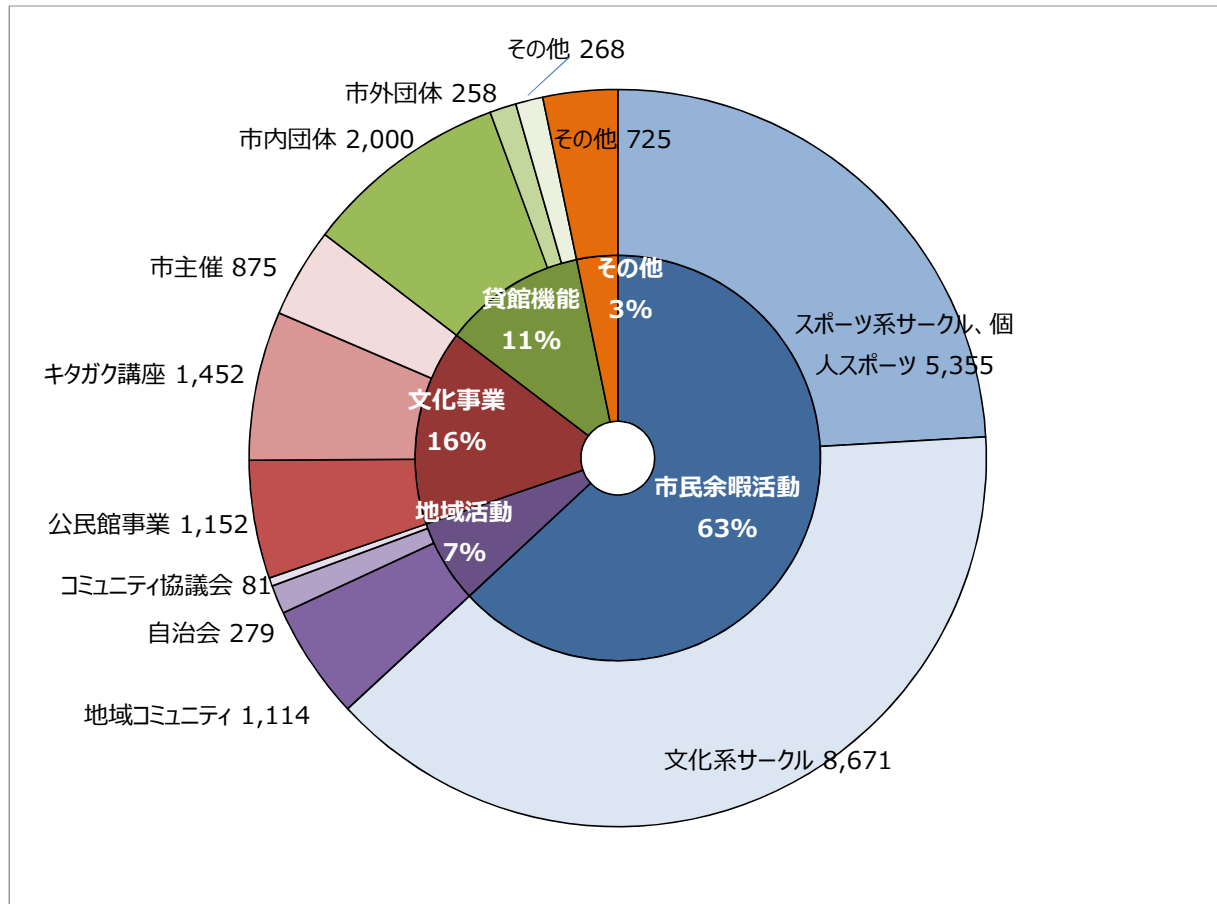
全体

全体



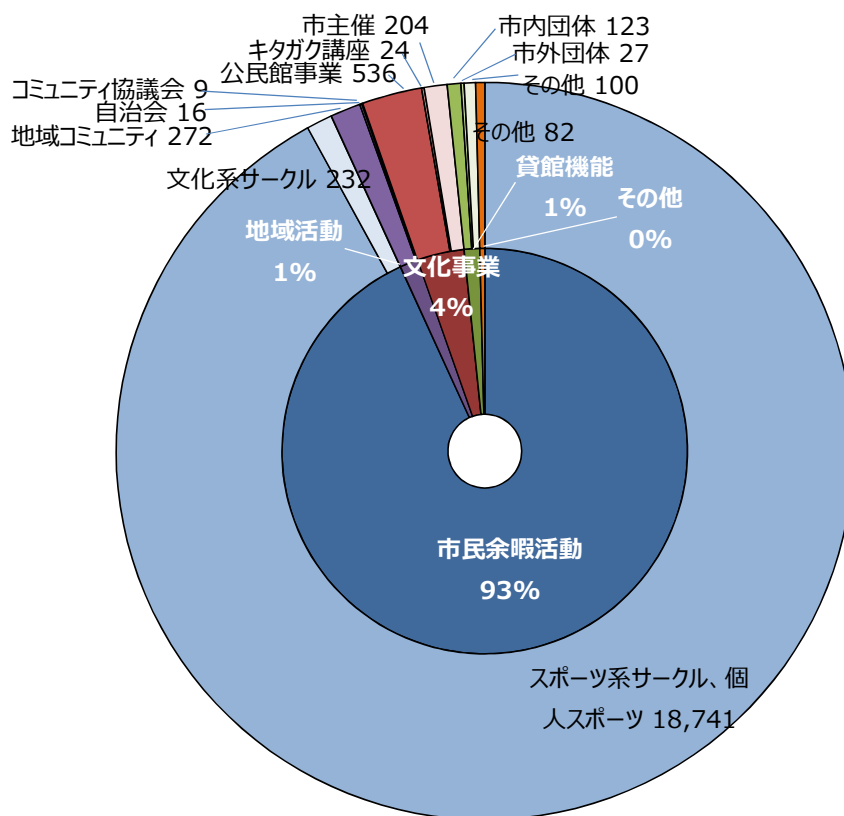
市民余暇活動	32999
スポーツ系サークル、個人スポーツ	24096
卓球	14000
ダンス	3097
体操	2211
バドミントン	2083
吹矢	710
その他	1995
文化系サークル	8903
文化	1914
創作	1370
音楽	1181
知識・勉強	796
歌	722
陶芸	621
調理	436
P.C・スマホ	352
書道	346
囲碁・将棋	286
その他	879
地域活動	1771
地域コミュニティ	1386
地域イベント	596
北本まつり	333
会議	217
ミニテニス等	65
囲碁・将棋	51
その他	124
自治会	295
会議	220
集会	31
展示会	18
コミュニティ	12
文化	6
その他	8
コミュニティ協議会	90
会議	77
地域イベント	13

文化事業	4243
公民館事業	1688
コミュニティ	285
卓球	276
演劇	237
知識・勉強	205
展示会	152
その他	533
キタガク講座	1476
体操	381
文化	279
音楽	173
創作	117
歌	99
その他	427
市主催	1079
高齢介護	252
保健	146
式典	87
文化祭	85
文化	77
その他	432
貸館機能	2776
市内団体	2123
会議	1099
地域福祉	208
講習・研修	105
大会	82
展示会	75
その他	554
市外団体	285
学校	192
企業	119
市外学校	37
保育園・幼稚園	20
その他	807
市利用	710
公民館利用	62
その他	35
総計	42596



市民余暇活動	14026
スポーツ系サークル、個人スポーツ	5355
ダンス	2153
体操	1681
ヨガ等	645
吹矢	645
会議	147
その他	84
文化系サークル	8671
文化	1862
創作	1370
音楽	1077
知識・勉強	795
歌	708
陶芸	621
調理	436
PC・スマホ	352
書道	346
囲碁・将棋	286
その他	818
地域活動	1474
地域コミュニティ	1114
地域イベント	466
北本まつり	322
会議	201
囲碁・将棋	51
調理	21
その他	53
自治会	279
会議	211
集会	29
展示会	18
コミュニティ	8
文化	6
その他	7
コミュニティ協議会	81
会議	74
地域イベント	7

文化事業	3479
公民館事業	1152
コミュニティ	269
演劇	201
知識・勉強	198
展示会	113
創作	81
その他	290
キタガク講座	1452
体操	375
文化	279
音楽	173
創作	117
知識・勉強	93
その他	415
市主催	875
高齢介護	232
保健	113
文化	77
式典	68
文化祭	67
その他	318
貸館機能	2526
市内団体	2000
会議	1078
地域福祉	184
講習・研修	104
展示会	75
大会	68
その他	491
市外団体	258
学校	138
企業	109
市外学校	9
保育園・幼稚園	12
その他	725
市利用	631
公民館利用	61
その他	33
総計	22230



市民余暇活動	18973
スポーツ系サークル、個人スポーツ	18741
卓球	13999
バドミントン	2080
ダンス	944
体操	530
ソフトバレー	414
その他	774
文化系サークル	232
音楽	104
文化	52
展示会	29
発表会	19
歌	14
会議	4
大会	4
講演会	3
集会	1
知識・勉強	1
その他	1
地域活動	297
地域コミュニティ	272
地域イベント	130
ミニテニス等	65
体操	24
会議	16
北本まつり	11
その他	26
自治会	16
会議	9
コミュニティ	4
集会	2
地域防犯	1
ダンス	0
その他	0
コミュニティ協議会	9
地域イベント	6
会議	3

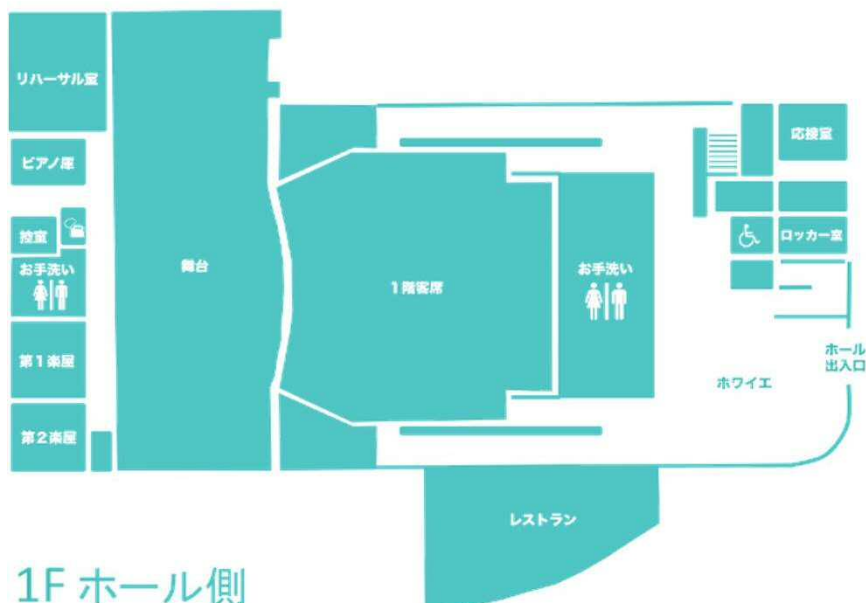
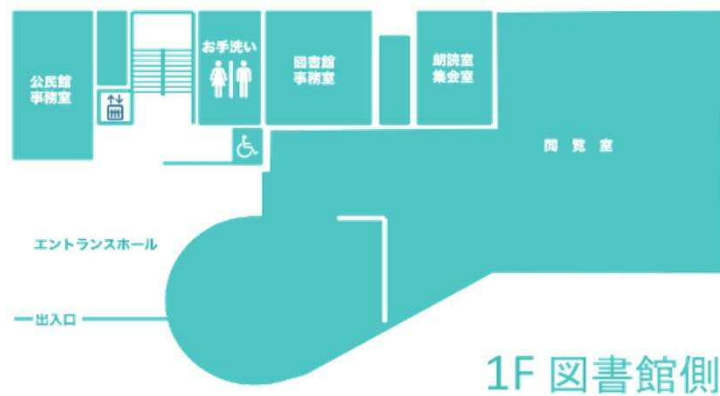
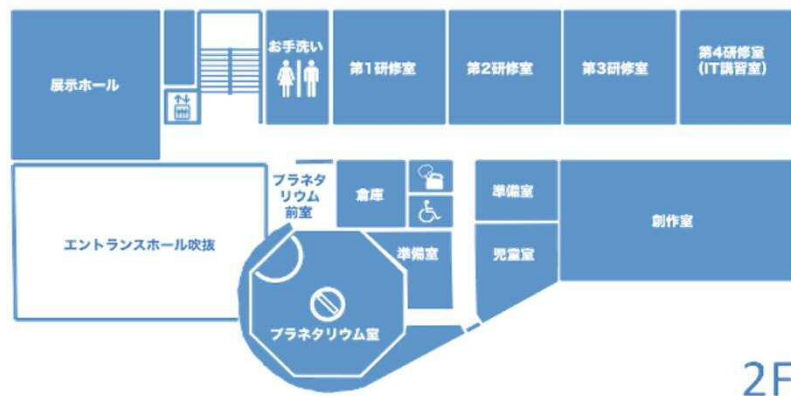
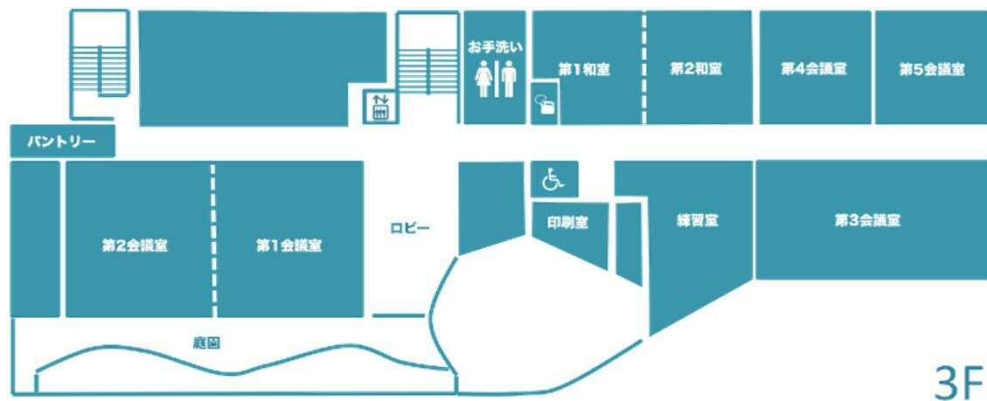
文化事業	764
公民館事業	536
卓球	276
コンサート	62
サマーフェスタ	48
展示会	39
演劇	36
その他	75
キタガク講座	24
歌	13
体操	6
式典	3
健康	1
ヨガ等	0
その他	1
市主催	204
子育て	35
保健	33
発表会	21
高齢介護	20
式典	19
その他	76
貸館機能	250
市内団体	123
地域福祉	24
発表会	22
会議	21
大会	14
講演会	11
その他	31
市外団体	27
学校	54
企業	10
市外学校	28
保育園・幼稚園	8
その他	82
市利用	79
公民館利用	1
その他	2
総計	20366

3. 公民館等（9館）の各館の室別稼働状況及び団体別利用状況

■文化センター

本町西高尾地域

館内図

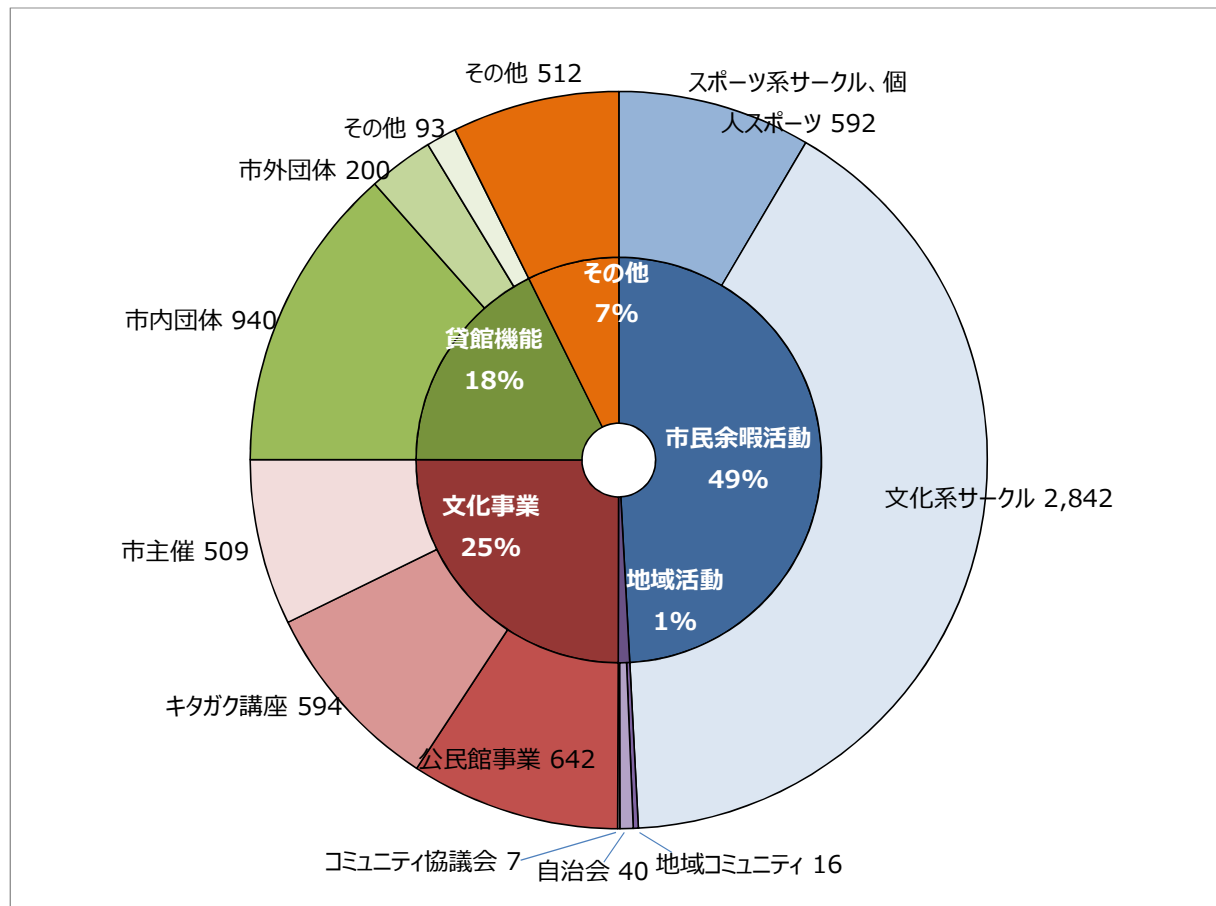


稼働率

	平日(月～金)			休日(土・日)			合計
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
ホール	53%	43%	55%	82%	79%	70%	58%
創作室	20%	29%	4%	38%	24%	6%	19%
第1会議室	38%	46%	28%	69%	67%	30%	43%
第2会議室	39%	47%	28%	67%	68%	30%	43%
第3会議室	63%	54%	39%	68%	76%	39%	55%
第4会議室	70%	45%	33%	65%	62%	15%	49%
第5会議室	61%	55%	44%	67%	73%	23%	54%
第1研修室	90%	71%	70%	91%	74%	48%	75%
第2研修室	82%	51%	50%	83%	74%	33%	62%
第3研修室	82%	39%	29%	95%	25%	13%	48%
第4研修室(IT講習室)	49%	31%	2%	31%	40%	9%	27%
展示ホール	61%	54%	53%	83%	69%	68%	61%
練習室	81%	78%	79%	85%	82%	60%	78%
和室	81%	62%	44%	73%	71%	25%	61%
平 均	62%	50%	40%	71%	63%	34%	52%

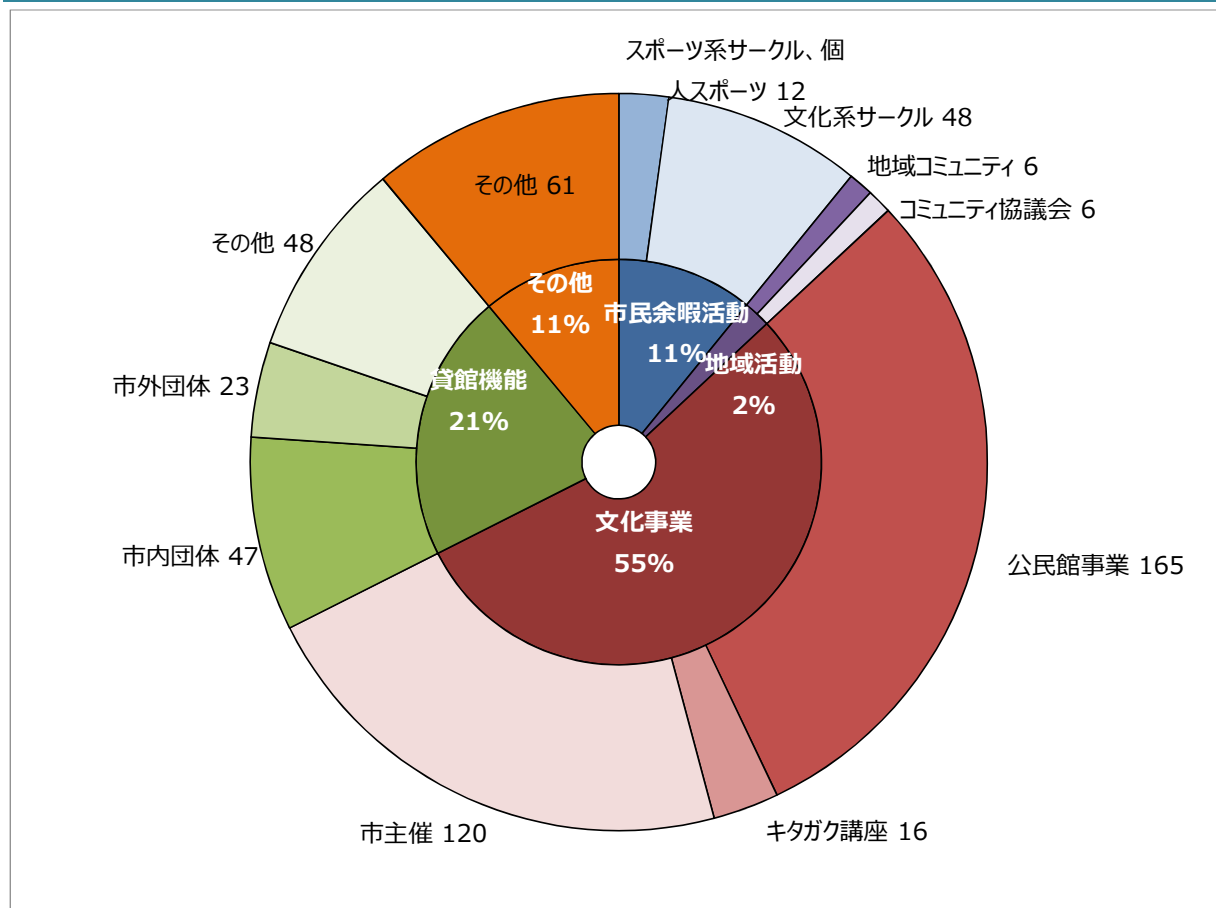
	平日(月～金)			休日(土・日)			合計
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
陶芸窯室	47%	27%	27%	49%	28%	26%	34%

休日の午前、午後を中心に稼働率が高い。創作室、第4研修室(IT講習室)の稼働率が低い。



市民余暇活動	3434
スポーツ系サークル、個人スポーツ	592
体操	215
ヨガ等	197
吹矢	99
会議	54
ダンス	16
その他	11
文化系サークル	2842
知識・勉強	557
陶芸	451
創作	415
歌	296
文化	258
展示会	211
P C・スマホ	205
音楽	163
ゲーム	84
会議	50
その他	152
地域活動	63
地域コミュニティ	16
地域イベント	16
会議	0
北本まつり	0
大会	0
放映	0
その他	0
自治会	40
会議	22
展示会	18
集会	0
ダンス	0
コミュニティ	0
その他	0
コミュニティ協議会	7
地域イベント	7
会議	0

文化事業	1745
公民館事業	642
演劇	201
知識・勉強	196
展示会	113
創作	49
P C・スマホ	38
その他	45
キタガク講座	594
体操	120
文化	111
創作	92
音楽	67
知識・勉強	63
その他	141
市主催	509
式典	68
文化祭	67
高齢介護	51
文学	41
発表会	36
その他	246
貸館機能	1233
市内団体	940
会議	522
講習・研修	88
展示会	75
大会	63
発表会	33
その他	159
市外団体	200
学校	39
企業	44
市外学校	8
保育園・幼稚園	2
その他	512
市利用	464
公民館利用	46
その他	2
総計	6987



市民余暇活動	60
スポーツ系サークル、個人スポーツ	12
発表会	12
卓球	0
バドミントン	0
ミニテニス等	0
ソフトバレー	0
その他	0
文化系サークル	48
発表会	18
歌	12
音楽	4
大会	4
文化	3
会議	3
講演会	3
放映	1
創作	0
PC・スマホ	0
その他	0
地域活動	12
地域コミュニティ	6
地域イベント	6
北本まつり	0
会議	0
大会	0
放映	0
その他	0
自治会	0
集会	0
会議	0
ダンス	0
コミュニティ	0
地域防犯	0
その他	0
コミュニティ協議会	6
地域イベント	6
会議	0

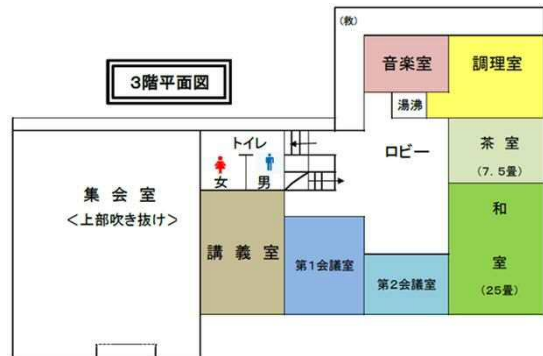
文化事業	301
公民館事業	165
コンサート	62
展示会	39
演劇	36
知識・勉強	7
講演会	6
その他	15
キタガク講座	16
歌	12
式典	3
ヨガ等	0
体操	0
文化	0
その他	1
市主催	120
発表会	21
式典	19
文化祭	18
知識・勉強	14
平和	12
その他	36
貸館機能	118
市内団体	47
発表会	21
大会	10
講演会	9
会議	4
放映	2
その他	1
市外団体	23
学校	11
企業	5
市外学校	28
保育園・幼稚園	4
その他	61
市利用	60
公民館利用	1
その他	0
総計	552

館内図

2F



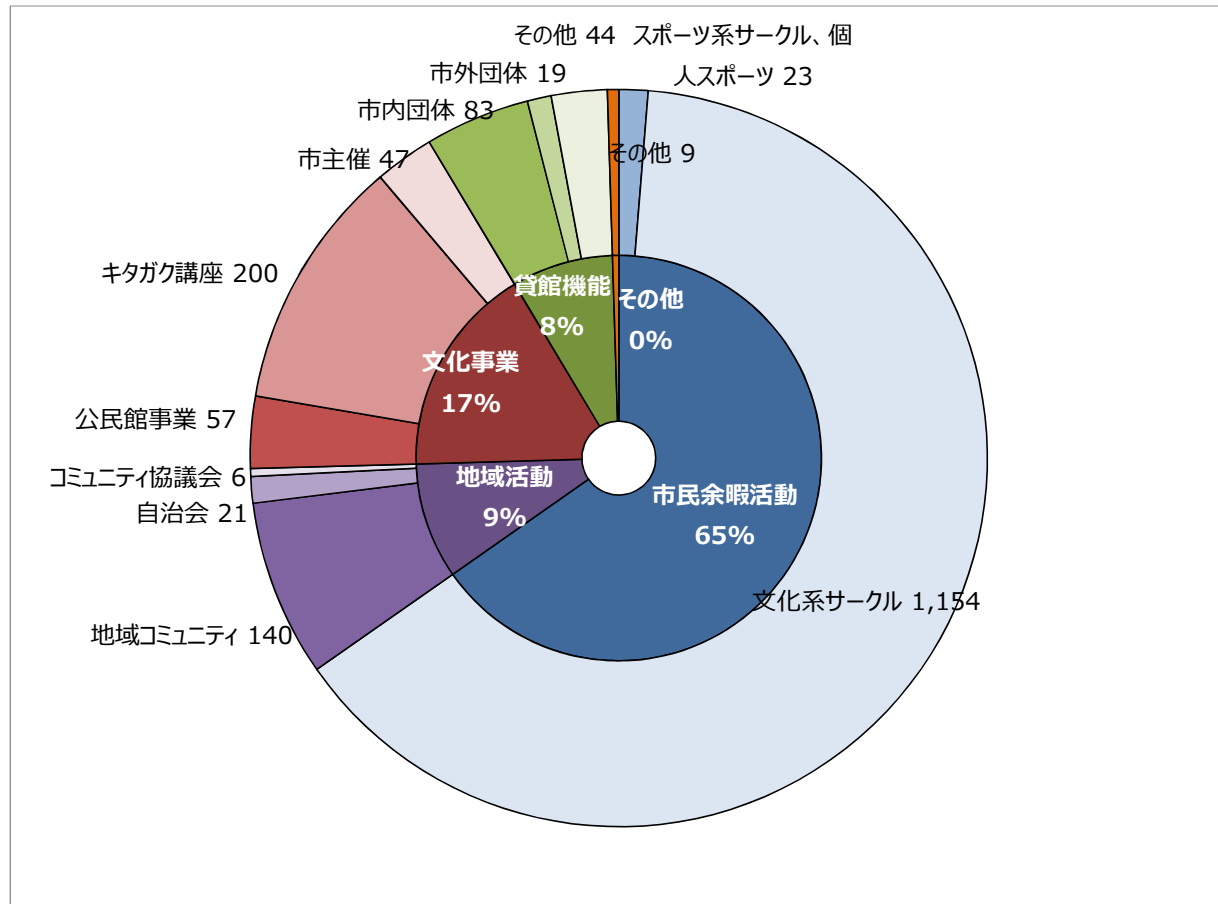
3F



稼働率

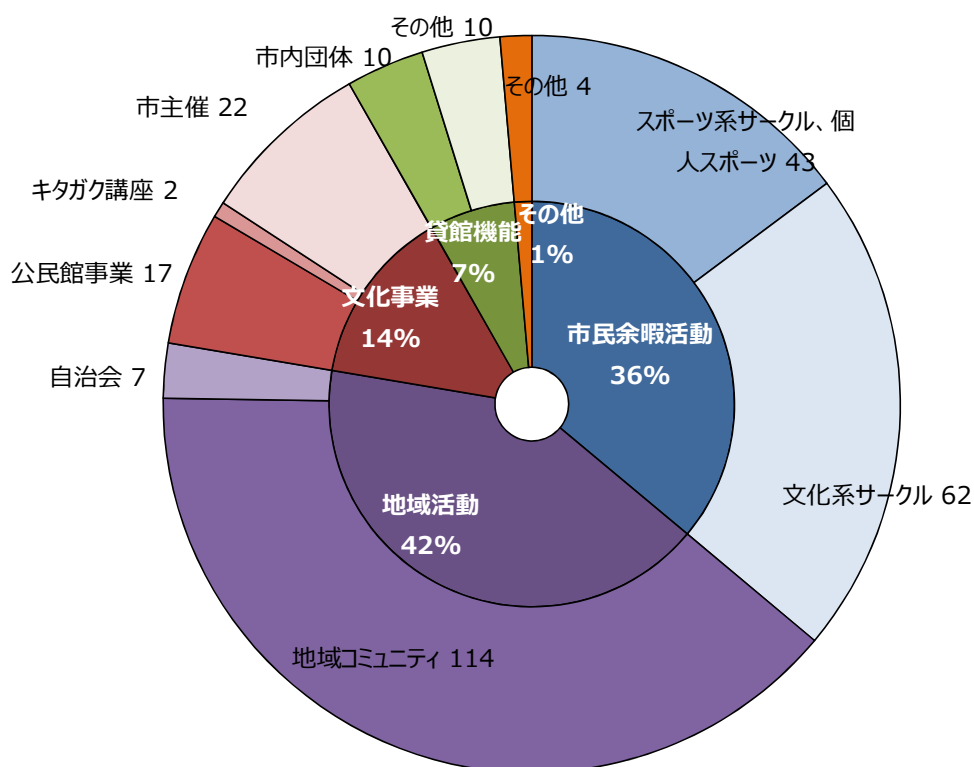
	平日（月～金）			休日（土・日）			合計
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
音楽室	56%	37%	10%	14%	48%	8%	31%
講義室	60%	48%	13%	39%	77%	15%	41%
講習室（和室）	12%	76%	5%	13%	29%	4%	26%
集会室	49%	25%	6%	57%	38%	10%	29%
第1会議室	43%	37%	5%	24%	57%	5%	28%
第2会議室	48%	25%	5%	22%	27%	9%	24%
茶室	1%	20%	0%	12%	2%	2%	7%
調理教室	25%	21%	2%	38%	38%	4%	19%
平均	44%	47%	9%	31%	48%	9%	32%

全体的に稼働率が低く、特に半数以上の部屋において、夜間の稼働率が1割を切っている。



市民余暇活動 1177	
スポーツ系サークル、個人スポーツ	23
ダンス	0
ミニテニス等	0
体操	0
会議	0
集会	0
その他	23
文化系サークル	1154
文化	0
音楽	0
麻雀	0
創作	0
調理	0
歌	0
書道	0
健康	0
PC・スマホ	0
知識・勉強	0
その他	1154
地域活動 167	
地域コミュニティ	140
会議	0
ミニテニス等	0
地域イベント	0
体操	0
調理	0
その他	140
自治会	21
会議	0
集会	0
地域防犯	0
ダンス	0
コミュニティ	0
その他	21
コミュニティ協議会	6
会議	0
地域イベント	0

文化事業 304	
公民館事業	57
創作	0
サマーフェスタ	0
コミュニティ	0
PC・スマホ	0
調理	0
その他	57
キタガク講座	200
文化	0
歌	0
音楽	0
健康	0
創作	0
その他	200
市主催	47
保健	41
高齢介護	17
生活	2
健康	0
文化	0
その他	-13
貸館機能	146
市内団体	83
会議	1
地域福祉	0
調理	0
体操	0
大会	0
その他	82
市外団体	19
学校	17
企業	26
市外学校	1
保育園・幼稚園	0
その他	9
市利用	5
公民館利用	4
その他	0
総計	1803

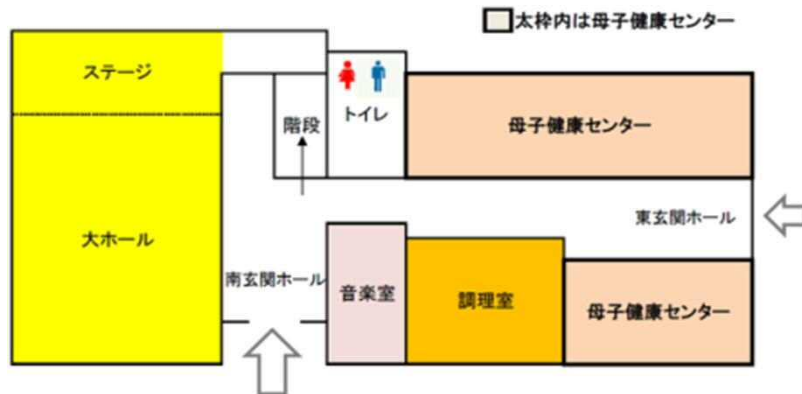


市民余暇活動 105	
スポーツ系サークル、個人スポーツ	43
ミニテニス等	25
ダンス	12
体操	3
会議	2
集会	1
その他	0
文化系サークル	62
文化	43
音楽	15
歌	2
集会	1
発表会	1
創作	0
PC・スマホ	0
書道	0
ゲーム	0
ヨガ等	0
その他	0
地域活動	121
地域コミュニティ	114
ミニテニス等	65
体操	23
会議	8
地域イベント	6
音楽	5
その他	7
自治会	7
会議	4
集会	2
地域防犯	1
ダンス	0
コミュニティ	0
その他	0
コミュニティ協議会	0
会議	0
地域イベント	0

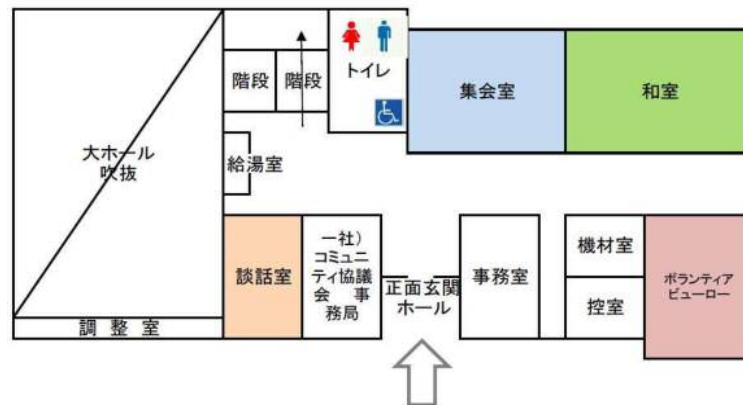
文化事業 41	
公民館事業	17
サマーフェスタ	11
コミュニティ	3
創作	3
卓球	0
バドミントン	0
その他	0
キタガク講座	2
歌	1
健康	1
ヨガ等	0
体操	0
文化	0
その他	0
市主催	22
保健	14
高齢介護	6
健康	2
文化	0
コンクール	0
その他	0
貸館機能	20
市内団体	10
体操	4
保健	2
会議	1
講習・研修	1
地域福祉	1
その他	1
市外団体	0
学校	3
企業	4
市外学校	0
保育園・幼稚園	3
その他	4
市利用	4
公民館利用	0
その他	0
総計	291

館内図

1F



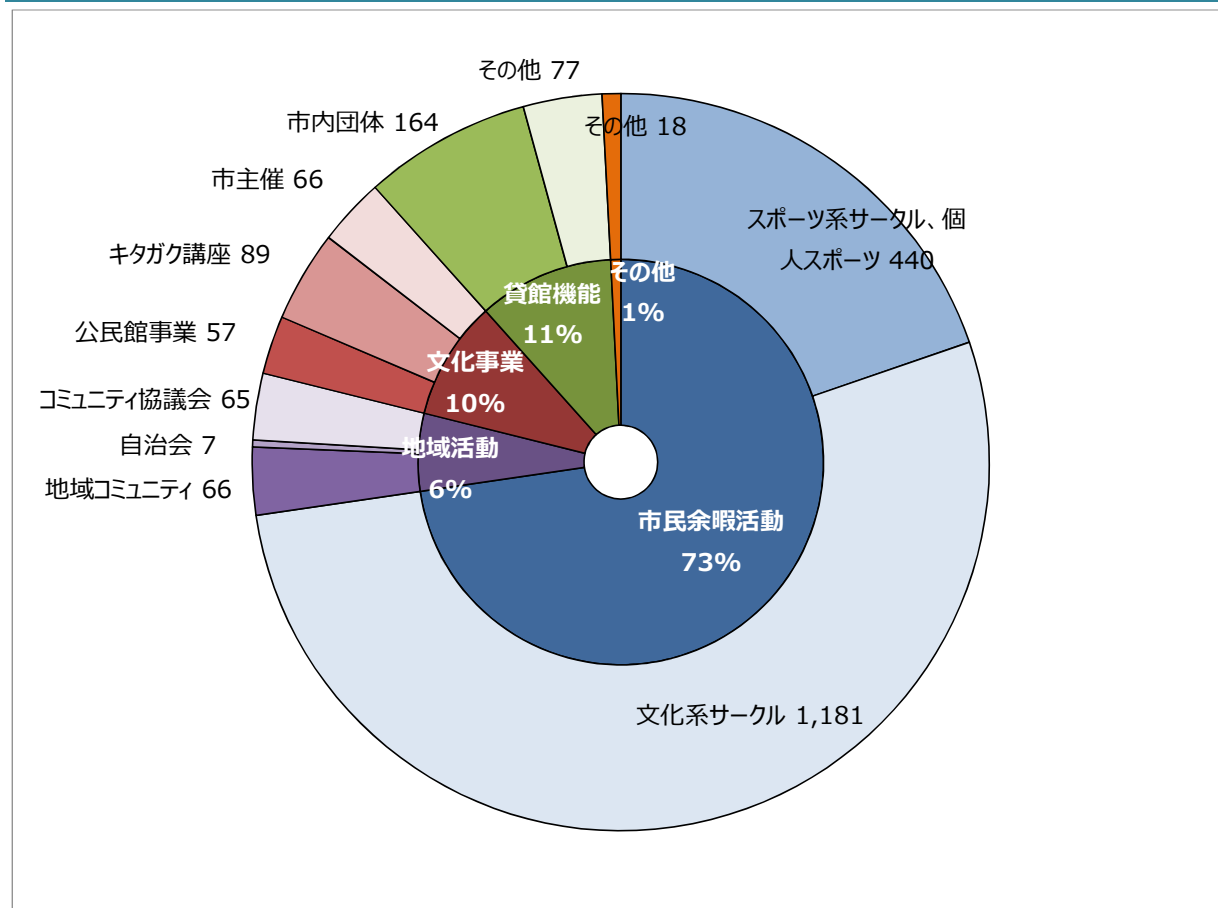
2F



稼働率

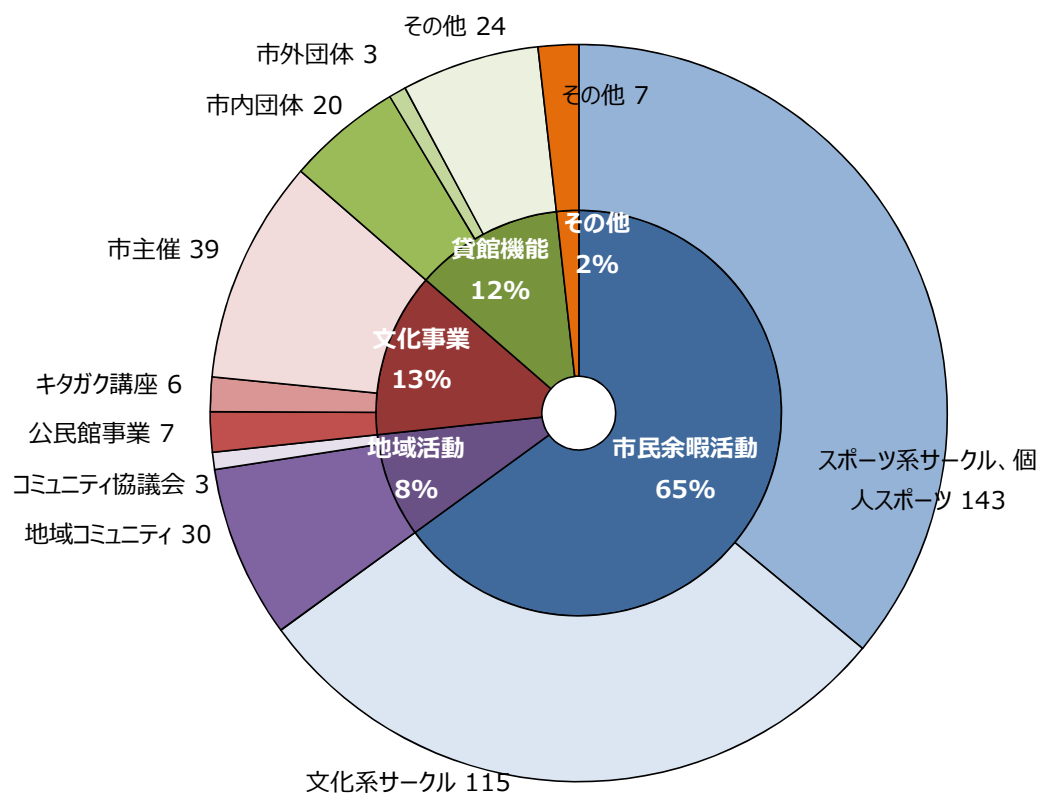
	平日(月～金)			休日(土・日)			合計
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
コミュニティ集会室	58%	67%	18%	59%	52%	20%	46%
ホール	51%	21%	29%	44%	38%	65%	38%
ボランティアビューロー	67%	62%	55%	42%	71%	23%	56%
音楽室	49%	32%	44%	53%	48%	34%	43%
調理室	52%	48%	22%	45%	38%	26%	39%
和室	68%	52%	19%	98%	37%	9%	47%
平均	58%	47%	31%	57%	47%	30%	45%

ホールの稼働率が低い。また、全体的に夜間の稼働状況が低い。



市民余暇活動	1621
スポーツ系サークル、個人スポーツ	440
体操	149
ダンス	116
ヨガ等	116
吹矢	46
音楽	7
その他	6
文化系サークル	1181
文化	349
音楽	211
創作	150
調理	134
囲碁・将棋	122
歌	89
PC・スマホ	51
書道	33
会議	19
知識・勉強	15
その他	8
地域活動	138
地域コミュニティ	66
会議	24
子育て	18
地域イベント	13
調理	3
書道	2
その他	6
自治会	7
会議	3
集会	2
調理	2
ダンス	0
コミュニティ	0
その他	0
コミュニティ協議会	65
会議	65
地域イベント	0

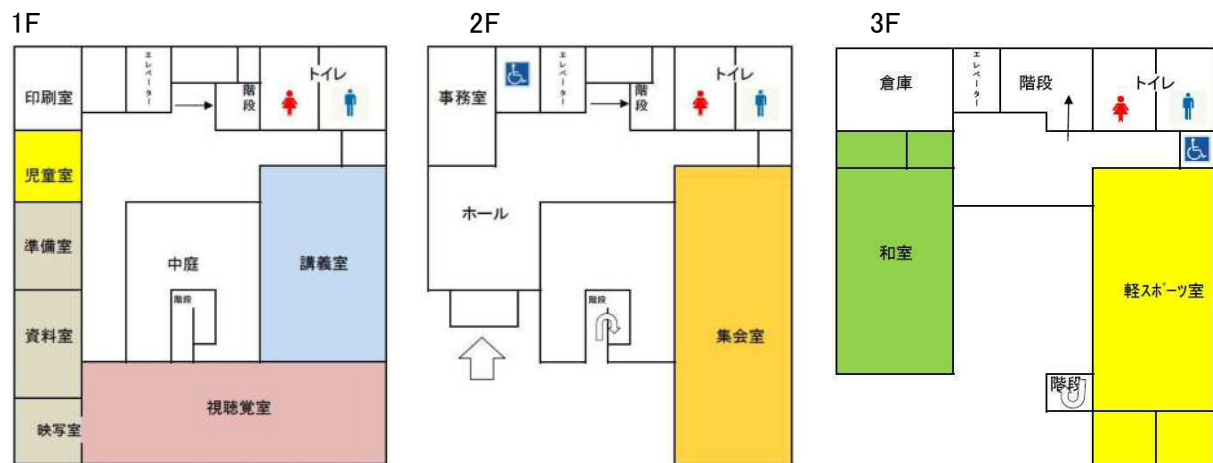
文化事業	212
公民館事業	57
コミュニティ	37
サマーフェスタ	8
PC・スマホ	6
調理	4
健康	2
その他	0
キタガク講座	89
体操	40
音楽	20
歌	12
園芸	6
調理	6
その他	5
市主催	66
保健	32
高齢介護	24
調理	10
文化	0
コンクール	0
その他	0
貸館機能	241
市内団体	164
会議	123
地域福祉	18
調理	10
文化	5
集会	4
その他	4
市外団体	0
学校	68
企業	9
市外学校	0
保育園・幼稚園	0
その他	18
市利用	17
公民館利用	1
その他	0
総計	2230



市民余暇活動	258
スポーツ系サークル、個人スポーツ	143
ダンス	101
体操	41
会議	1
卓球	0
バドミントン	0
その他	0
文化系サークル	115
音楽	84
展示会	29
文化	2
創作	0
PC・スマホ	0
歌	0
書道	0
ゲーム	0
ヨガ等	0
囲碁・将棋	0
その他	0
地域活動	33
地域コミュニティ	30
地域イベント	9
北本まつり	7
子育て	4
書道	4
地域福祉	2
その他	4
自治会	0
集会	0
会議	0
ダンス	0
コミュニティ	0
地域防犯	0
その他	0
コミュニティ協議会	3
会議	3
地域イベント	0

文化事業	52
公民館事業	7
サマーフェスタ	4
コミュニティ	3
卓球	0
バドミントン	0
体操	0
その他	0
キタガク講座	6
体操	6
ヨガ等	0
文化	0
PC・スマホ	0
スポーツ	0
その他	0
市主催	39
保健	19
子育て	12
高齢介護	6
健康	2
文化	0
その他	0
貸館機能	47
市内団体	20
会議	10
集会	3
保健	3
講演会	2
体操	0
その他	2
市外団体	3
学校	24
企業	0
市外学校	0
保育園・幼稚園	0
その他	7
市利用	7
公民館利用	0
その他	0
総計	397

館内図



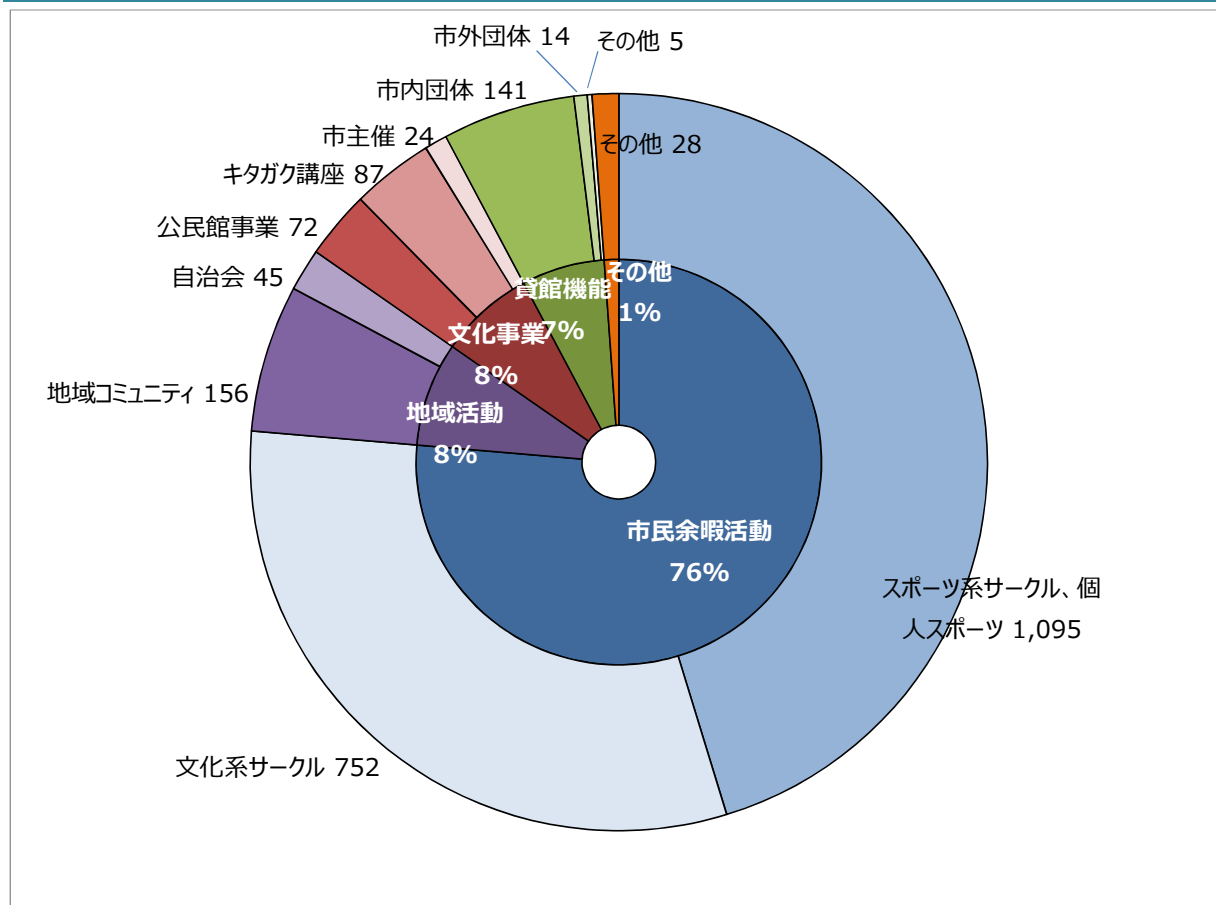
稼働率

	平日(月～金)			休日(土・日)			合計
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
軽スポーツ室	89%	88%	91%	95%	87%	48%	85%
研修室(和室)	61%	66%	49%	67%	66%	16%	56%
講義室	60%	70%	30%	56%	79%	33%	54%
視聴覚室	59%	70%	37%	39%	55%	39%	52%
集会所	65%	81%	70%	79%	82%	45%	71%
平 均	67%	75%	55%	67%	74%	36%	64%

※算定条件

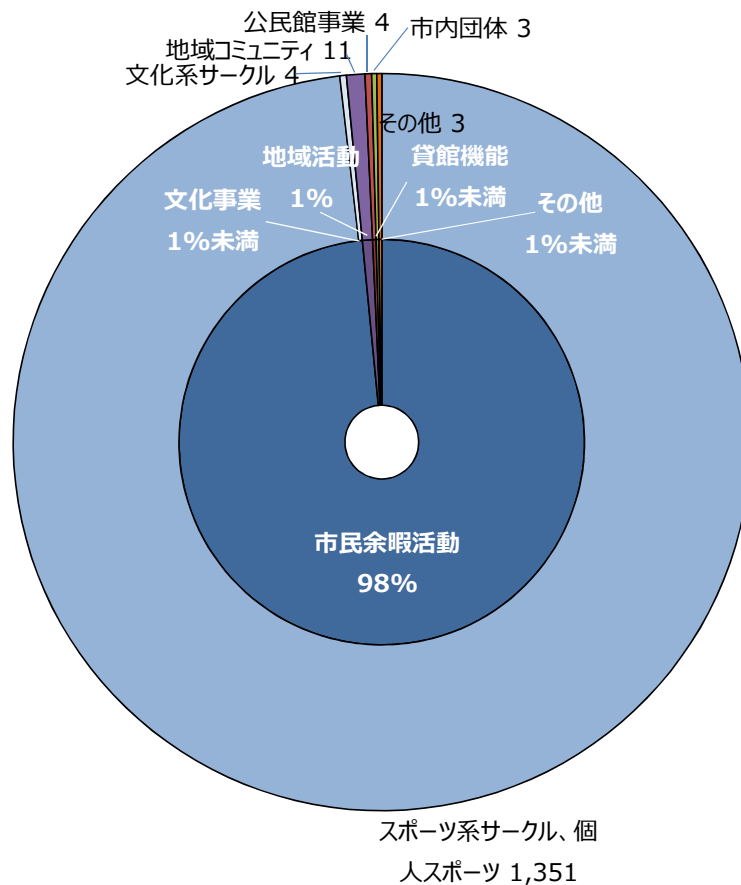
軽スポーツ室は半面使用した場合は1/2件で換算した。

全体的に稼働率が高く、特に軽スポーツ室、集会所の稼働率が高い。



市民余暇活動 1847	
スポーツ系サークル、個人スポーツ 1095	
ダンス	501
体操	382
吹矢	121
ヨガ等	78
会議	8
その他	5
文化系サークル 752	
文化	303
音楽	208
創作	76
歌	72
書道	55
PC・スマホ	6
放映	6
ゲーム	4
会議	4
知識・勉強	4
その他	14
地域活動 201	
地域コミュニティ 156	
地域イベント	72
北本まつり	70
会議	12
調理	1
大会	0
その他	1
自治会 45	
会議	41
集会	3
地域防犯	1
ダンス	0
コミュニティ	0
その他	0
コミュニティ協議会 0	
会議	0
地域イベント	0

文化事業 183	
公民館事業 72	
コミュニティ	35
サマーフェスタ	16
放映	12
創作	1
体操	0
その他	8
キタガク講座 87	
書道	32
音楽	22
体操	16
文化	6
生活	6
その他	5
市主催 24	
高齢介護	24
文化	0
コンクール	0
ボランティア	0
囲碁・将棋	0
その他	0
貸館機能 160	
市内団体 141	
会議	51
演劇	45
地域福祉	11
イベント	6
体操	6
その他	22
市外団体 14	
学校	0
企業	3
市外学校	0
保育園・幼稚園	2
その他 28	
市利用	28
公民館利用	0
その他	0
総計 2419	

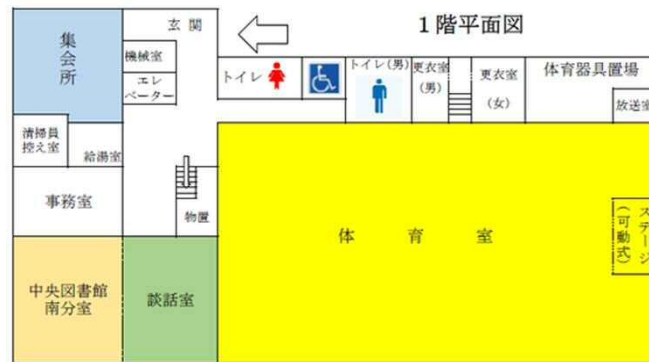


市民余暇活動	1355
スポーツ系サークル、個人スポーツ	1351
卓球	976
ダンス	163
体操	159
武道	52
ヨガ等	1
その他	0
文化系サークル	4
文化	4
音楽	0
創作	0
PC・スマホ	0
歌	0
書道	0
ゲーム	0
ヨガ等	0
囲碁・将棋	0
演劇	0
その他	0
地域活動	11
地域コミュニティ	11
地域イベント	9
会議	1
講習・研修	1
北本まつり	0
大会	0
その他	0
自治会	0
集会	0
会議	0
ダンス	0
コミュニティ	0
地域防犯	0
その他	0
コミュニティ協議会	0
会議	0
地域イベント	0

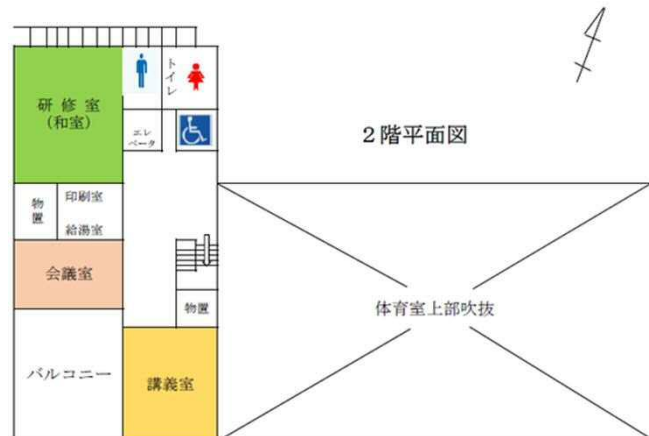
文化事業	4
公民館事業	4
サマーフェスタ	2
コミュニティ	2
卓球	0
バドミントン	0
体操	0
その他	0
キタガク講座	0
ヨガ等	0
体操	0
文化	0
PC・スマホ	0
スポーツ	0
その他	0
市主催	0
文化	0
高齢介護	0
コンクール	0
ボランティア	0
囲碁・将棋	0
その他	0
貸館機能	3
市内団体	3
イベント	1
ダンス	1
演劇	1
体操	0
バドミントン	0
その他	0
市外団体	0
学校	0
企業	0
市外学校	0
保育園・幼稚園	0
その他	3
市利用	3
公民館利用	0
その他	0
総計	1376

館内図

1F



2F



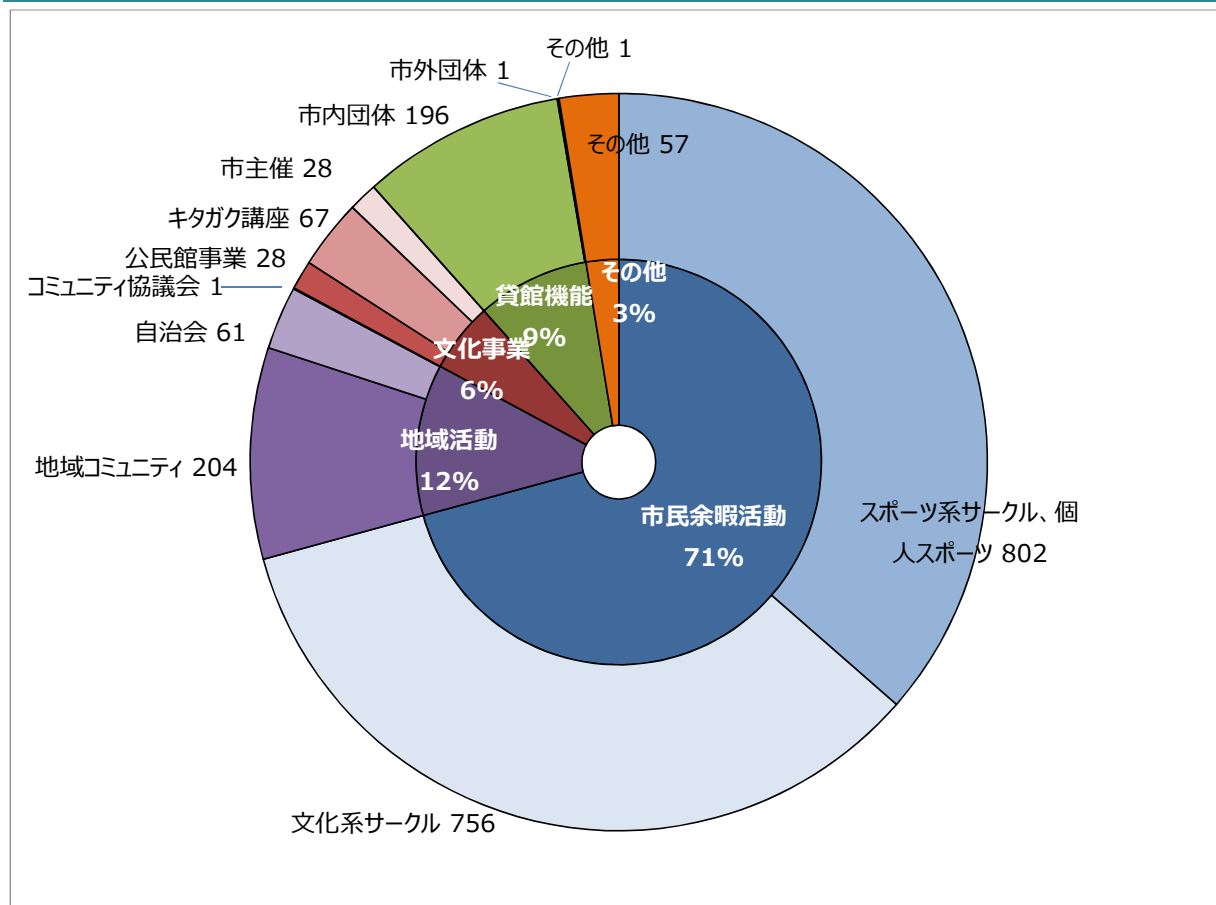
稼働率

	平日(月～金)			休日(土・日)			合計
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
アリーナ	93%	83%	82%	96%	96%	91%	88%
会議室	65%	72%	13%	44%	47%	19%	46%
研修室(和室)	63%	43%	12%	34%	66%	20%	40%
講義室	74%	78%	28%	59%	51%	33%	56%
集会所	72%	83%	69%	73%	47%	61%	70%
平 均	74%	72%	41%	61%	61%	45%	60%

※算定条件

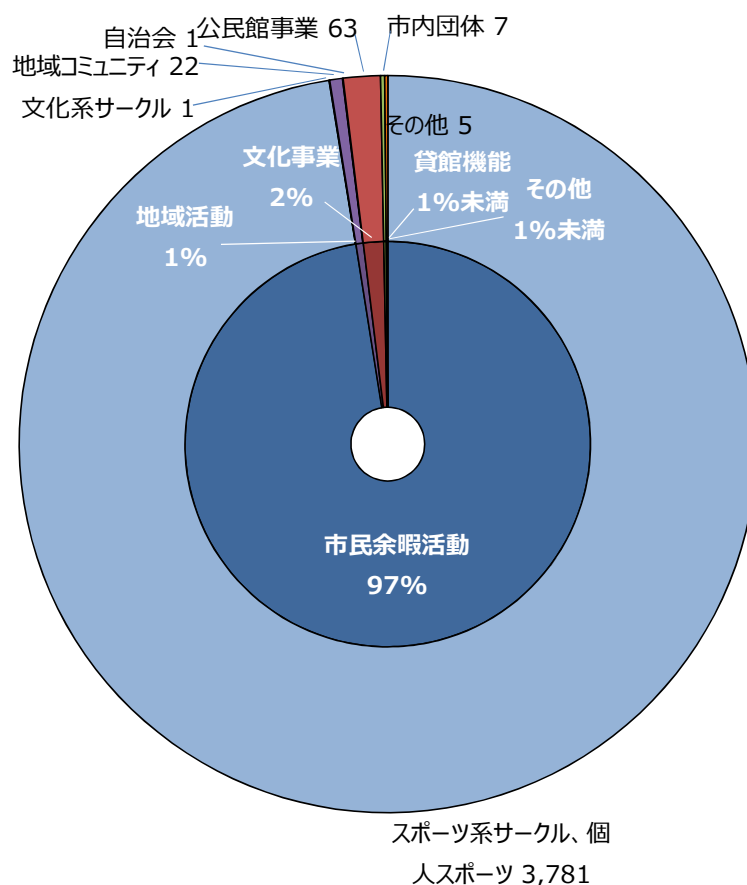
アリーナは卓球が8卓、バドミントンが2面使用できるスペースがあり、卓球は1卓当たり1/8件、バドミントンは1/2件で換算した

全体的に稼働率が高く、特に軽スポーツ室、集会所の稼働率が高い。



市民余暇活動 1558	
スポーツ系サークル、個人スポーツ	802
ダンス	377
体操	327
会議	40
ヨガ等	32
吹矢	14
その他	12
文化系サークル	756
文化	223
創作	144
音楽	121
書道	80
囲碁・将棋	55
知識・勉強	52
歌	43
麻雀	33
大会	2
発表会	2
その他	1
地域活動	266
地域コミュニティ	204
北本まつり	94
地域イベント	74
会議	28
講習・研修	2
創作	2
その他	4
自治会	61
会議	58
集会	3
ダンス	0
コミュニティ	0
地域防犯	0
その他	0
コミュニティ協議会	1
会議	1
地域イベント	0

文化事業 123	
公民館事業	28
コミュニティ	9
サマーフェスタ	7
創作	7
体操	0
園芸	0
その他	5
キタガク講座	67
音楽	20
創作	14
書道	12
文化	8
スポーツ	7
その他	6
市主催	28
高齢介護	24
子育て	3
地域福祉	1
文化	0
コンクール	0
その他	0
貸館機能	198
市内団体	196
会議	135
地域福祉	47
集会	3
麻雀	3
知識・勉強	2
その他	6
市外団体	1
学校	0
企業	1
市外学校	0
保育園・幼稚園	0
その他	57
市利用	38
公民館利用	1
その他	18
総計	2202

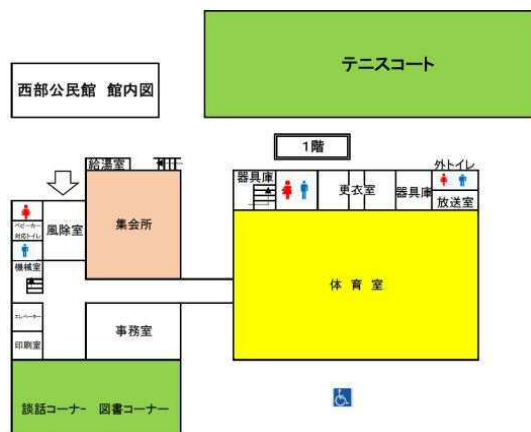


市民余暇活動	3782
スポーツ系サークル、個人スポーツ	3781
卓球	2880
バドミントン	366
ミニテニス等	175
ソフトバレー	152
バレーボール	83
その他	125
文化系サークル	1
知識・勉強	1
音楽	0
創作	0
文化	0
P C・スマホ	0
歌	0
書道	0
ゲーム	0
ヨガ等	0
囲碁・将棋	0
その他	0
地域活動	23
地域コミュニティ	22
地域イベント	21
会議	1
北本まつり	0
大会	0
放映	0
その他	0
自治会	1
会議	1
集会	0
ダンス	0
コミュニティ	0
地域防犯	0
その他	0
コミュニティ協議会	0
会議	0
地域イベント	0

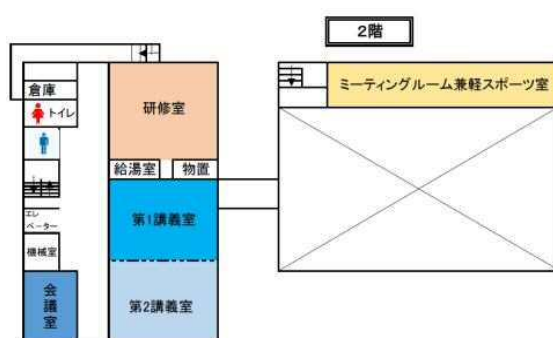
文化事業	63
公民館事業	63
卓球	61
サマーフェスタ	0
コミュニティ	0
バドミントン	0
体操	0
その他	2
キタガク講座	0
ヨガ等	0
体操	0
文化	0
P C・スマホ	0
スポーツ	0
その他	0
市主催	0
文化	0
高齢介護	0
コンクール	0
ボランティア	0
囲碁・将棋	0
その他	0
貸館機能	7
市内団体	7
地域福祉	5
会議	2
体操	0
バドミントン	0
文化	0
その他	0
市外団体	0
学校	0
企業	0
市外学校	0
保育園・幼稚園	0
その他	5
市利用	5
公民館利用	0
その他	0
総計	3880

館内図

1F



2F



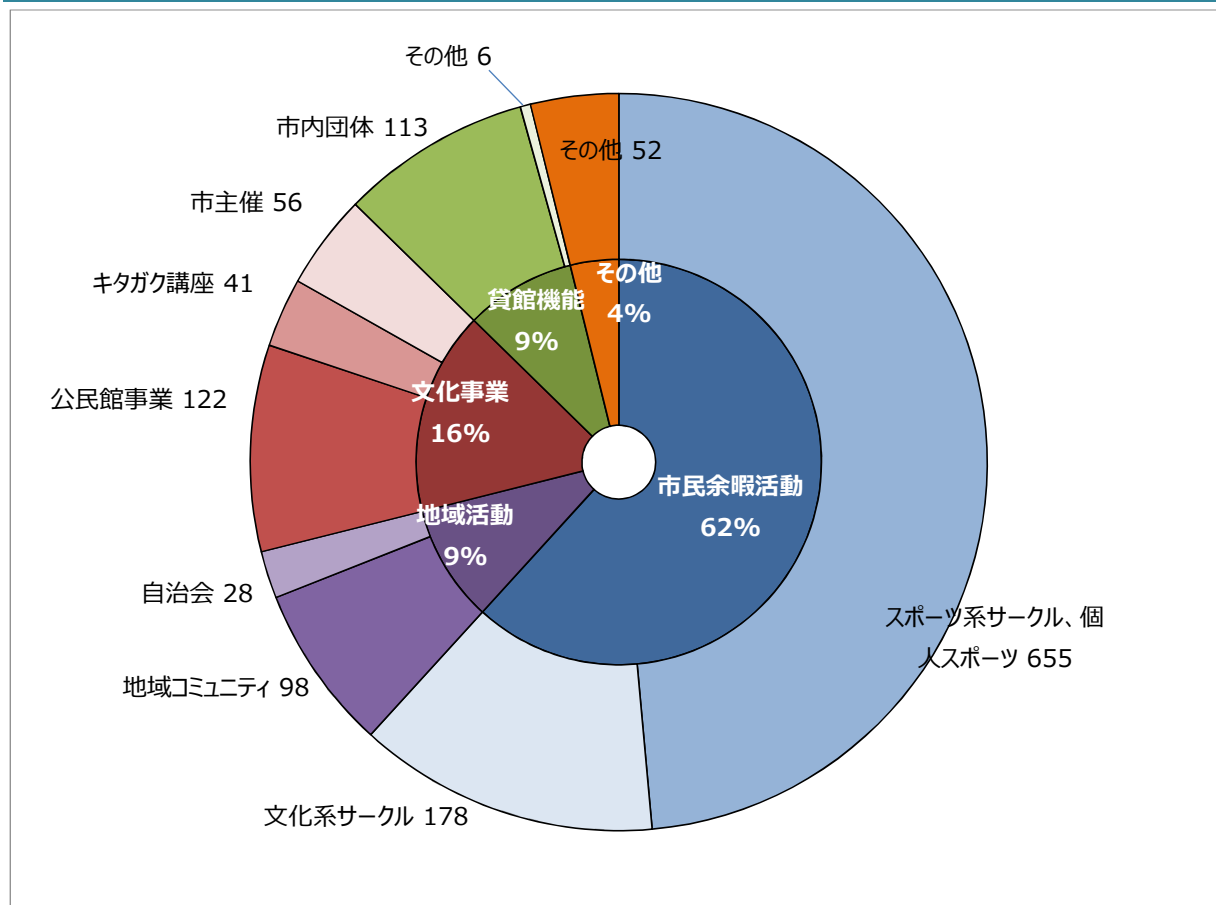
稼働率

	平日(月～金)			休日(土・日)			合計
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
体育室	94%	82%	84%	92%	95%	71%	86%
ミーティング室兼軽スポーツ室(全面)	2%	2%	2%	37%	21%	0%	7%
会議室	20%	24%	2%	28%	14%	11%	16%
研修室(和室)	59%	28%	2%	43%	14%	37%	30%
第1講義室	24%	6%	21%	17%	18%	6%	16%
第2講義室	17%	19%	21%	18%	13%	6%	17%
集会所	74%	62%	34%	44%	52%	30%	52%
平均	41%	32%	24%	40%	32%	23%	32%

※算定条件

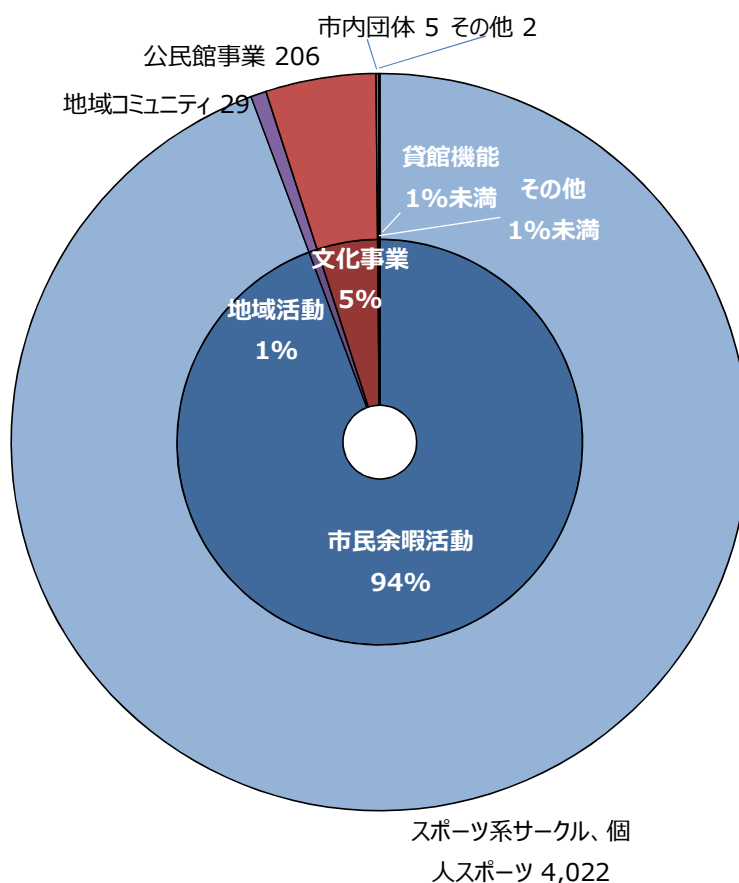
体育室は卓球が9卓、バトミントンが3面使用できるスペースがあり、卓球は1卓当たり1/9件、バトミントンは1/3件で換算した。

体育室の稼働率は時間帯に依らず高いが、それ以外の部屋は集会室を除き、全体的に低い。



市民余暇活動	833
スポーツ系サークル、個人スポーツ	655
ダンス	334
体操	185
ヨガ等	63
吹矢	50
会議	11
その他	12
文化系サークル	178
音楽	78
創作	64
文化	32
P.C・スマホ	2
歌	1
書道	1
ゲーム	0
ヨガ等	0
囲碁・将棋	0
演劇	0
その他	0
地域活動	126
地域コミュニティ	98
地域イベント	64
会議	17
北本まつり	12
大会	4
放映	1
その他	0
自治会	28
集会	16
会議	11
ダンス	1
コミュニティ	0
地域防犯	0
その他	0
コミュニティ協議会	0
会議	0
地域イベント	0

文化事業	219
公民館事業	122
コミュニティ	60
体操	37
園芸	11
サマーフェスタ	10
P.C・スマホ	4
その他	0
キタガク講座	41
ヨガ等	20
体操	16
文化	5
P.C・スマホ	0
スポーツ	0
その他	0
市主催	56
文化	30
高齢介護	26
コンクール	0
ボランティア	0
囲碁・将棋	0
その他	0
貸館機能	119
市内団体	113
会議	45
高齢福祉	34
集会	26
講習・研修	5
知識・勉強	2
その他	1
市外団体	0
学校	0
企業	4
市外学校	0
保育園・幼稚園	2
その他	52
市利用	32
公民館利用	7
その他	13
総計	1349



市民余暇活動	4022
スポーツ系サークル、個人スポーツ	4022
卓球	2348
バドミントン	1266
ミニテニス等	188
ソフトバレー	114
体操	75
その他	31
文化系サークル	0
音楽	0
創作	0
文化	0
PC・スマホ	0
歌	0
書道	0
ゲーム	0
ヨガ等	0
囲碁・将棋	0
演劇	0
その他	0
地域活動	29
地域コミュニティ	29
地域イベント	28
北本まつり	1
会議	0
大会	0
放映	0
その他	0
自治会	0
集会	0
会議	0
ダンス	0
コミュニティ	0
地域防犯	0
その他	0
コミュニティ協議会	0
会議	0
地域イベント	0

文化事業	206
公民館事業	206
卓球	194
サマーフェスタ	8
コミュニティ	2
バドミントン	2
体操	0
その他	0
キタガク講座	0
ヨガ等	0
体操	0
文化	0
PC・スマホ	0
スポーツ	0
その他	0
市主催	0
文化	0
高齢介護	0
コンクール	0
ボランティア	0
囲碁・将棋	0
その他	0
貸館機能	5
市内団体	5
体操	3
バドミントン	1
文化	1
会議	0
高齢福祉	0
その他	0
市外団体	0
学校	0
企業	0
市外学校	0
保育園・幼稚園	0
その他	2
市利用	0
公民館利用	0
その他	2
総計	4264

館内図

1F



2F



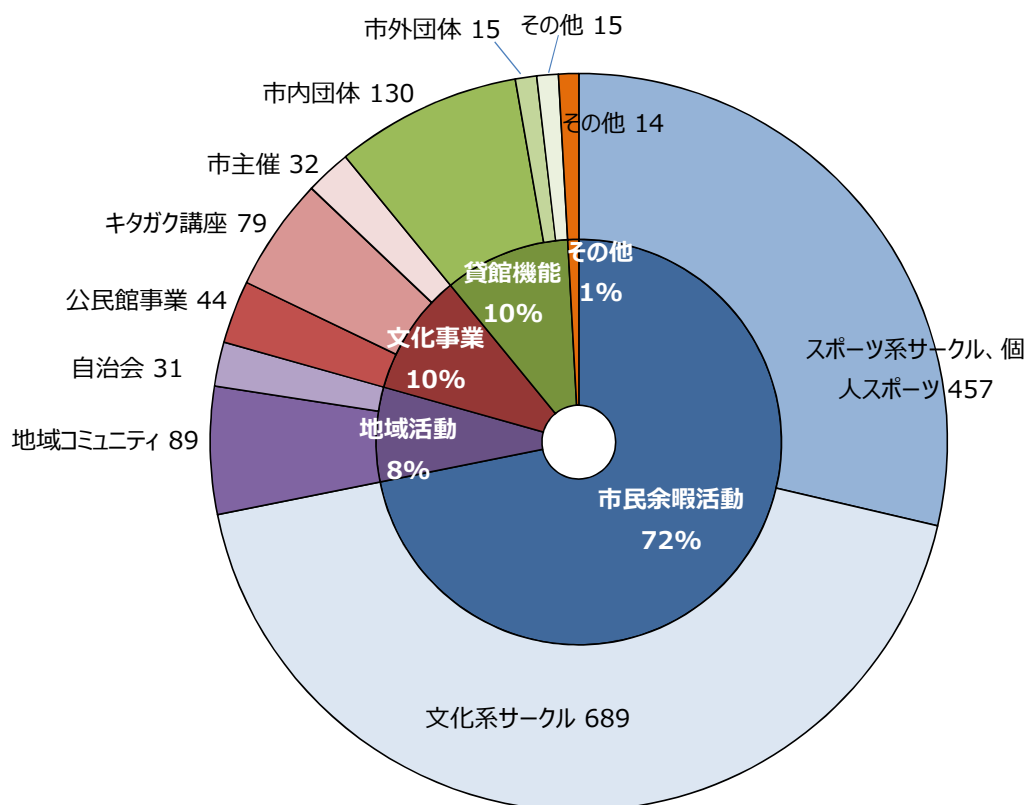
稼働率

	平日(月～金)			休日(土・日)			合計
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
体育室	79%	75%	85%	95%	82%	64%	80%
研修室(和室)	50%	50%	21%	41%	99%	16%	44%
講義室	58%	53%	47%	73%	75%	22%	54%
集会所	81%	40%	31%	87%	66%	66%	57%
平均	67%	54%	46%	74%	80%	42%	59%

※算定条件

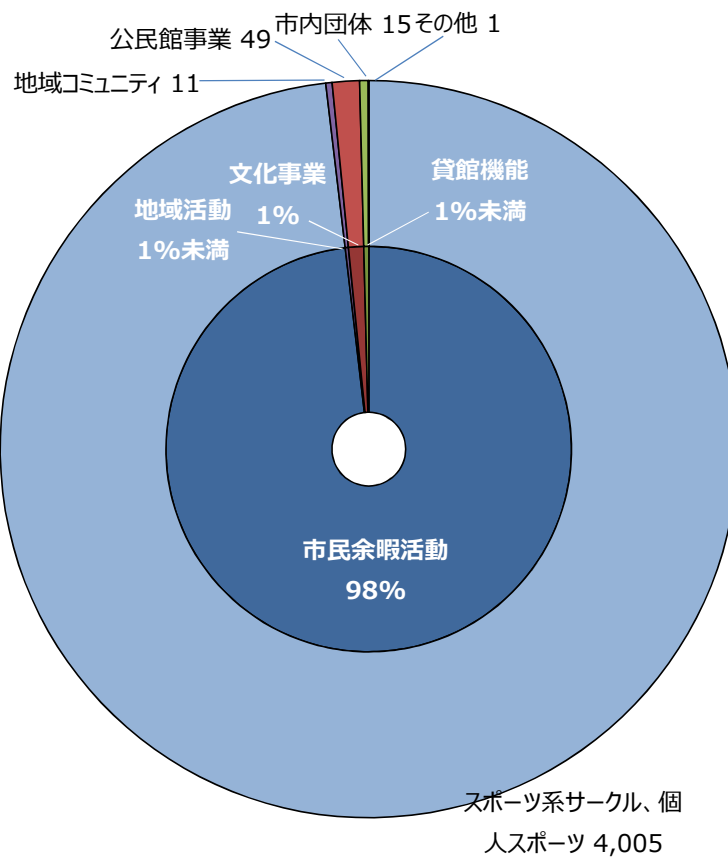
体育室は卓球が8卓、バドミントンが2面使用できるスペースがあり、卓球は1卓当たり1/8件、バドミントンは1/2件で換算した

全体的に稼働率が高く、特に体育室の稼働率が高い。



市民余暇活動	1146
スポーツ系サークル、個人スポーツ	457
ダンス	161
体操	122
吹矢	106
ヨガ等	40
会議	15
その他	13
文化系サークル	689
文化	239
創作	117
囲碁・将棋	102
歌	100
音楽	71
知識・勉強	34
書道	24
会議	2
PC・スマホ	0
ゲーム	0
その他	0
地域活動	120
地域コミュニティ	89
地域イベント	52
会議	20
創作	7
北本まつり	6
調理	4
その他	0
自治会	31
会議	23
文化	6
集会	2
ダンス	0
コミュニティ	0
その他	0
コミュニティ協議会	0
会議	0
地域イベント	0

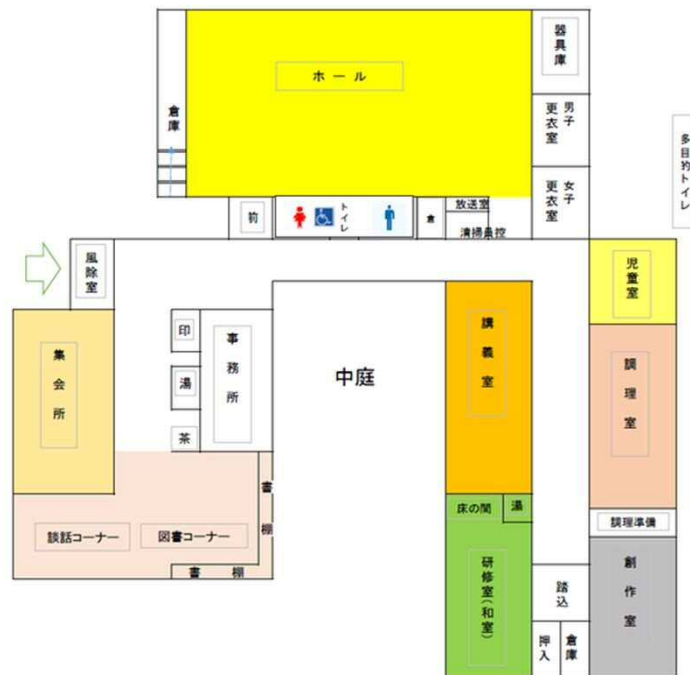
文化事業	155
公民館事業	44
コミュニティ	35
サマーフェスタ	7
体操	1
歌	1
園芸	0
その他	0
キタガク講座	79
体操	25
音楽	24
歌	24
知識・勉強	6
ヨガ等	0
その他	0
市主催	32
高齢介護	24
子育て	6
地域福祉	2
文化	0
コンクール	0
その他	0
貸館機能	160
市内団体	130
会議	64
文化	22
体操	19
地域福祉	12
集会	6
その他	7
市外団体	15
学校	0
企業	15
市外学校	0
保育園・幼稚園	0
その他	14
市利用	14
公民館利用	0
その他	0
総計	1595



市民余暇活動	4005
スポーツ系サークル、個人スポーツ	4005
卓球	3384
バドミントン	245
体操	136
ダンス	86
ソフトバレー	57
その他	97
文化系サークル	0
音楽	0
創作	0
文化	0
PC・スマホ	0
歌	0
書道	0
ゲーム	0
ヨガ等	0
囲碁・将棋	0
演劇	0
その他	0
地域活動	11
地域コミュニティ	11
地域イベント	9
会議	2
北本まつり	0
大会	0
放映	0
その他	0
自治会	0
集会	0
会議	0
ダンス	0
コミュニティ	0
地域防犯	0
その他	0
コミュニティ協議会	0
会議	0
地域イベント	0

文化事業	49
公民館事業	49
体操	24
サマーフェスタ	22
コミュニティ	3
卓球	0
バドミントン	0
その他	0
キタガク講座	0
ヨガ等	0
体操	0
文化	0
PC・スマホ	0
スポーツ	0
その他	0
市主催	0
文化	0
高齢介護	0
コンクール	0
ボランティア	0
囲碁・将棋	0
その他	0
貸館機能	16
市内団体	15
地域福祉	10
バドミントン	2
会議	2
音楽	1
体操	0
その他	0
市外団体	0
学校	0
企業	1
市外学校	0
保育園・幼稚園	0
その他	0
市利用	0
公民館利用	0
その他	0
総計	4081

館内図



稼働率

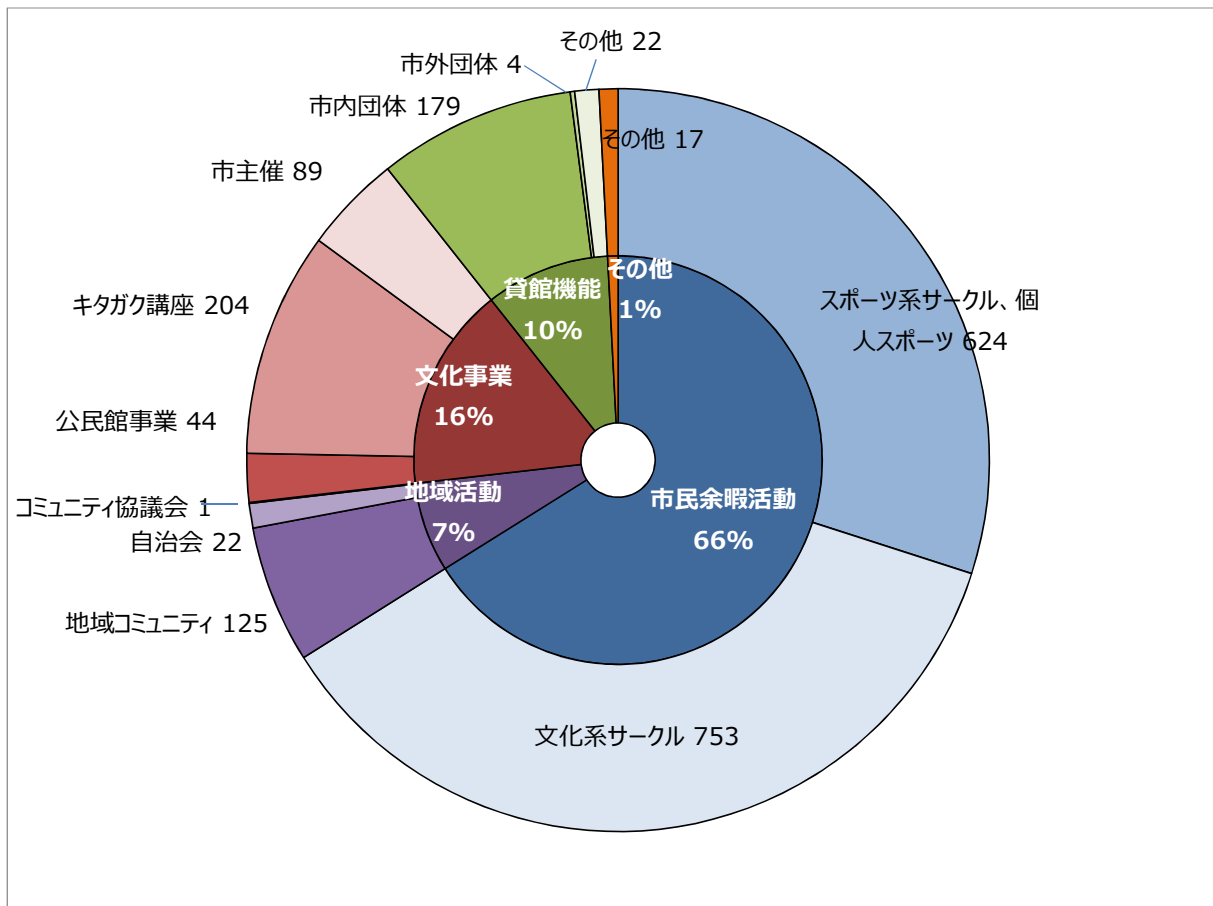
	平日(月～金)			休日(土・日)			合計
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
ホール	92%	83%	69%	82%	94%	57%	80%
研修室(和室)	58%	20%	12%	21%	24%	52%	31%
講義室	74%	51%	29%	72%	94%	20%	55%
創作室	27%	21%	9%	31%	14%	4%	18%
調理室	49%	30%	4%	55%	43%	11%	30%
集会所	81%	68%	29%	66%	83%	17%	58%
平 均	63%	46%	25%	55%	59%	27%	45%

	平日(月～金)			休日(土・日)			合計
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
陶芸窯室	19%	8%	6%	21%	5%	5%	11%

※算定条件

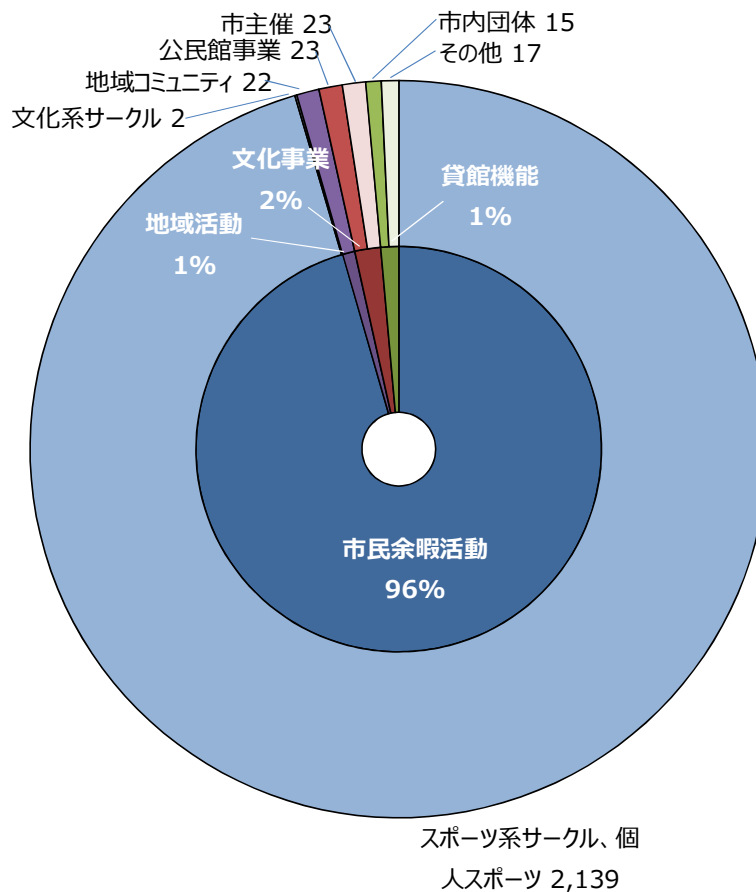
ホールは卓球が4卓、バドミントンが1面使用できるスペースがあり、卓球は1卓当たり1/4件、バドミントンは1件で換算した。

ホールの稼働率が高い。全体的に夜間の稼働率が低い。



市民余暇活動 1377	
スポーツ系サークル、個人スポーツ	624
ダンス	441
吹矢	86
ヨガ等	56
体操	26
集会	6
その他	9
文化系サークル	753
調理	175
陶芸	170
創作	138
音楽	81
文化	79
書道	43
歌	9
ヨガ等	6
知識・勉強	3
会議	2
その他	47
地域活動	148
地域コミュニティ	125
地域イベント	71
北本まつり	39
会議	9
講習・研修	2
調理	1
その他	3
自治会	22
会議	22
集会	0
ダンス	0
コミュニティ	0
地域防犯	0
その他	0
コミュニティ協議会	1
会議	1
地域イベント	0

文化事業 337	
公民館事業	44
コミュニティ	19
調理	13
サマーフェスタ	7
体操	5
園芸	0
その他	0
キタガク講座	204
体操	148
調理	31
生活	12
文化	8
歌	5
その他	0
市主催	89
文化	34
高齢介護	24
保健	21
調理	5
子育て	3
その他	2
貸館機能	205
市内団体	179
会議	64
吹矢	39
地域福祉	34
集会	9
講習・研修	8
その他	25
市外団体	4
学校	14
企業	7
市外学校	0
保育園・幼稚園	1
その他	17
市利用	15
公民館利用	2
その他	0
総計	2084

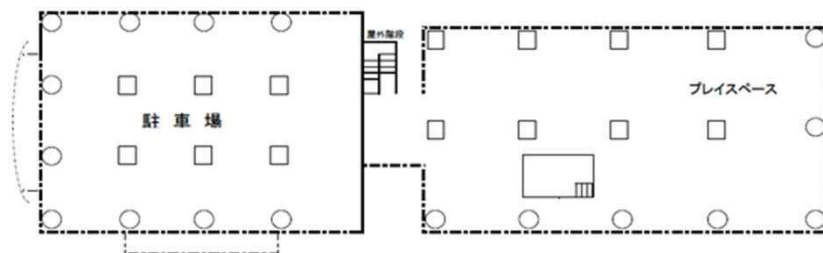


市民余暇活動	2141
スポーツ系サークル、個人スポーツ	2139
卓球	1868
ダンス	245
バドミントン	24
大会	2
ミニテニス等	0
その他	0
文化系サークル	2
音楽	1
会議	1
創作	0
文化	0
PC・スマホ	0
歌	0
書道	0
ゲーム	0
ヨガ等	0
囲碁・将棋	0
その他	0
地域活動	22
地域コミュニティ	22
地域イベント	18
北本まつり	2
会議	1
大会	0
放映	0
その他	1
自治会	0
集会	0
会議	0
ダンス	0
コミュニティ	0
地域防犯	0
その他	0
コミュニティ協議会	0
会議	0
地域イベント	0

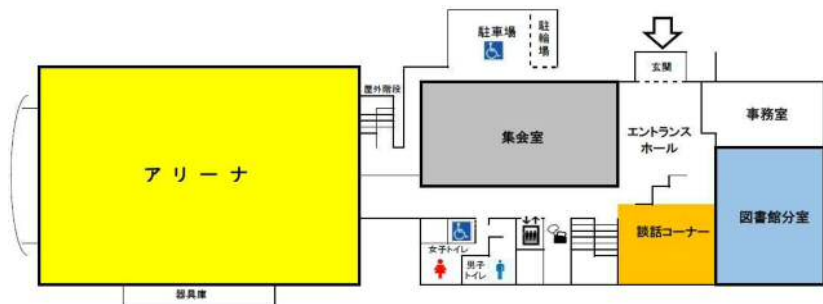
文化事業	46
公民館事業	23
卓球	20
コミュニティ	2
サマーフェスタ	1
バドミントン	0
体操	0
その他	0
キタガク講座	0
ヨガ等	0
体操	0
文化	0
PC・スマホ	0
スポーツ	0
その他	0
市主催	23
子育て	23
文化	0
高齢介護	0
コンクール	0
ボランティア	0
その他	0
貸館機能	32
市内団体	15
地域福祉	8
大会	4
会議	2
音楽	1
体操	0
その他	0
市外団体	0
学校	16
企業	0
市外学校	0
保育園・幼稚園	1
その他	0
市利用	0
公民館利用	0
その他	0
総計	2241

館内図

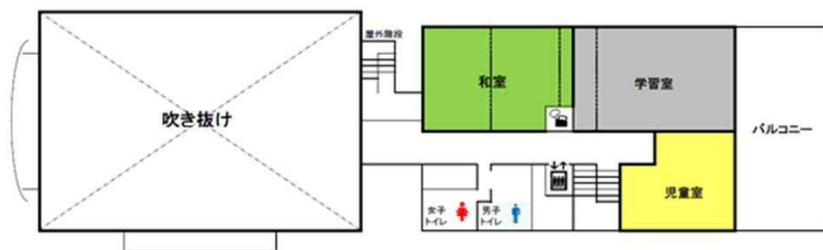
1F



2F



3F



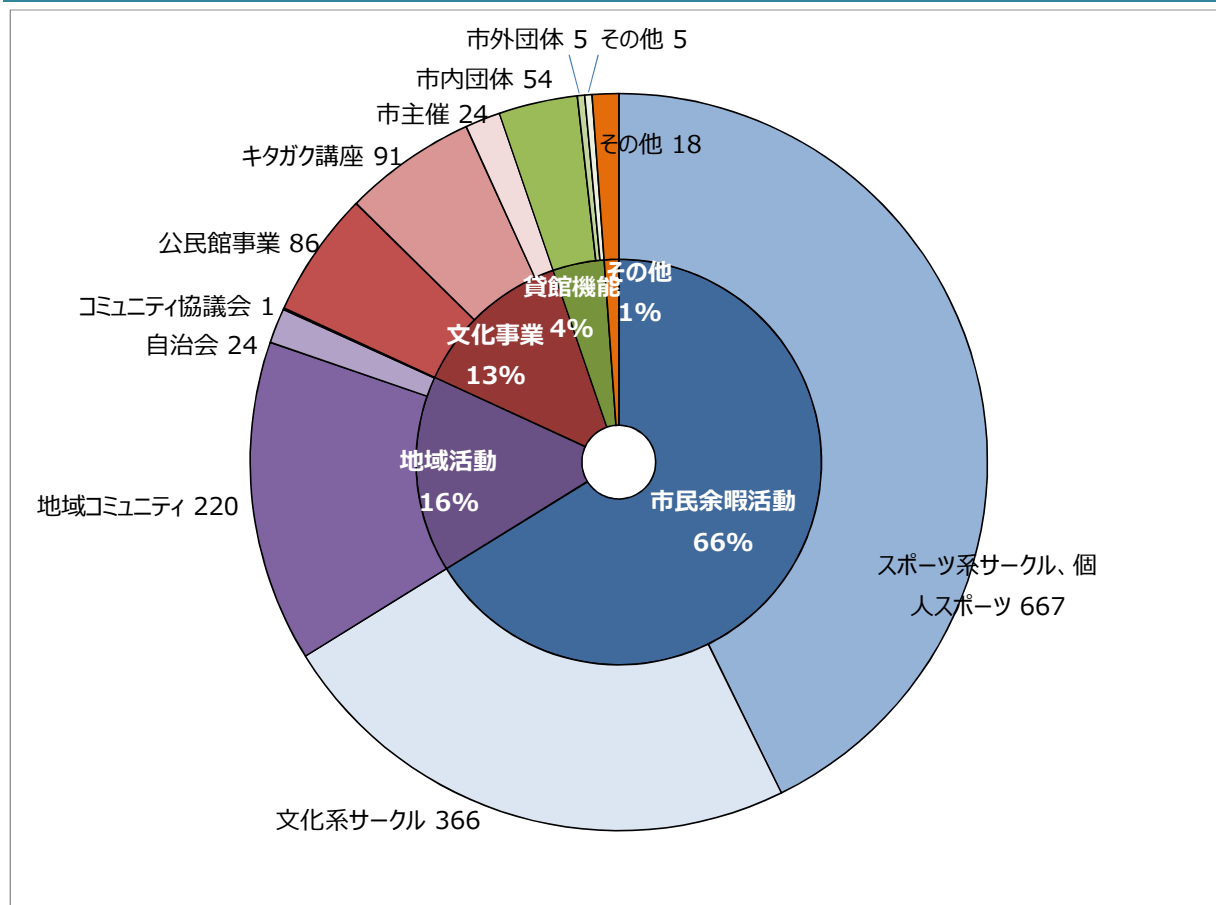
稼働率

	平日(月～金)			休日(土・日)			合計
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
アリーナ	72%	61%	69%	98%	88%	71%	73%
学習室	66%	78%	24%	49%	73%	23%	54%
集会室	80%	76%	18%	65%	86%	54%	61%
和室	54%	49%	16%	42%	32%	8%	36%
平 均	68%	66%	32%	63%	70%	39%	56%

※算定条件

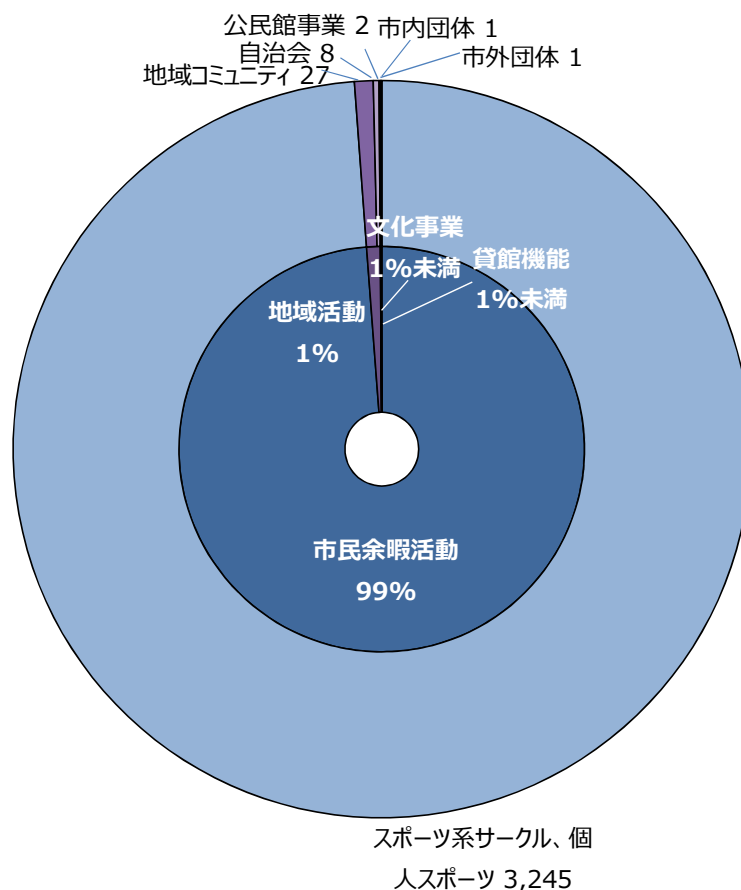
アリーナは卓球が8卓、バトミントンが2面使用できるスペースがあり、卓球は1卓当たり1/8件、バトミントンは1/2件で換算した

時間帯に依らず、アリーナの稼働率が高い。それ以外の施設は夜間の稼働が低い。



市民余暇活動 1033	
スポーツ系サークル、個人スポーツ	667
体操	269
ダンス	194
吹矢	123
ヨガ等	63
会議	9
その他	9
文化系サークル	366
創作	136
知識・勉強	97
PC・スマホ	52
文化	29
書道	21
音楽	9
囲碁・将棋	7
調理	6
会議	5
演劇	2
その他	2
地域活動	245
地域コミュニティ	220
北本まつり	100
地域イベント	51
囲碁・将棋	51
会議	17
体操	1
その他	0
自治会	24
会議	15
コミュニティ	8
集会	0
ダンス	0
地域防犯	0
その他	1
コミュニティ協議会	1
会議	1
地域イベント	0

文化事業 201	
公民館事業	86
コミュニティ	56
地域イベント	18
ダンス	7
知識・勉強	2
講習・研修	1
その他	2
キタガク講座	91
文化	24
囲碁・将棋	24
知識・勉強	24
体操	6
書道	4
その他	9
市主催	24
高齢介護	24
文化	0
コンクール	0
ボランティア	0
囲碁・将棋	0
その他	0
貸館機能	64
市内団体	54
会議	25
地域福祉	20
講習・研修	2
コミュニティ	2
集会	1
その他	4
市外団体	5
学校	0
企業	0
市外学校	0
保育園・幼稚園	5
その他	18
市利用	18
公民館利用	0
その他	0
総計	1561



市民余暇活動	3245
スポーツ系サークル、個人スポーツ	3245
卓球	2543
ダンス	291
バドミントン	179
ソフトバレー	91
体操	90
その他	51
文化系サークル	0
音楽	0
創作	0
文化	0
PC・スマホ	0
歌	0
書道	0
ゲーム	0
ヨガ等	0
囲碁・将棋	0
演劇	0
その他	0
地域活動	35
地域コミュニティ	27
地域イベント	24
会議	2
体操	1
北本まつり	0
大会	0
その他	0
自治会	8
会議	4
コミュニティ	4
集会	0
ダンス	0
地域防犯	0
その他	0
コミュニティ協議会	0
会議	0
地域イベント	0

文化事業	2
公民館事業	2
卓球	1
コミュニティ	1
サマーフェスタ	0
バドミントン	0
体操	0
その他	0
キタガク講座	0
ヨガ等	0
体操	0
文化	0
PC・スマホ	0
スポーツ	0
その他	0
市主催	0
文化	0
高齢介護	0
コンクール	0
ボランティア	0
囲碁・将棋	0
その他	0
貸館機能	2
市内団体	1
地域イベント	1
体操	0
バドミントン	0
文化	0
会議	0
その他	0
市外団体	1
学校	0
企業	0
市外学校	0
保育園・幼稚園	0
その他	0
市利用	0
公民館利用	0
その他	0
総計	3284

公共施設等総合管理計画推進審議会答申書

市は、北本市公共施設等総合管理計画の推進に関する事項として、「公共施設マネジメント実施方針及び適正配置計画の策定について」、公共施設等総合管理計画推進審議会に諮問しました。同審議会は、令和元年 7 月～12 月に 4 回の審議会を開催して審議し、市は令和元年 12 月 23 日に同審議会より答申を受けました。



北 公 審 収 第 1 号
令和元年12月23日

北本市長 三 宮 幸 雄 様

北本市公共施設等総合管理計画推進審議会
会 長 天 神 良 久



公共施設マネジメント実施方針及び適正配置計画の策定について（答申）

令和元年7月30日付け北総契発第103号で諮問のあったこのことについて、下記のとおり答申します。

記

北本市では、1970年ごろからの人口増加に合わせて、公共施設やインフラ施設を整備してきた。これら公共施設等の老朽化が進行している一方で、人口も2005年をピークとして減少が続いている。

本審議会では、公共施設マネジメント実施方針及び適正配置計画の策定にあたって、「北本市公共施設等総合管理計画」の基本方針に基づき、子や孫に負担を残さないよう、公共施設の延床面積を削減しながらも、魅力ある公共施設とするため、市民アンケートや市民ワークショップ等を通じて得た新たな市民ニーズを反映し、別紙のとおり、「1. 公共施設マネジメント実施方針（適正配置方針）」を整理して、学校の利活用、公民館やシンボルの施設等の方向性について、削減目標及び将来費用を鑑みながら、施設機能を維持した「2. 適正配置の方向性」として、以下の3つのプランを提示した。

プラン	配置の考え方	配置イメージ
プラン1 (廃校舎利用型、 市民活動交流 センター4拠点)	廃校舎を利用して、他 施設との複合化を図 り、市民活動交流セン ターを4拠点整備する プラン。	・文化センター ・市民活動交流センター4拠点 ・40年後の学校数(想定) 小学校4校、中学校1校 ※体育センターなし ※活用しない学校数(想定)3校
プラン2 (公民館重視型)	基本的に各地域の公民 館を維持していくこと を基本としたプラン。	・文化センター ・公民館6箇所 ・市民活動交流センター1拠点 ・40年後の学校数(想定) 小学校4校、中学校1校 ※体育センターなし ※活用しない学校数(想定)6校
プラン3 (文化センター、 体育センター 重視型)	文化センター及び体育 センターを維持してい くことを基本としたプ ラン。	・文化センター、体育センター ・公民館1箇所 ・市民活動交流センター2拠点 ・40年後の学校数(想定) 小学校4校、中学校1校 ※活用しない学校数(想定)5校

更に、それぞれのプランにおける「公共施設マネジメント実施方針(適正配置方針)」及び「適正配置の方向性(配置の考え方・ロードマップ、配置イメージ、メリット・デメリット、将来更新費用、削減目標)」を比較、検討し、以下のとおり順位を決定した。なお、検討過程においては、プラン3のシンボリック施設の利活用やプラン1とプラン2の折衷案の意見もあったが、将来費用における直近の費用負担から、プラン1の支持が圧倒したことを申し添える。

第1順位	プラン1(廃校舎利用型、市民活動交流センター4拠点)
第2順位	プラン3(文化センター、体育センター重視型)
第3順位	プラン2(公民館重視型)

以上により、本審議会は、公共施設マネジメント実施方針及び適正配置計画の策定にあたって、この順位を基に策定すること、そして、実施にあたっては、公共施設利用者の交通手段を確保することや適正配置を実施する順序は東西バランスに配慮することを提言する。

1. 公共施設マネジメント実施方針

(1) 適正配置方針

	プラン1（廃校舎利用型、市民活動交流センター4拠点）	プラン2（公民館利用型）	プラン3（文化センター、体育センター重視型）
1	魅力ある新しい公共施設像 子どもや孫たちに負担を残さないよう、公共施設の延べ床面積は削減しながらも、魅力ある公共施設となるよう、市民の声を反映しながら適正配置を行います。	魅力ある新しい公共施設像 子どもや孫たちに負担を残さないよう、公共施設の延べ床面積は削減しながらも、魅力ある公共施設となるよう、市民の声を反映しながら適正配置を行います。	魅力ある新しい公共施設像 子どもや孫たちに負担を残さないよう、公共施設の延べ床面積は削減しながらも、魅力ある公共施設となるよう、市民の声を反映しながら適正配置を行います。
2	施設機能の維持 施設を廃止した場合にも、他の施設に機能移転等を行い、機能は継続することを基本とします。	施設機能の維持 施設を廃止した場合にも、他の施設に機能移転等を行い、機能は継続することを基本とします。	施設機能の維持 施設を廃止した場合にも、他の施設に機能移転等を行い、機能は継続することを基本とします。
3	新たな市民ニーズの反映 市民アンケートや市民ワークショップにおいて、交流の場、子育ての場、放課後の居場所等の自由に使用できる空間や、自習のための場を求める声が挙げられました。（仮）市民活動交流センターには、交流の場、学習室等を設けます。	新たな市民ニーズの反映 市民アンケートや市民ワークショップにおいて、交流の場、子育ての場、放課後の居場所等の自由に使用できる空間や、自習のための場を求める声が挙げられました。（仮）市民活動交流センターには、交流の場、学習室等を設けます。	新たな市民ニーズの反映 市民アンケートや市民ワークショップにおいて、交流の場、子育ての場、放課後の居場所等の自由に使用できる空間や、自習のための場を求める声が挙げられました。（仮）市民活動交流センターには、交流の場、学習室等を設けます。
4	施設の長寿命化及び延命化 耐用年数については、基本的に施設の大規模改修工事を行うことで長寿命化を行い、鉄筋コンクリート造は60年、鉄骨造は60年、軽量鉄骨造・木造・簡易建築物は40年とします。継続とする学校、庁舎、駅、文化センター、（仮）市民活動交流センターについては、延命化を行い80年とします。継続としない場合は、大規模改修工事を実施せずに、減価償却の耐用年数未満でも廃止する場合があります。	施設の長寿命化及び延命化 耐用年数については、基本的に施設の大規模改修工事を行うことで長寿命化を行い、鉄筋コンクリート造は60年、鉄骨造は60年、軽量鉄骨造・木造・簡易建築物は40年とします。継続とする学校及び公民館、庁舎、駅、文化センター、（仮）市民活動交流センターについては、延命化を行い80年とします。継続としない場合は、大規模改修工事を実施せずに、減価償却の耐用年数未満でも廃止する場合があります。	施設の長寿命化及び延命化 耐用年数については、基本的に施設の大規模改修工事を行うことで長寿命化を行い、鉄筋コンクリート造は60年、鉄骨造は60年、軽量鉄骨造・木造・簡易建築物は40年とします。継続とする学校及び公民館、庁舎、駅、文化センター、体育センター、（仮）市民活動交流センターについては、延命化を行い80年とします。継続としない場合は、大規模改修工事を実施せずに、減価償却の耐用年数未満でも廃止する場合があります。
5	広域避難所の確保 災害の際の広域避難所として、小学校8校、中学校4校、文化センター、体育センターを指定していますが、施設の削減を行う中でも必要避難所数（人口減少を見込んだ必要数）を確保します。	広域避難所の確保 災害の際の広域避難所として、小学校8校、中学校4校、文化センター、体育センターを指定していますが、施設の削減を行う中でも必要避難所数（人口減少を見込んだ必要数）の確保に努めます。なお、必要避難所数に満たなくなる場合、他の公共施設の活用も検討します。	広域避難所の確保 災害の際の広域避難所として、小学校8校、中学校4校、文化センター、体育センターが指定していますが、施設の削減を行う中でも必要避難所数（人口減少を見込んだ必要数）を確保します。
6	学校施設の有効活用（4カ所活用） 今後は人口減少により、小中学校の統廃合が必要となってくることが推計されました。学校施設については、大規模な敷地を有し、校舎・体育館については耐震化及び大規模改修工事が進められており、また広域避難所に指定しています。そのため、廃校となった学校施設を積極的に有効活用し、他の施設への転用を図ります。	学校施設の有効活用（1カ所活用） 今後は人口減少により、小中学校の統廃合が必要となってくることが推計されました。学校施設については、大規模な敷地を有し、校舎・体育館については耐震化及び大規模改修工事が進められており、また広域避難所に指定しています。そのため、廃校となった学校施設を有効活用し、他の施設への転用を図ります。	学校施設の有効活用（2カ所活用） 今後は人口減少により、小中学校の統廃合が必要となってくることが推計されました。学校施設については、大規模な敷地を有し、校舎・体育館については耐震化及び大規模改修工事が進められており、また広域避難所に指定しています。そのため、廃校となった学校施設を積極的に有効活用し、他の施設への転用を図ります。
7	4つの（仮）市民活動交流センターの整備 広い敷地と施設を有する学校を活用した（仮）市民活動交流センター及び（仮）体育機能重視型市民活動交流センターを段階的に2カ所	公民館の維持と（仮）市民活動交流センターの整備 広い敷地と施設を有する学校を活用した市民活動交流センターを1カ所整備します。	2つの（仮）市民活動交流センターの整備 広い敷地と施設を有する学校を活用した市民活動交流センターを段階的に2カ所整備します。公民館については市民活動交流センターに集約

	ずつ設け、計4カ所整備します。(仮)市民活動交流センターには8地域のコミュニティ活動室を設けます。	公民館については、(仮)市民活動交流センターに集約した施設以外は継続とします。	するものの、東西バランス、利用距離を考慮し勤労福祉センターは更新を行います。
8	シンボルの施設である文化センターの維持 本市のシンボルの施設である文化センターは、ホール機能、図書館機能、生涯学習機能、プラネタリウムを有しており、市民アンケートにおける利用状況調査においても、最も利用されている施設であるため、重要度が高いと判断し基本は継続とします。	シンボルの施設である文化センターの維持 本市のシンボルの施設である文化センターは、ホール機能、図書館機能、生涯学習機能、プラネタリウムを有しており、市民アンケートにおける利用状況調査においても、最も利用されている施設であるため、重要度が高いと判断し基本は継続とします。	シンボルの施設である文化センターの維持 本市のシンボルの施設である文化センターは、ホール機能、図書館機能、生涯学習機能、プラネタリウムを有しており、市民アンケートにおける利用状況調査においても、最も利用されている施設であるため、重要度が高いと判断し基本は継続とします。
9	体育センターの機能移転 体育センターは廃止するものの、広い校庭及び体育館、柔剣道場を有する中学校を活用し、機能移転を行い、(仮)体育機能重視型市民活動交流センターを2カ所整備します。	トレーニング室の機能移転 体育センターは廃止するものの、トレーニング室機能は市民活動交流センター及び勤労福祉センターに機能移転を行います。	シンボルの施設である体育センターの維持 体育センターは、本市のシンボルの施設であり、大きなイベントなどには必要な施設です。 市民アンケートでも、文化センター、農業ふれあいセンターに次いで利用されている施設であり、費用対効果も高いため継続とします。

（２）（仮）市民活動交流センターについて

広い敷地と施設を有し、施設整備も比較的進んでいる学校を利活用するために、廃校となった場合は、生涯学習機能や図書機能、学習機能、体育機能、集会機能、市民交流、ギャラリー、娯楽機能等を集めた複合施設が（仮）市民活動交流センターです。その効果は施設面積の削減のみならず、様々な目的を持った市民が集まり、利用者相互の交流や新たな活動のきっかけづくりなどが期待されます。また、広域避難所の確保が可能となります。下記の機能を入れることが想定されます。

・（仮）市民活動交流センター：小学校利用

- 教室、特別教室を利用した生涯学習機能
- 体育館、校庭を利用した体育機能
- 図書室、学習室、ギャラリー
- 高齢者サロン、娯楽室（囲碁、将棋等）
- コミュニティ活動室、
- 地域包括支援センター、ボランティアセンター等
- 防災倉庫

・（仮）体育機能重視型市民活動交流センター：中学校利用

- 教室、特別教室を利用した生涯学習機能
- トレーニング室
- 校庭利用（グラウンドゴルフ、ウォーキングコース等）
- 体育館、柔剣道場を利用した体育機能
- 図書室、学習室、ギャラリー
- 高齢者サロン、娯楽室（囲碁、将棋等）
- コミュニティ活動室
- 地域包括支援センター、ボランティアセンター等
- 防災倉庫

廃校舎を利用した(仮)市民活動交流センター（体育機能重視型含む）イメージ



2. 適正配置の方向性

学校の利活用、公民館等の方向性、シンボリック施設の方向性を定めるために、削減目標及び将来費用を鑑みながら、機能をできるだけ維持した適正配置の方向性を考え、3案を示します。

- | | |
|------|----------------------|
| プラン1 | 廃校舎利用型、市民活動交流センター4拠点 |
| プラン2 | 公民館重視型 |
| プラン3 | 文化センター、体育センター重視型 |

40年間で4期に分けて1期10年で設定しています。

第1期：2020～2029年、第2期：2030～2039年

第3期：2040～2049年、第4期：2050～2059年

【試算条件】（公共施設）

・この試算については40年という長い期間の概算金額を試算するために計算しております。今後作成する個別施設計画や実際の費用とは異なる可能性があります。基本は総務省の示す類型別単価を使用し、2020年から40年間の大規模改修工事（一部中規模改修工事も含む）と更新費のみを試算したものです。廃止とした際の解体費及び土地売却費は含みません。

・鉄筋コンクリート造・鉄骨造60年、軽量鉄骨造・木造・簡易建築物40年で更新を行うことを基本とし、学校（市民活動交流センターを含む）、庁舎、駅、文化センター、体育センター、公民館については、継続する場合には80年の耐用年数としました。

・60年の耐用年数とした場合は、鉄筋コンクリート造・鉄骨造は30年、軽量鉄骨造・木造は20年目で大規模改修工事を実施し、80年とした場合には鉄筋コンクリート造・鉄骨造は40年で長寿命化改修工事（大規模改修工事）を行い、20年目及び60年目に中規模改修工事を行うものとしました。簡易建築物は大規模改修工事を行いません。

・更新及び大規模改修工事を実施する時期を経過しても、実施していない施設は、積み残しとして算出します。ただし、計画開始の2020年から10年以内に大規模改修工事もしくは建て替えが予定している場合には、積み残しをなしとしました。

・簡易建築物は駐輪場、軽量鉄骨造又は木造の物置等を設定し、更新費150千円/㎡とします。

・廃止と設定した期の前期（10年以内）に改修工事が見込まれる場合については、その改修工事はなしとしました。

・小中学校の30・40年目の試算については仮で学校を設定して計算しています。「検討」としたもののについては、実行すると仮定して計算しています。

・小学校の更新については、校舎面積は4割削減としています。（仮）市民活動交流センターの更新の際には、校舎面積は3割削減、体育館は2割削減としています。（仮）体育機能重視型市民活動交流センターの更新の際には、校舎面積は5割削減としています。

【試算条件】（インフラ施設）

- ・道路は15年サイクル、橋りょうは60年サイクルで更新を行います。
- ・公共下水道は北本市公共下水道ストックマネジメント計画（平成31年2月策定）に基づいて試算した事業費を平均した額で計上しています。
- ・更新（建替え）に必要な費用の算出には、総務省のホームページで公開している更新費用試算ソフトの単価を踏まえて設定しています。（公共下水道を除く。）

(1) プラン1（廃校舎利用型、市民活動交流センター4拠点）

①配置の考え方・ロードマップ

40年後の学校数については、中学校は1校、小学校は4校と想定しています。廃校となる学校については、市街化調整区域が多く、土地の売却が困難であり、整備も進んでいるものが多いため、公民館等を集約することとし、加えて他施設との複合化を図り（仮）市民活動交流センター及び（仮）体育機能重視型市民活動交流センターを整備するものとします。体育センターは第2期に（仮）体育機能重視型市民活動交流センターを2カ所設置した時点で廃止を検討します。

施設			第 1 期の方向性	実施計画					長期ビジョン							
				第 1 期					第 2 期		第 3 期	第 4 期				
				2020	2021	2022	2023	2024					後期			
小 学 校	中丸小学校（438）	継続							学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討							
	石戸小学校（274）	栄小学校と統合、継続														
	南小学校（386）	継続														
	栄小学校（63）	石戸小と統合 廃校し市民活動交流センターとして複合化 コミュニティセンター、勤労福祉センター、保健センター、 母子健康センター、郷土資料室、健康増進センター	複合化													
	北小学校（418）	継続														
	西小学校（573）	継続														
	東小学校（433）	継続														
	中丸東小学校（217）	児童数の減少がみられるため、学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討 廃校となる場合は市民活動交流センターとして複合化を検討				学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討										
中 学 校	北本中学校（546）	継続							学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討							
	東中学校（503）	継続														
	西中学校（155）	生徒数の減少がみられるため、学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討 廃校した場合は体育機能重視型市民交流センターとして複合化を検討						学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討								
	宮内中学校(316)	生徒数の減少がみられるため、学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討 廃校した場合は体育機能重視型市民交流センターとして複合化を検討						学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討								
公 民 館	コミュニティセンター	栄小校舎を活用、市民活動交流センターに機能移転	市民活動交流センターに機能移転					市民活動交流センターに機能移転を検討する								
	勤労福祉センター	栄小校舎を活用、市民活動交流センターに機能移転（一時的）	市民活動交流センターに機能移転													
	南部公民館	市民活動交流センターに機能移転を検討														
	東部公民館	市民活動交流センターに機能移転を検討														
	西部公民館	市民活動交流センターに機能移転を検討														
	北部公民館	市民活動交流センターに機能移転を検討														
	中丸公民館	市民活動交流センターに機能移転を検討														
	学習センター	市民活動交流センターに機能移転を検討														
体育センター	体育機能重視型市民活動交流センターに機能移転を検討							体育機能重視型市民活動交流センターに機能移転を検討								
文化センター	継続															
野外活動センター	継続とするが、浴室設備については廃止とする。															
農業ふれあいセンター	継続															
健康増進センター	市民活動交流センターに機能移転、浴室設備については廃止とする。	市民活動交流センターに機能移転														
総合福祉センター	廃校する学校への機能移転を検討				廃校する学校への機能移転を検討											
保 健	保健センター	栄小学校校舎を活用（機能移転）	機能移転し複合化													
	母子健康センター	栄小学校校舎を活用（機能移転）	機能移転し複合化													
保 育 所	中央保育所	こども課の基本方針の通り、栄保育所と集約化し建替え	基本計画	設計	工事	集約化										
	栄保育所	こども課の基本方針の通り、中央保育所と集約化し建替え														
	東保育所	継続														
	深井保育所	こども課の基本方針の通り、存続又は閉所など総合的に勘案しながら検討	存続又は閉所など総合的に勘案しながら検討													
児童発達支援センター	継続															
学童保育室	小学校の統廃合とともに廃止を検討	小学校の統廃合とともに廃止を検討														
あすなろ学園	継続															
ふれあいの家	継続															
市 営 住 宅	台原住宅	継続、更新はしない														
	山中住宅	継続、更新はしない														
市役所	継続															
児童館	継続															
※小中学校名称のカッコ内数字は、令和元年 4 月の児童生徒数を示す。																

※小中学校名称のカッコ内数字は、令和元年4月の児童生徒数を示す。

凡例

：複合化・機能移転を行う

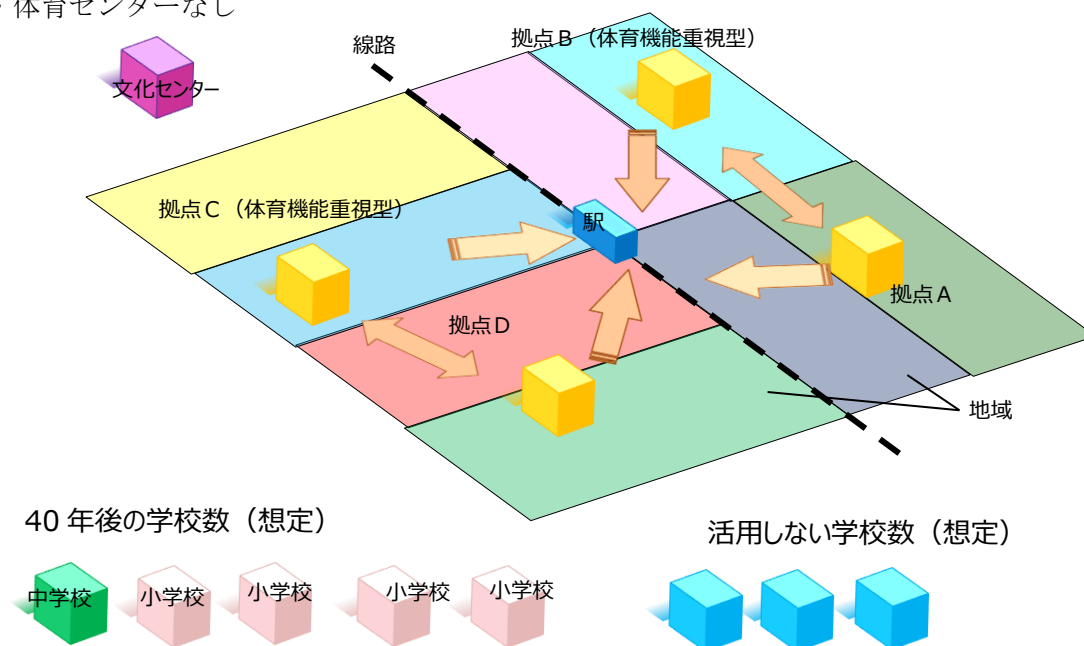
：今後検討を行う

：今後検討を行う（長期的）

：継続

②配置イメージ

- ・ 1 シンボル 4 拠点
- ・ 体育センターなし



③メリット・デメリット

(メリット)

- ◆ 学校の様々な機能が有効活用できます。
- ◆ 市民交流の拠点をつくることで、新たな交流が生まれます。
- ◆ 人口に応じた広域避難所の維持ができます。

1 2 校 + 2 シンボル → 5 校 + 4 拠点 + 1 シンボル

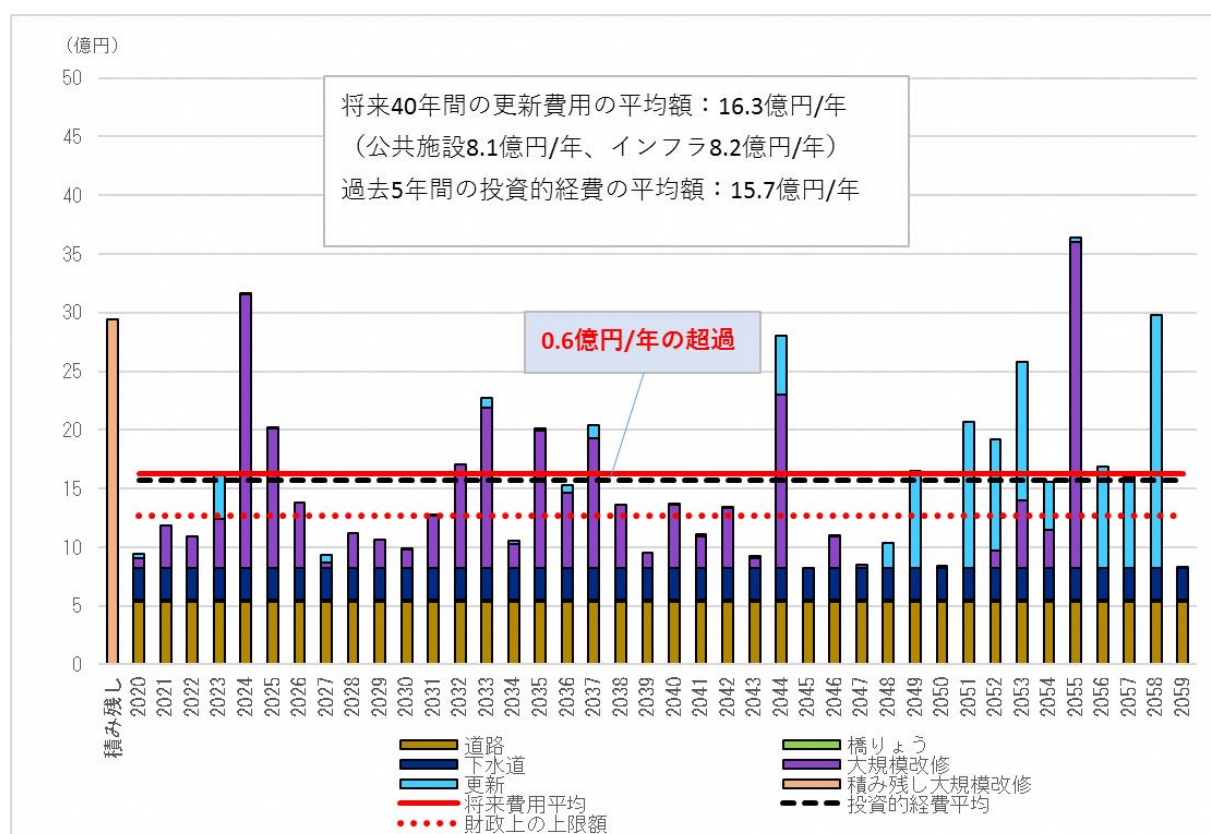
	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055
必要避難所数	14	13.6	13	12.2	11.4	10.7	9.9	9.1	8.3
プラン1	14	14	14	14	13	12	11	10	10

- ◆ 拠点施設とすることで、1 施設に対する利用者が増加し、バス運行がしやすくなります。
- ◆ 体育機能を西側の地域にも設置できます。
- ◆ 土地活用が困難な市街化調整区域の学校を有効活用できます。小さい敷地を売却できます。

(デメリット)

- ◆ 公民館を集約化させることで、遠くなる地域も出てきます。
- ◆ 各地域にあるコミュニティ圏域との整合がとれなくなります
- ◆ 体育センターの機能は(仮)体育機能重視型市民活動交流センターに移転するものの、メインアリーナを使用した大きなイベントができなくなります。
- ◆ ほとんどの拠点施設は、市街化調整区域に立地するため周囲人口が多い地域から距離が離れます。

④将来更新費用



※財政上の上限額（赤点線）：12.7億円/年

上限額との差額：3.6億円/年の超過

◆延床面積削減割合

45.6%

【考察】

将来40年間の更新費用の平均額では、当初の8.9億円/年の乖離から0.6億円/年となり、8.3億円/年の削減となることが試算されました。一部の建物を80年まで「延命化したことで、費用のピークが2050年以降となったものの、直近10年の公共施設の費用は、積み残し及び文化センターの大規模改修費が多く試算されたものの、3プランの中で最も低い93億円となりました。

延床面積削減割合については、目標である50%には届かないものの、45.6%となりました。

(2) プラン2 (公民館重視型)

①配置の考え方・ロードマップ

基本的に各地域の公民館を維持していくことを基本としたプランです。栄小学校は(仮)市民活動交流センターとし、コミュニティセンター、学習センター、保健センター、母子保健センター、郷土資料室、トレーニング室等の複合施設とします。勤労福祉センターはトレーニング室機能を増強し建替えます。体育センターは第2期に廃止を検討します。40年後の学校数については、中学校は1校、小学校は4校と想定し、廃校した学校については、利用せずに売却等を進めます。

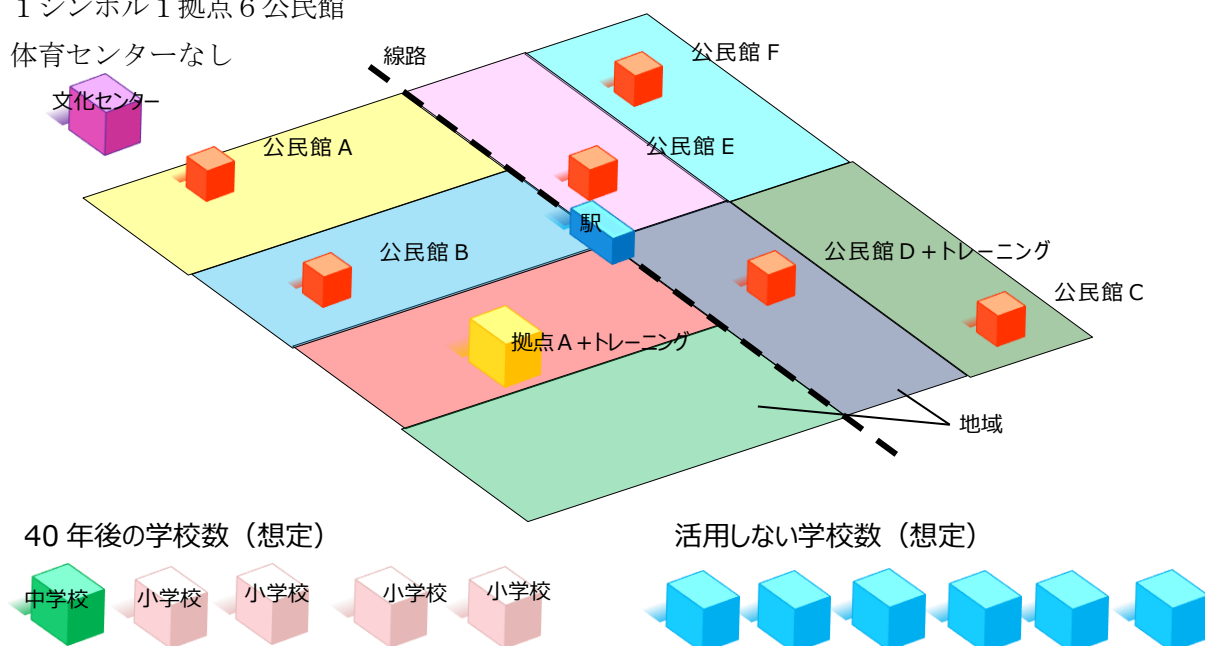
凡例	
	: 複合化・機能移転を行う
	: 今後検討を行う
	: 今後検討を行う(長期的)
	: 継続

施設		第 1 期の方向性	実施計画						長期ビジョン			
			第 1 期						第 2 期		第 3 期	第 4 期
			2020	2021	2022	2023	2024	後期				
小 学 校	中丸小学校（438）	継続							学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討			
	石戸小学校（274）	栄小学校と統合、継続										
	南小学校（386）	継続										
	栄小学校（63）	石戸小と統合 廃校し市民活動交流センターとして複合化、トレーニング室を設置 コミュニティセンター、勤労福祉センター、保健センター、母子健康センター、郷土資料室、健康増進センター	複合化									
	北小学校（418）	継続										
	西小学校（573）	継続										
	東小学校（433）	継続										
	中丸東小学校（217）	児童数の減少がみられるため、学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討 廃校となる場合は活用せずに売却等を検討				学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討						
中 学 校	北本中学校（546）	継続									学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討	
	東中学校（503）	継続										
	西中学校（155）	生徒数の減少がみられるため、学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討 廃校した場合は活用せずに売却等を検討						学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討				
	宮内中学校(316)	生徒数の減少がみられるため、学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討 廃校した場合は活用せずに売却等を検討						学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討				
	公 民 館	コミュニティセンター	栄小校舎を活用、市民活動交流センターに機能移転	市民活動交流センターに機能移転								
勤労福祉センター		栄小校舎を活用、市民活動交流センターに機能移転（一時的）、その後トレーニング機能を追加し建替え			一時移転、建替え							
南部公民館		継続										
東部公民館		継続										
西部公民館		継続										
北部公民館		継続										
中丸公民館		継続										
学習センター		市民活動交流センターに機能移転を検討						市民活動交流センターに機能移転を検討				
体育センター	市民活動交流センターに機能移転、機能移転後5年以内に廃止を検討						体育機能重視型市民活動交流センターに機能移転を検討					
文化センター	継続											
野外活動センター	継続とするが、浴室設備については廃止とする。											
農業ふれあいセンター	継続											
健康増進センター	市民活動交流センター、公民館に機能移転、浴室設備については廃止とする。	市民活動交流センターに機能移転										
総合福祉センター	継続											
保 健	保健センター	栄小学校校舎を活用（機能移転）	機能移転し複合化									
	母子健康センター	栄小学校校舎を活用（機能移転）	機能移転し複合化									
保 育 所	中央保育所	こども課の基本方針の通り、栄保育所と集約化し建替え	基本計画	設計	工事	集約化						
	栄保育所	こども課の基本方針の通り、中央保育所と集約化し建替え										
	東保育所	継続										
	深井保育所	こども課の基本方針の通り、存続又は閉所など総合的に勘案しながら検討	存続又は閉所など総合的に勘案しながら検討									
児童発達支援センター	継続											
学童保育室	小学校の統廃合とともに廃止を検討	小学校の統廃合とともに廃止を検討										
あすなろ学園	継続											
ふれあいの家	継続											
市 営 住 宅	台原住宅	継続、更新はしない										
	山中住宅	継続、更新はしない										
市役所	継続											
児童館	継続											
※小中学校名称のカッコ内数字は、令和元年 4 月の児童生徒数を示す。												

※小中学校名称のカッコ内数字は、令和元年4月の児童生徒数を示す。

②配置イメージ

- ・ 1 シンボル 1 拠点 6 公民館
- ・ 体育センターなし



③メリット・デメリット

(メリット)

- ◆ 北本市の特徴である各地域コミュニティ圏域に 1 つずつある公民館を、比較的維持できます。
- ◆ 東側と西側にトレーニング室機能が設置されます。
- ◆ 公民館が身近にあり、近隣住民は利用しやすいです。

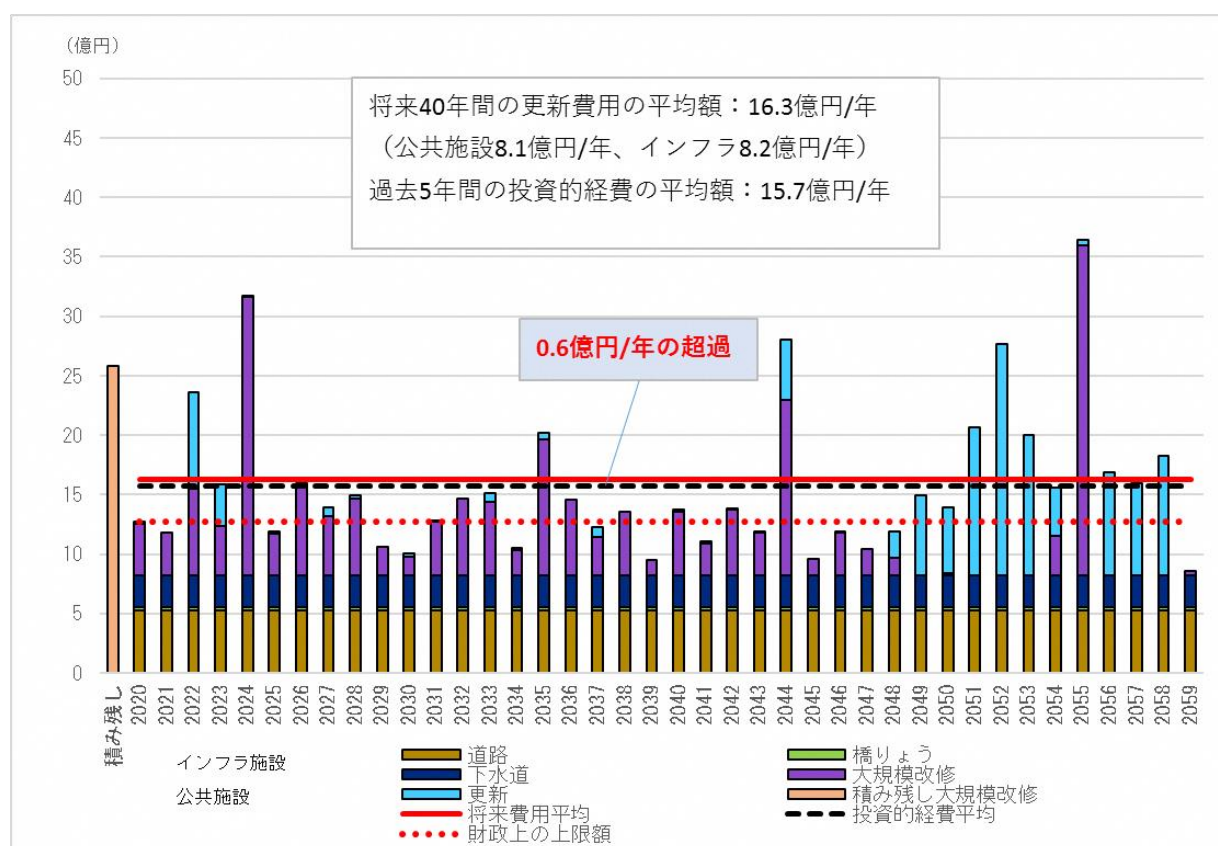
(デメリット)

- ◆ 広域避難所が必要避難所数に満たなくなります。
1 2 校+2 シンボル→5 校+ 1 拠点+ 1 シンボル

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055
必要避難所数	14	13.6	13.0	12.2	11.4	10.7	9.9	9.1	8.3
プラン2	14	14	14	13	10	9	8	7	7

- ◆ 学校は大規模改修工事を実施した起債の償還期限までに財産処分する場合には、繰上償還が必要となります。
- ◆ 市街化調整区域の学校は、開発による手法がないため有効に売却できません。
- ◆ 体育センターのメインアリーナを使用した大きなイベントができなくなります。
- ◆ 一部の公民館は複合施設となり、他の公民館のバランスが取れません。

④将来更新費用



※財政上の上限額（赤点線）：12.7億円/年

上限額との差額：3.6億円/年の超過

◆延床面積削減割合

47.8%

【考察】

将来40年間の更新費用の平均額は、当初の8.9億円/年の乖離から0.6億円/年となり、8.3億円/年の削減となることが試算されました。プラン1と同様に一部の建物を80年まで延命化したことで、更新のピークが2050年以降となったものの、直近10年の公共施設の費用は積み残し及び公民館等の大規模改修費、勤労福祉センターの更新費、文化センターの大規模改修費が多く試算され、約104億円となりました。

延床面積削減割合については、目標である50%には届かないものの、3プランの中では最も高く47.8%となりました。

(3) プラン3（文化センター、体育センター重視型）

①配置の考え方・ロードマップ

文化センター及び体育センターを維持していくことを基本としたプランです。40年後の学校数については、中学校は1校、小学校は4校と想定し、廃校とした学校については公民館を集約し、加えて他施設との複合化を図り、2カ所の市民活動交流センターを整備します。勤労福祉センターは図書機能を増強し更新を行います。その他の学校については、利用せずに売却等を進めます。

凡例

：複合化・機能移転を行う

：今後検討を行う

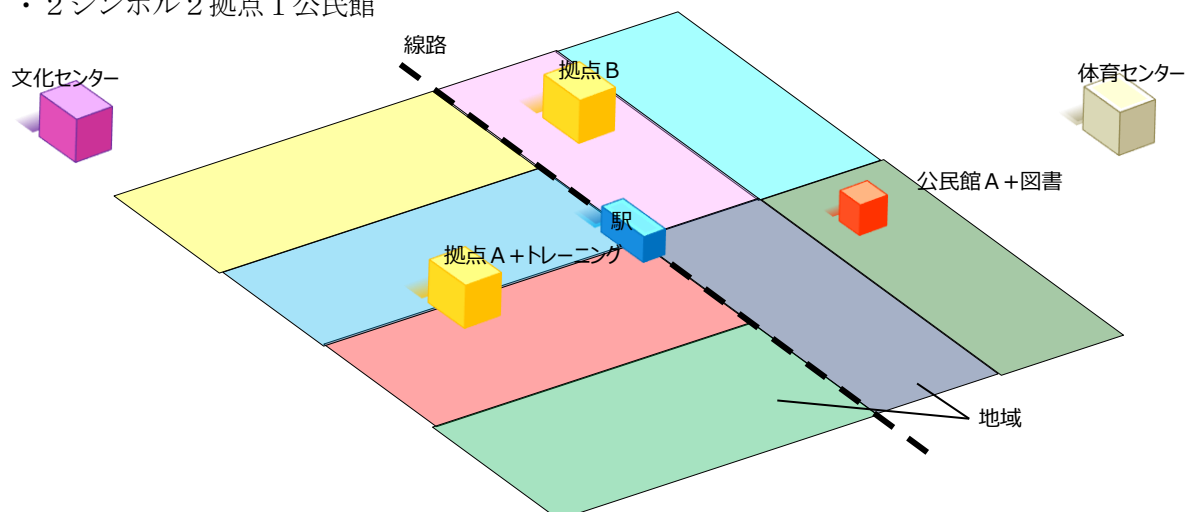
：今後検討を行う（長期的）

：継続

施設			第 1 期の方向性	実施計画					長期ビジョン			
				第 1 期					第 2 期		第 3 期	第 4 期
				2020	2021	2022	2023	2024				
小 学 校	中丸小学校（438）	継続							学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討			
	石戸小学校（274）	栄小学校と統合、継続										
	南小学校（386）	継続										
	栄小学校（63）	石戸小と統合 廃校し市民活動交流センターとして複合化 コミュニティセンター、トレーニング機能、保健センター、 母子健康センター、郷土資料室、健康増進センター	複合化									
	北小学校（418）	継続										
	西小学校（573）	継続										
	東小学校（433）	継続										
	中丸東小学校（217）	児童数の減少がみられるため、学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討 廃校となる場合は市民活動交流センターとして複合化を検討				学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討						
中 学 校	北本中学校（546）	継続									学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討	
	東中学校（503）	継続										
	西中学校（155）	生徒数の減少がみられるため、学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討 廃校した場合は活用せずに売却等を検討						学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討				
	宮内中学校(316)	生徒数の減少がみられるた、学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討 廃校した場合活用せずに売却等を検討							学校施設の適正規模に関する基本方針に基づき、統廃合を検討			
公 民 館	コミュニティセンター	栄小校舎を活用、市民活動交流センターに機能移転	市民活動交流センターに機能移転									
	勤労福祉センター	図書機能を追加し、建替え				建替え						
	南部公民館	市民活動交流センターに機能移転を検討						市民活動交流センターに機能移転を検討する				
	東部公民館	市民活動交流センターに機能移転を検討										
	西部公民館	市民活動交流センターに機能移転を検討										
	北部公民館	市民活動交流センターに機能移転を検討										
	中丸公民館	市民活動交流センターに機能移転を検討										
	学習センター	市民活動交流センターに機能移転を検討										
体育センター	継続											
文化センター	継続											
野外活動センター	継続とするが、浴室設備については廃止とする。											
農業ふれあいセンター	継続											
健康増進センター	市民活動交流センターに機能移転、浴室設備については廃止とする。	市民活動交流センターに機能移転										
総合福祉センター	廃校する学校への機能移転を検討				廃校する学校への機能移転を検討							
保 健	保健センター	栄小学校校舎を活用（機能移転）	機能移転し複合化									
	母子健康センター	栄小学校校舎を活用（機能移転）	機能移転し複合化									
保 育 所	中央保育所	こども課の基本方針の通り、栄保育所と集約化し建替え	基本計画	設計	工事	集約化						
	栄保育所	こども課の基本方針の通り、中央保育所と集約化し建替え										
	東保育所	継続										
	深井保育所	こども課の基本方針の通り、存続又は閉所など総合的に勘案しながら検討	存続又は閉所など総合的に勘案しながら検討									
児童発達支援センター	継続											
学童保育室	小学校の統廃合とともに廃止を検討	小学校の統廃合とともに廃止を検討										
あすなる学園	継続											
ふれあいの家	継続											
市 営 住 宅	台原住宅	継続、更新はしない										
	山中住宅	継続、更新はしない										
市役所	継続											
児童館	継続											
※小中学校名称のカッコ内数字は、令和元年 4 月の児童生徒数を示す。												

②配置イメージ

- ・ 2 シンボル 2 拠点 1 公民館



40 年後の学校数（想定）



活用しない学校数（想定）



③メリット・デメリット

（メリット）

- ◆ シンボリックな施設である文化センターと体育センターを維持できます。
- ◆ 拠点として市民活動交流センターを2カ所設置できます。
- ◆ 栄小学校にはトレーニング室を設けることで、西側にも体育機能を設けることができます。
- ◆ 人口に応じた広域避難所が確保できます。

1 2 校 + 2 シンボル → 5 校 + 2 拠点 + 2 シンボル

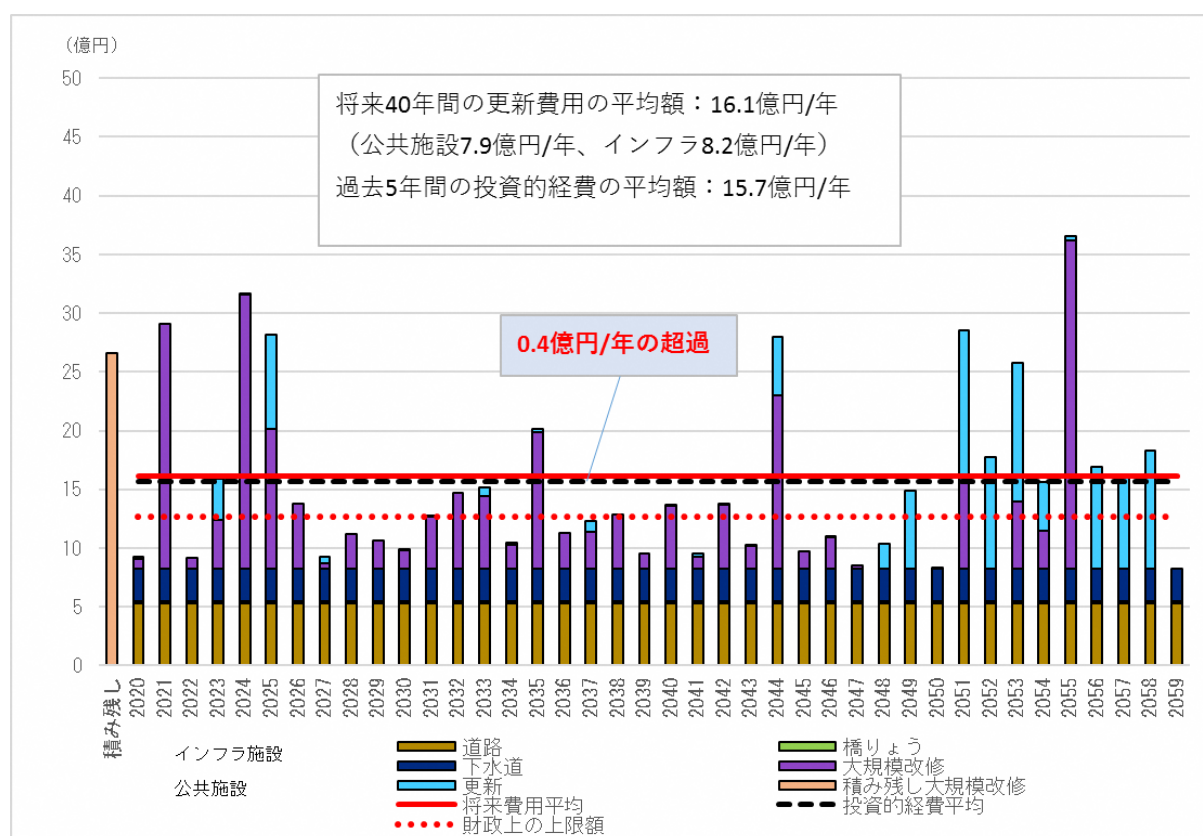
	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055
必要避難所数	14	13.6	13.0	12.2	11.4	10.7	9.9	9.1	8.3
プラン3	14	14	14	14	12	11	10	9	9

- ◆ 勤労福祉センターに図書機能が增強されます。

（デメリット）

- ◆ 拠点となる市民活動交流センターと公民館が共存するため、差が生じてしまいます。
- ◆ 公民館 8 館が、市民活動交流センター 2 拠点と公民館 1 館になります。
- ◆ 学校は大規模改修工事を実施した起債の償還期限に財産処分を行う場合は、繰り上げ償還が必要となります。
- ◆ 市街化調整区域の学校は、開発による手法がないため有効に売却できない可能性が高いです。

④将来更新費用



※財政上の上限額（赤点線）：12.7億円/年

上限額との差額：3.4億円/年の超過

◆延床面積削減割合

46.8%

【考察】

将来40年間の更新費用の平均額は、当初の8.9億円/年の乖離から0.4億円/年となり、8.5億円/年の削減となることが試算されました。プラン1と同様に一部の建物を80年まで延命化したことで、更新のピークが2050年以降となったものの、積み残し及び直近10年の文化センター及び体育センターの大規模改修費用、勤労福祉センターの更新費用が多くなっており、直近10年の公共施設の費用は、3プランで最も高い113億円となりました。

延床面積削減割合については、目標である50%には届かないものの、46.8%となりました。